



ThinkSystem SE350 V2

メッセージとコードのリファレンス



マシン・タイプ: 7DA9、7DBK

注

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、以下に記載されている安全情報および安全上の注意を読んで理解してください。

https://pubs.lenovo.com/safety_documentation/

さらに、ご使用のサーバーに適用される Lenovo 保証規定の諸条件をよく理解してください。以下に掲載されています。

<http://datacentersupport.lenovo.com/warrantylookup>

第 2 版 (2023 年 10 月)

© Copyright Lenovo 2023.

制限付き権利に関する通知: データまたはソフトウェアが GSA (米国一般調達局) 契約に準じて提供される場合、使用、複製、または開示は契約番号 GS-35F-05925 に規定された制限に従うものとします。

目次

| | | | |
|---|------------|--|------------|
| 目次 | i | UEFI イベントのリスト | 163 |
| 第 1 章 . メッセージ | 1 | 第 4 章 . XClarity Provisioning Manager | |
| イベントおよびアラート・メッセージ形式 | 1 | イベント | 209 |
| 第 2 章 . XClarity Controller イベント | 5 | 重大度別に整理された LXPM イベント | 209 |
| 自動的にサポートに通知する XCC イベント | 6 | XClarity Provisioning Manager イベントのリスト | 213 |
| 重大度別に整理された XCC イベント | 7 | | |
| XClarity Controller イベントのリスト | 27 | 付録 A. ヘルプおよび技術サポートの | |
| 第 3 章 . UEFI イベント | 155 | 入手 | 239 |
| 重大度別に整理された UEFI イベント | 155 | 依頼する前に | 239 |
| | | サービス・データの収集 | 240 |
| | | サポートへのお問い合わせ | 241 |

第 1 章 メッセージ

サーバーの問題を解決する場合、サーバーを管理しているアプリケーションのイベント・ログから始めることをお勧めします。

- Lenovo XClarity Administrator からサーバーを管理している場合、Lenovo XClarity Administrator イベント・ログから開始します。
- 他の管理アプリケーションを使用している場合は、Lenovo XClarity Controller イベント・ログから開始します。

イベント・ログには、Lenovo XClarity Controller または UEFI によって記録されたサーバー・ハードウェア・イベントが含まれています。加えて、Lenovo XClarity Provisioning Manager を通じてハードディスク・ドライブまたはメモリーで診断テストを実行するときに生成されることがあります(ただし、これらのイベントはイベント・ログには保存されません)。

Lenovo XClarity Controller、UEFI、または Lenovo XClarity Provisioning Manager により生成される可能性があるイベントを表示するには、このセクションを使用します。イベントごとに、問題を解決するために何を実行すべきかを理解するために使用できるユーザー操作があります。

重要：

- ThinkEdge SE350 V2 は、Lenovo XClarity Controller 2 (XCC2) をサポートします。Lenovo XClarity Controller 2 (XCC2) の追加情報については、<https://pubs.lenovo.com/lxcc-overview/> を参照してください。
- Lenovo XClarity Provisioning Manager (LXPM) でサポートされるバージョンは、製品によって異なります。本書では、特に指定がない限り、Lenovo XClarity Provisioning Manager のすべてのバージョンを Lenovo XClarity Provisioning Manager および LXPM と記載します。ご使用のサーバーでサポートされる LXPM バージョンを確認するには、<https://pubs.lenovo.com/lxpm-overview/> にアクセスしてください。

イベントおよびアラート・メッセージ形式

以下の内容を使用して、イベントおよびアラート・メッセージの形式を理解することができます。

各イベント・メッセージについて、以下の情報が提供されています。

イベント ID

イベントまたはイベントのクラスを一意に識別する文字列。これは、次の形式の 12 文字の文字列です。

FQXppnnxxxxc

ここで、それぞれ以下の意味があります。

- *pp* は、次のように、イベントが発生する製品を示します。
 - **CM**。シャーシ管理。
 - **HM**。ハードウェアの管理。
 - **PM**。XClarity Provisioning Manager -LXPM (LEPT)。
 - **SF**。システム・ファームウェア。
 - **SP**。サービス・プロセッサ。
- *nn* は、次のように、イベントの発生元であるコンポーネントまたはシステム管理を示します。
 - **コンポーネント**
 - **AA**。キャニスター/アプライアンス - お客様がサービスを提供することを予期していないシステム・コンポーネントが含まれています。

- CA。冷却 - ファン、送風機、mux カード、ポリシー、冷却装置、水の管理単位、水道ポンプ、水道・フィルター、エアフロー・センサー、温度監視機。
- DA。表示 - グラフィックス・アダプター、OP パネル、モニター/コンソール (前面/背面パネル、コントロール・パネル、LCD パネルなどを含む)。
- IO。I/O 接続 - PCI/USB ハブ、ブリッジ、バス、ライザー、構成設定、相互接続、キーボード、マウス、KVM。
- MA。メモリー - DIMM、メモリー・カード、構成設定、メモリー・コントローラー、冗長モード (ミラーリング、スベア、その他)、RAID メモリー、NVRAM、EPROM を含む。
- PU。処理 - プロセッサー、プロセッサー・カードおよびシステム・ボード (システム・ボード・アセンブリー)、構成設定、マイクロコード、キャッシュ、トラステッド・コンピューティング・モジュール、プロセッサー相互接続 (QPI ケーブル) などが含まれます。
- PW。電力 - パワー・サプライ、Vrm、VRD、電圧レベル、システム電源状態、ポリシー、電池、電源幅、TPMD、電源コントローラー、外部電源、バッテリー・バックアップ・ユニット (UPS)、PDU にすることができます。
- SB。システム・ボード - メイン・システム・ボード、関連するライザー、システム、ミッドプレーン、バックプレーン、相互接続。
- SD。クライアント・データ・ストレージ・デバイス - フラッシュストレージ・アダプター、ドライブ、CD/DVD ドライブ、SSD、SAS、DASD、フラッシュ・ストレージ、テープ、ボリューム、データ・バックアップ、FlashCopy、管理対象ストレージ・システム。
- SR。ストレージ RAID - アダプター、構成、設定、相互接続、アレイ、ドライブ・エンクロージャー。
- VD。VPD - 構成設定、EPROM、コミュニケーション。

システム管理 - FSM、PSM、HMC、FDMC UEFI、CMM、IOMC、CCE、PMC、DPSM、SVC、ストレージの管理/サービス、IMM、FSP、システム管理ネットワーク。

- BR。システム管理 - バックアップ/復元 & フェイルオーバー (HA)。
- BT。システム管理 - ブート、リブート、ハード/ウォーム・リセット、シャットダウン。
- CL。LEPT クローン。
- CN。システム管理 - コンソール。
- CP。システム管理 - 構成パターン。
- CR。システム管理 - コア/仮想アプライアンス。
- DD。デバイス・ドライバ - AIX、IBM I、サブシステム・デバイス・ドライバ (SDD)、IPMI サービス。
- DM。システム管理 - データ管理。
- EA。ベンダー・イベント。
- EM。イベント監視 - LEPT ダッシュボード。
- EM。システム管理 - イベント/監視。
- FC。システム管理 - FlexCat OS/Config デプロイメント。
- FW。システム管理 - ファームウェア。
- HA。ハイパーバイザー - 仮想コンポーネント、ブート、クラッシュ、SRIOV、LPAR。
- IF。インターコネクト (ファブリック) - 共通、podm、icm、Irim (SWFW メジャー、各種マイナー & 機能)。
- II。インターコネクト (インターフェース) - cimp、smis、cli、mapi (SCFG メジャー)。
- IM。インターコネクト (PCI Manager) - pcim (SWFW メジャー、各種マイナーおよび機能)。
- IN。インターコネクト (ネットワーク) - bos、bo m、fcf、npiv (FCF メジャープラス SWFW、各種マイナー & 機能) データ・ネットワーク、ネットワーク設定、ポート、セキュリティ、アダプター、スイッチ、ファイバー・チャネル、光ポート、イーサネット。
- IP。インターコネクト (PIE) - tbd。
- IU。インターコネクト (ユーティリティ/インフラストラクチャー) - util、infr、serv、isds (IBIS メジャー)、リモート・コピー (ストレージ)。
- NM。ネットワーク管理 - LEPT Welcompage。
- NM。システム管理 - ネットワーク管理。
- OH。OS/ハイパーバイザー・インターフェース - エラー・ログ、パーティション管理、サービス (時刻、その他) の引き渡し。
- OS。LEPT OS デプロイメント。

- OS。OS - Power Linux、AIX の IPL、AIX、クラッシュとダンプ・コード、IBM i kernal コード、IBM i OS、ストレージの管理に関する機能。
 - PR。システム管理 - エンティティの存在。
 - RC。システム管理 - リモート制御。
 - SD。LEPT ストレージ・テスト。
 - SE。システム管理 - セキュリティー。
 - SR。LEPT RAID セットアップ。
 - SS。サービス & サポート - LEPT FFDC コレクション。
 - SS。システム管理 - サービス & サポート。
 - TR。時間参照 - RTC、マスター・クロック、ドロワー・クロック、NTP。
 - UN。不明/いずれかのエンティティ。
 - UP。LEPT ファームウェア更新。
 - UP。システム管理 - 更新。
 - WD。システム管理 - ウォッチドッグ。
- *xxxx*は、サブ・システム・イベント・セットの増分値です。
 - *c*は、以下のように重大度を示します。
 - A。即時操作として予約されています。
 - B。不明/操作なし。
 - D。予約済み - 即時決定。
 - E。予約済み - 最終的操作。
 - F。警告/操作なし。
 - G。警告/遅延操作。
 - H。マイナー/遅延操作。
 - I。通知/操作なし。
 - J。マイナー/即時操作。
 - K。メジャー/遅延操作。
 - L。メジャー/即時操作。
 - M。クリティカル/即時操作。
 - N。致命的/即時操作。
 - W。予約済み - システムの待機。

第 2 章 XClarity Controller イベント

ハードウェア・イベントがサーバー上の Lenovo XClarity Controller によって検出されると、Lenovo XClarity Controller はそのイベントをサーバー内のシステム・イベント・ログに書き込みます。

注：イベント識別子 (ID) は XCC イベントの検索に使用される固有の識別子です。イベント・メッセージには 1 つ以上の引数を含む場合があります。この引数は、FRU 名またはセンサー名の交換可能テキストで、障害が発生したコンポーネントを識別するために使用できます。したがって、1 つの XCC イベント ID は、異なるハードウェア・コンポーネントで起こった一般的なイベントまたは類似の障害を表す可能性があります。一般的な問題判別方法は、イベントを ID で確認し、ハードウェア・コンポーネント名が含まれている場合は、メッセージ引数でハードウェア・コンポーネントを識別してから、ユーザー操作で定義されたアクションを実行します。

例:

FQXSPCA0017M: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態から、以下のクリティカルな状態に遷移しました。

- FQXSPCA0017M はイベント ID です。
- [SensorElementName] は、センサー変数で、ハードウェア・コンポーネントの名前を示しています。CPU、PCI アダプター、OCP カード、またはチップ・セットを使用できます。イベント ID FQXSPCA0017M でイベントを検索し、コンポーネントのユーザー操作で定義されたアクションを実行できます。

Lenovo XClarity Controller イベント・ログに関する追加情報については、<https://pubs.lenovo.com/lxcc-overview/>にあるお使いのサーバーと互換性のある XCC 資料の「イベント・ログの表示」セクションを参照してください。

それぞれのイベント・コードごとに、以下のフィールドが表示されます。

イベント ID

イベントを一意的に識別する ID。

イベント記述

イベントについて表示される、ログに記録されたメッセージの文字列です。イベント・ログにイベント・ストリングが表示される場合、特定のコンポーネントなどの情報が表示されます。この資料では、この追加情報は変数として表示され、以下を含むがこれに限定されません。

- [SensorElementName], [ManagedElementName], [ProcessorElementName], [ComputerSystemElementName], [PowerSupplyElementName], ...
- [arg1], [arg2], [arg3], [arg4], [arg5]...

説明

追加情報でそのイベントが発生した理由を説明します。

重大度

状態の懸念度が示されます。以下の重大度が表示されることがあります。

- 「通知」。イベントは監査目的で記録されたもので、通常はユーザー操作または正常に動作する状態の変更です。
- 「警告」。このイベントは、エラーほど重大ではありませんが、可能であれば、エラーになる前に状態を修正する必要があります。追加の監視や保守が必要な場合もあります。
- 「エラー」。このイベントは、サービスや正常な機能が損なわれる障害状態またはクリティカルな状態です。

アラート・カテゴリー

同類のイベントがカテゴリごとに分類されます。アラート・カテゴリの形式は *severity - device* です。

- *severity* は、以下の重大度レベルのいずれかです。
 - 「クリティカル」。サーバー内の主要コンポーネントが機能していません。
 - 「警告」。イベントがクリティカル・レベルに進行する可能性があります。
 - 「システム」。イベントは、システム・エラーあるいは構成変更の結果です。
- *device* は、イベント生成の原因となったサーバー内の特定のデバイスです。

保守可能

問題を修正するためにユーザー操作が必要かどうかを指定します。

CIM 情報

CIM メッセージ・レジストリーによって使用されるメッセージ ID のプレフィックスとシーケンス番号を提供します。

SNMP Trap ID

SNMP アラート管理情報ベース (MIB) にある SNMP trap ID。

自動的にサービスに連絡

特定のタイプのエラーが発生した場合に自動的にサポートに通知するよう (コール・ホームとも呼ばれます)、Lenovo XClarity Administrator を構成することができます。この機能とこのフィールドを「はい」に設定すると、イベント生成時には Lenovo サポート によりサポートに自動的に通知されます。Lenovo サポート からの連絡を待つ間に、そのイベントに対する推奨処置を実行することができます。

注：この資料には、IBM Web サイトへの言及、およびサービスの取得に関する情報が含まれていません。IBM は、Lenovo サーバー製品に対する Lenovo の優先サービス・プロバイダーです。

Lenovo XClarity Administrator からのコール・ホームの有効化について詳しくは、http://sysmgmt.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.lxca.doc/admin_setupcallhome.html を参照してください。さらに、Lenovo サポート にコール・ホームされるすべての Lenovo XClarity Controller イベントの統合化されたリストについては、6 ページの「自動的にサポートに通知する XCC イベント」を参照してください。

ユーザー処置

イベントを解決するために実行すべき処置を示します。問題が解決するまで、このセクションの手順を順番に実行してください。すべての手順を実行しても問題を解決できない場合、Lenovo サポート にお問い合わせください。

自動的にサポートに通知する XCC イベント

特定のタイプのエラーが発生した場合に自動的にサポートに通知するよう (コール・ホームとも呼ばれます)、XClarity Administrator を構成することができます。この機能を構成してある場合、自動的にサポートに通知されるイベントのリストについては、表を参照してください。

表 1. 自動的にサポートに通知されるイベント

| イベント ID | メッセージ・ストリング |
|-------------|---|
| FQXSPM4014I | RAID コントローラーはバッテリーに問題があります。この問題を解決するには、テクニカル・サポートに連絡してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5]) |
| FQXSPM4015I | RAID コントローラーは、リカバリー不能エラーを検出しました。コントローラーを取り替える必要があります。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5]) |

表 1. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

| イベント ID | メッセージ・ストリング |
|--------------|---|
| FQXSPEM4025I | 1 つ以上の仮想ドライブに問題が発生しています。この問題を解決するには、テクニカル・サポートに連絡してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5]) |
| FQXSPEM4026I | RAID コントローラーによってドライブ・エラーが検出されました。この問題を解決するには、テクニカル・サポートに連絡してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5]) |
| FQXSPIO0011N | [SensorElementName] で訂正不能エラーが発生しました。 |
| FQXSPIO0015M | システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。 |
| FQXSPMA0007L | サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で消し込み障害が発生しました。 |
| FQXSPMA0008N | サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。 |
| FQXSPMA0011G | サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。 |
| FQXSPPU0004M | [ProcessorElementName] で FRB1/BIST 状態の障害が発生しました。 |
| FQXSPPW0002L | [PowerSupplyElementName] に障害が発生しました。 |
| FQXSPPW0035M | 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。 |
| FQXSPSD0001L | [StorageVolumeElementName] に障害があります。 |
| FQXSPSD0002G | [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。 |
| FQXSPSD0002L | エンクロージャー/シャーシ (MTM-SN: [arg2]) 内のドライブ [arg1] に障害があります。 |
| FQXSPSD0003G | エンクロージャー/シャーシ (MTM-SN: [arg2]) 内のドライブ [arg1] の障害が予知されました。 |
| FQXSPSD0006L | アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。 |
| FQXSPSD0008L | エンクロージャー/シャーシ (MTM-S/N: [arg2]) 内のドライブ [arg1] で、アレイ障害が検出されました。 |
| FQXSPSS4004I | ユーザー [arg1] によって、テスト用のコールホームが生成されました。 |
| FQXSPSS4005I | ユーザー [arg1] による手動コールホーム: [arg2]。 |

重大度別に整理された XCC イベント

以下の表はすべての XCC イベントを重大度別 (情報、エラー、警告) に整理してリストしています。

表 2. 重大度別に整理されたイベント

| イベント ID | メッセージ・ストリング | 重大度 |
|--------------|---|-----|
| FQXSPBR4000I | 管理コントローラー [arg1]: ユーザー [arg2] によって構成がファイルから復元されました。 | 通知 |
| FQXSPBR4002I | デフォルト値を復元するため、管理コントローラー [arg1] のリセットが発生しました。 | 通知 |

表 2. 重大度別に整理されたイベント (続き)

| イベント ID | メッセージ・ストリング | 重大度 |
|--------------|---|-----|
| FQXSPBR4004I | ユーザー [arg1] によってサーバーのタイムアウトが設定されました。EnableOSWatchdog=[arg2]、OSWatchdogTimeout=[arg3]、EnableLoaderWatchdog=[arg4]、LoaderTimeout=[arg5] です。 | 通知 |
| FQXSPBR4005I | 管理コントローラー [arg1]: ユーザー [arg2] によって構成がファイルに保存されました。 | 通知 |
| FQXSPBR4006I | 管理コントローラー [arg1]: ユーザー [arg2] によるファイルからの構成の復元が完了しました。 | 通知 |
| FQXSPBR4009I | 管理コントローラー [arg1]: グループ名 [arg3] によるネイバー・サーバー [arg2] からのクローン構成です。 | 通知 |
| FQXSPBR400AI | 管理コントローラー [arg1]: グループ名 [arg3] によるネイバー・サーバー [arg2] からのクローン構成が完了しました。 | 通知 |
| FQXSPBR400BI | 管理コントローラー [arg1]: グループ名 [arg3] によるネイバー・サーバー [arg2] からのクローン構成を完了できませんでした。 | 通知 |
| FQXSPBR400CI | 管理コントローラー [arg1]: グループ名 [arg3] によるネイバー・サーバー [arg2] からのクローン構成を開始できませんでした。 | 通知 |
| FQXSPBR400DI | ネイバー・グループのクローン構成がユーザー [arg1] により開始されました。 | 通知 |
| FQXSPBR400EI | ネイバー・グループのファームウェア更新がユーザー [arg1] により開始されました。 | 通知 |
| FQXSPBR400FI | IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] によりネイバー・グループ管理は [arg1] です。 | 通知 |
| FQXSPBT0007I | システム [ComputerSystemElementName] に使用可能なブート可能メディアがありません。 | 通知 |
| FQXSPCA2002I | 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回った状況の解消が検出されました。 | 通知 |
| FQXSPCA2007I | 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。 | 通知 |
| FQXSPCA2009I | 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。 | 通知 |
| FQXSPCA2011I | 数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。 | 通知 |
| FQXSPCA2017I | センサー [SensorElementName] が重大な状態からさほど重大でない状態に遷移しました。 | 通知 |
| FQXSPCA2019I | センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態への遷移を表明解除しました。 | 通知 |
| FQXSPCN4000I | ユーザー [arg1] によってシリアル・リダイレクトが設定されました。Mode=[arg2]、BaudRate=[arg3]、StopBits=[arg4]、Parity=[arg5]、SessionTerminateSequence=[arg6] です。 | 通知 |
| FQXSPCN4001I | ユーザー [arg1] によってリモート制御セッションが [arg2] モードで開始されました。 | 通知 |
| FQXSPCN4002I | ユーザー [arg1] がアクティブ・コンソール・セッションを終了しました。 | 通知 |

表 2. 重大度別に整理されたイベント (続き)

| イベント ID | メッセージ・ストリング | 重大度 |
|--------------|---|-----|
| FQXSPCN4003I | ユーザー [arg1] によって [arg2] モードで開始されたりモート制御セッションが終了されました。 | 通知 |
| FQXSPCR2001I | センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリ不能な状態への遷移を表明解除しました。 | 通知 |
| FQXSPDM4000I | デバイス [arg1] のインベントリ・データが変更されました。新しいデバイス・データ・ハッシュ=[arg2]、新しいマスター・データ・ハッシュ=[arg3] です。 | 通知 |
| FQXSPDM4001I | ストレージ [arg1] が変更されました。 | 通知 |
| FQXSPDM4003I | TKLM サーバーがユーザー [arg1] によって設定されました。TKLMServer1=[arg2] Port=[arg3]、TKLMServer2=[arg4] Port=[arg5]、TKLMServer3=[arg6] Port=[arg7]、TKLMServer4=[arg8] Port=[arg9] です。 | 通知 |
| FQXSPDM4004I | ユーザー [arg1] によって TKLM サーバーのデバイス・グループが設定されました。TKLMServerDeviceGroup=[arg2] です。 | 通知 |
| FQXSPDM4005I | ユーザー [arg1] が新規暗号鍵ペアを生成し、TKLM クライアントの自己署名証明書をインストールしました。 | 通知 |
| FQXSPDM4006I | ユーザー [arg1] が新規暗号鍵と TKLM クライアントの証明書署名要求を生成しました。 | 通知 |
| FQXSPDM4007I | ユーザー [arg1] が [arg2] から TKLM クライアントの署名された証明書をインポートしました。 | 通知 |
| FQXSPDM4008I | ユーザー [arg1] が TKLM サーバーのサーバー証明書をインポートしました。 | 通知 |
| FQXSPDM4009I | ユーザー [arg1] が [arg4] からのファイル [arg3] を [arg2] しました。 | 通知 |
| FQXSPDM4010I | [arg1] のインベントリ・データ収集および処理が完了しました。シーケンス番号は [arg2] です。 | 通知 |
| FQXSPEA2001I | センサー [SensorElementName] が正常な状態から重大でない状態への遷移を表明解除しました。 | 通知 |
| FQXSPEA2002I | センサー [SensorElementName] が重大な状態からさほど重大でない状態に遷移しました。 | 通知 |
| FQXSPEM0003I | ログ [RecordLogElementName] が消去されました。 | 通知 |
| FQXSPEM0004I | ログ [RecordLogElementName] がフルです。 | 通知 |
| FQXSPEM0005I | ログ [RecordLogElementName] がほとんどフルです。 | 通知 |
| FQXSPEM0009I | システム [ComputerSystemElementName] がログ [RecordLogElement] に補助ログ項目を生成しました。 | 通知 |
| FQXSPEM4000I | システム [arg2] の [arg1] がユーザー [arg3] によりクリアされました。 | 通知 |
| FQXSPEM4001I | システム [arg2] の [arg1] は 75% 使用中です。 | 通知 |
| FQXSPEM4002I | システム [arg2] の [arg1] は 100% 使用中です。 | 通知 |
| FQXSPEM4003I | [arg3] によって LED の [arg1] 状態が [arg2] に変更されました。 | 通知 |
| FQXSPEM4004I | ユーザー [arg2] によって SNMP [arg1] が有効にされました。 | 通知 |
| FQXSPEM4005I | ユーザー [arg2] によって SNMP [arg1] が無効にされました。 | 通知 |

表 2. 重大度別に整理されたイベント (続き)

| イベント ID | メッセージ・ストリング | 重大度 |
|--------------|--|-----|
| FQXSPEM4006I | ユーザー [arg1] によってアラート構成のグローバル・イベント通知が設定されました。RetryLimit=[arg2]、RetryInterval=[arg3]、EntryInterval=[arg4] です。 | 通知 |
| FQXSPEM4007I | アラート受信者番号 [arg1] が更新されました。Name=[arg2]、DeliveryMethod=[arg3]、Address=[arg4]、IncludeLog=[arg5]、Enabled=[arg6]、EnabledAlerts=[arg7]、AllowedFilters=[arg8] (IP アドレス [arg11] の [arg10] からユーザー [arg9] により) です。 | 通知 |
| FQXSPEM4008I | ユーザー [arg1] によって SNMP トラップが有効にされました。EnabledAlerts=[arg2]、AllowedFilters=[arg3] です。 | 通知 |
| FQXSPEM4009I | UEFI 定義が変更されました。 | 通知 |
| FQXSPEM4010I | UEFI が [arg1] を報告しました。 | 通知 |
| FQXSPEM4011I | XCC は、前のイベント [arg1] を記録しませんでした。 | 通知 |
| FQXSPEM4012I | ユーザー [arg1] は、システム [arg2] を Encapsulation ライト・モードにしました。 | 通知 |
| FQXSPEM4013I | RAID コントローラーによってバッテリー・エラーが検出されました。バッテリーを取り替える必要があります。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5]) | 通知 |
| FQXSPEM4014I | RAID コントローラーはバッテリーに問題があります。この問題を解決するには、テクニカル・サポートに連絡してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5]) | 通知 |
| FQXSPEM4015I | RAID コントローラーは、リカバリー不能エラーを検出しました。コントローラーを取り替える必要があります。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5]) | 通知 |
| FQXSPEM4016I | RAID コントローラーは、1つ以上の問題を検出しました。追加のサポートが必要な場合は、テクニカル・サポートに連絡してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5]) | 通知 |
| FQXSPEM4017I | RAID コントローラーは、サブシステム内に1つ以上の構成の変更が行われた可能性を検出しました。ドライブ LED のステータスを確認してください。必要な場合は、テクニカル・サポートに追加のサポートを依頼してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5]) | 通知 |
| FQXSPEM4018I | 1つ以上のユニットでエンクロージャー/シャーシの問題が検出されました。エンクロージャー/シャーシを確認して問題を修復してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5]) | 通知 |
| FQXSPEM4019I | エンクロージャー/シャーシで接続の問題が検出されました。ケーブル構成を確認して問題を修復してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5]) | 通知 |
| FQXSPEM4020I | エンクロージャー/シャーシでファンの問題が検出されました。エンクロージャー/シャーシのユニットのファンが正常に動作しているか確認してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5]) | 通知 |
| FQXSPEM4022I | エンクロージャー/シャーシのパワー・サプライに問題が発生しています。エンクロージャー/シャーシのパワー・サプライが正常に動作しているか確認してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5]) | 通知 |

表 2. 重大度別に整理されたイベント (続き)

| イベント ID | メッセージ・ストリング | 重大度 |
|--------------|--|-----|
| FQXSPEM4023I | 1つ以上の仮想ドライブが異常な状態で、この状態が原因で仮想ドライブが使用できなくなる可能性があります。イベント・ログを確認してください。イベントが同じディスクを対象としている場合は、そのドライブを交換してください。必要な場合は、テクニカル・サポートに追加のサポートを依頼してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5]) | 通知 |
| FQXSPEM4024I | RAID コントローラーは、サブシステム内に1つ以上の構成の問題が発生した可能性を検出しました。イベント・ログを確認してください。イベントが同じディスクを対象としている場合は、そのドライブを交換してください。必要な場合は、テクニカル・サポートに追加のサポートを依頼してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5]) | 通知 |
| FQXSPEM4025I | 1つ以上の仮想ドライブに問題が発生しています。この問題を解決するには、テクニカル・サポートに連絡してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5]) | 通知 |
| FQXSPEM4026I | RAID コントローラーによってドライブ・エラーが検出されました。この問題を解決するには、テクニカル・サポートに連絡してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5]) | 通知 |
| FQXSPEM4027I | RAID コントローラーによってドライブ・エラーが検出されました。イベント・ログを確認してください。イベントが同じディスクを対象としている場合は、そのドライブを交換してください。必要な場合は、テクニカル・サポートに追加のサポートを依頼してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5]) | 通知 |
| FQXSPEM4028I | [arg3] の PCIe デバイス [arg2] のポート [arg1] にリンク [arg4] があります。 | 通知 |
| FQXSPEM4029I | 現行の CPU 装着に基づく、[arg1] のすべての PCIe スロットが機能しない場合があります。 | 通知 |
| FQXSPEM4030I | RAID コントローラーで予定されていた操作に問題が発生しました。詳細については、サーバー管理、ローカル・ストレージの RAID ログを参照してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5]) | 通知 |
| FQXSPEM4031I | SSD: 装着しきい値設定は IP アドレス [arg5] の [arg4] からユーザー [arg3] により [arg1] から [arg2] に変更されました。 | 通知 |
| FQXSPEM4032I | 音響モード [arg1] が作動しています。ファン速度制限が所定の位置にあります。 | 通知 |
| FQXSPEM4033I | 音響モード [arg1] は解放され、十分に冷却されます。 | 通知 |
| FQXSPFC4000I | ベア・メタル接続プロセスが開始されました。 | 通知 |
| FQXSPFC4001I | ベア・メタル更新アプリケーションがステータス [arg1] を報告しました。 | 通知 |
| FQXSPFC4002I | システムがセットアップを実行中です。 | 通知 |
| FQXSPFC4003I | UEFI デプロイメント・ブート・モードは NextBoot のため有効になっています。 | 通知 |
| FQXSPFC4004I | UEFI デプロイメント・ブート・モードは NextAc のため有効になっています。 | 通知 |
| FQXSPFC4005I | UEFI デプロイメント・ブート・モードは無効にされました。 | 通知 |

表 2. 重大度別に整理されたイベント (続き)

| イベント ID | メッセージ・ストリング | 重大度 |
|---------------|---|-----|
| FQXSPFW0003I | システム [ComputerSystemElementName] でファームウェアの処理が発生しました。 | 通知 |
| FQXSPPIO0010I | バス [SensorElementName] で訂正可能なバス・エラーが発生しました。 | 通知 |
| FQXSPPIO2003I | システム [ComputerSystemElementName] が診断割り込みからリカバリーしました。 | 通知 |
| FQXSPPIO2004I | バス [SensorElementName] がバス・タイムアウトからリカバリーしました。 | 通知 |
| FQXSPPIO2006I | システム [ComputerSystemElementName] が NMI からリカバリーしました。 | 通知 |
| FQXSPPIO2007I | システム [ComputerSystemElementName] で PCI PERR リカバリーが発生しました。 | 通知 |
| FQXSPPIO2008I | システム [ComputerSystemElementName] の PCI SERR の解消が検出されました。 | 通知 |
| FQXSPPIO2010I | バス [SensorElementName] が訂正可能なバス・エラーからリカバリーしました。 | 通知 |
| FQXSPPIO4002I | [arg1] の [arg1] によって GPU ボードのステータスがリカバリーされました。 | 通知 |
| FQXSPMA0001I | サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でエラーが検出され訂正されました。 | 通知 |
| FQXSPMA0022I | サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・スペアリングが開始されました。 | 通知 |
| FQXSPMA0025I | センサー [SensorElementName] が表明されました。 | 通知 |
| FQXSPMA2007I | サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害がリカバリーされました。 | 通知 |
| FQXSPMA2010I | サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。 | 通知 |
| FQXSPMA2012I | サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における過熱状態が取り除かれました。 | 通知 |
| FQXSPMA2024I | センサー [SensorElementName] が表明解除されました。 | 通知 |
| FQXSPNM4000I | 管理コントローラー [arg1] でネットワークの初期化が完了しました。 | 通知 |
| FQXSPNM4001I | ユーザー [arg3] によってイーサネット・データ転送速度が [arg1] から [arg2] に変更されました。 | 通知 |
| FQXSPNM4002I | ユーザー [arg3] によってイーサネット二重化設定が [arg1] から [arg2] に変更されました。 | 通知 |
| FQXSPNM4003I | ユーザー [arg3] によってイーサネット MTU 設定が [arg1] から [arg2] に変更されました。 | 通知 |
| FQXSPNM4004I | ユーザー [arg3] によってイーサネットのローカル管理 MAC アドレスが [arg1] から [arg2] に変更されました。 | 通知 |
| FQXSPNM4005I | ユーザー [arg2] によるイーサネット・インターフェース [arg1]。 | 通知 |
| FQXSPNM4006I | ユーザー [arg2] によってホスト名が [arg1] に変更されました。 | 通知 |

表 2. 重大度別に整理されたイベント (続き)

| イベント ID | メッセージ・ストリング | 重大度 |
|--------------|---|-----|
| FQXSPNM4007I | ユーザー [arg3] によってネットワーク・インターフェースの IP アドレスが [arg1] から [arg2] に変更されました。 | 通知 |
| FQXSPNM4008I | ユーザー [arg3] によってネットワーク・インターフェースの IP サブネット・マスクが [arg1] から [arg2] に変更されました。 | 通知 |
| FQXSPNM4009I | ユーザー [arg3] によってデフォルト・ゲートウェイの IP アドレスが [arg1] から [arg2] に変更されました。 | 通知 |
| FQXSPNM4011I | ENET[[arg1]] DHCP-HSTN=[arg2], DN=[arg3], IP@[arg4], SN=[arg5], GW@[arg6], DNS1@[arg7]. | 通知 |
| FQXSPNM4012I | ENET[[arg1]] IP-Cfg:HstName=[arg2], IP@[arg3], NetMsk=[arg4], GW@[arg5]. | 通知 |
| FQXSPNM4013I | LAN: イーサネット [[arg1]] インターフェースはアクティブではなくなりました。 | 通知 |
| FQXSPNM4014I | LAN: イーサネット [[arg1]] インターフェースがアクティブになりました。 | 通知 |
| FQXSPNM4015I | ユーザー [arg2] によって DHCP 設定が [arg1] に変更されました。 | 通知 |
| FQXSPNM4016I | ユーザー [arg2] によってドメイン名が [arg1] に設定されました。 | 通知 |
| FQXSPNM4017I | ユーザー [arg2] によってドメイン・ソースが [arg1] に変更されました。 | 通知 |
| FQXSPNM4018I | ユーザー [arg2] によって DDNS 設定が [arg1] に変更されました。 | 通知 |
| FQXSPNM4019I | DDNS の登録が正常に完了しました。ドメイン名は [arg1] です。 | 通知 |
| FQXSPNM4020I | ユーザー [arg1] によって IPv6 が有効にされました。 | 通知 |
| FQXSPNM4021I | ユーザー [arg1] によって IPv6 が無効にされました。 | 通知 |
| FQXSPNM4022I | ユーザー [arg1] によって IPv6 静的 IP 構成が有効にされました。 | 通知 |
| FQXSPNM4023I | ユーザー [arg1] によって IPv6 DHCP が有効化されました。 | 通知 |
| FQXSPNM4024I | ユーザー [arg1] によって IPv6 ステートレス自動構成が有効化されました。 | 通知 |
| FQXSPNM4025I | ユーザー [arg1] によって IPv6 静的 IP 構成が無効化されました。 | 通知 |
| FQXSPNM4026I | ユーザー [arg1] によって IPv6 DHCP が無効化されました。 | 通知 |
| FQXSPNM4027I | ユーザー [arg1] によって IPv6 ステートレス自動構成が無効化されました。 | 通知 |
| FQXSPNM4028I | ENET[[arg1]] IPv6-LinkLocal:HstName=[arg2], IP@[arg3], Pref=[arg4] | 通知 |
| FQXSPNM4029I | ENET[[arg1]] IPv6-Static:HstName=[arg2], IP@[arg3], Pref=[arg4], GW@[arg5]. | 通知 |
| FQXSPNM4030I | ENET[[arg1]] DHCPv6-HSTN=[arg2], DN=[arg3], IP@[arg4], Pref=[arg5], DNS1@[arg5] です。 | 通知 |
| FQXSPNM4031I | ユーザー [arg3] によってネットワーク・インターフェースの IPv6 静的アドレスが [arg1] から [arg2] に変更されました。 | 通知 |
| FQXSPNM4033I | ユーザー [arg3] によって Telnet ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。 | 通知 |

表 2. 重大度別に整理されたイベント (続き)

| イベント ID | メッセージ・ストリング | 重大度 |
|--------------|--|-----|
| FQXSPNM4034I | ユーザー [arg3] によって SSH ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。 | 通知 |
| FQXSPNM4035I | ユーザー [arg3] によって Web-HTTP ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。 | 通知 |
| FQXSPNM4036I | ユーザー [arg3] によって Web-HTTPS ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。 | 通知 |
| FQXSPNM4037I | ユーザー [arg3] によって CIM/XML HTTP ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。 | 通知 |
| FQXSPNM4038I | ユーザー [arg3] によって CIM/XML HTTPS ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。 | 通知 |
| FQXSPNM4039I | ユーザー [arg3] によって SNMP エージェント・ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。 | 通知 |
| FQXSPNM4040I | ユーザー [arg3] によって SNMP トラップのポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。 | 通知 |
| FQXSPNM4041I | ユーザー [arg3] によって Syslog ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。 | 通知 |
| FQXSPNM4042I | ユーザー [arg3] によってリモート・プレゼンス・ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。 | 通知 |
| FQXSPNM4043I | ユーザー [arg1] によって SMTP サーバーが [arg2]: [arg3] に設定されました。 | 通知 |
| FQXSPNM4044I | ユーザー [arg2] による Telnet [arg1] です。 | 通知 |
| FQXSPNM4045I | ユーザー [arg1] によって DNS サーバーが設定されました。 UseAdditionalServers=[arg2]、PreferredDNStype=[arg3]、IPv4Server1=[arg4]、IPv4Server2=[arg5]、IPv4Server3=[arg6]、IPv6Server1=[arg7]、IPv6Server2=[arg8]、IPv6Server3=[arg9] です。 | 通知 |
| FQXSPNM4046I | ユーザー [arg2] による LAN over USB [arg1] です。 | 通知 |
| FQXSPNM4047I | ユーザー [arg1] によって LAN over USB ポート転送設定が設定されました。 ExternalPort=[arg2]、USB-LAN port=[arg3] です。 | 通知 |
| FQXSPNM4048I | ユーザー [arg1] によって PXE ブートが要求されました。 | 通知 |
| FQXSPNM4049I | ユーザー [arg1] がサーバー [arg2] との接続性を確認するために TKLM サーバー接続テストを開始しました。 | 通知 |
| FQXSPNM4050I | ユーザー [arg1] が SMTP サーバー接続テストを開始しました。 | 通知 |
| FQXSPNM4051I | ユーザー [arg1] が SMTP サーバーのリバースパスを [arg2] に設定しました。 | 通知 |
| FQXSPNM4052I | ユーザー [arg2] によって DHCP の指定ホスト名が [arg1] に設定されました。 | 通知 |
| FQXSPNM4053I | ユーザー [arg2] によって Lenovo XClarity Administrator の DNS 検出が [arg1] にされました。 | 通知 |
| FQXSPNM4054I | ユーザー [arg2] によって DHCP のホスト名が [arg1] に設定されます。 | 通知 |
| FQXSPNM4055I | DHCP からのホスト名が無効です。 | 通知 |
| FQXSPNM4056I | NTP サーバー・アドレス [arg1] が無効です。 | 通知 |

表 2. 重大度別に整理されたイベント (続き)

| イベント ID | メッセージ・ストリング | 重大度 |
|--------------|--|-----|
| FQXSPNM4057I | セキュリティー: IP アドレス: [arg1] へのログインに [arg2] 回失敗しました。 [arg3] 分間はアクセスがブロックされます。 | 通知 |
| FQXSPNM4058I | ユーザー [arg4] によってネットワーク・インターフェース [arg1] の IP アドレスが [arg2] から [arg3] に変更されました。 | 通知 |
| FQXSPNM4059I | ユーザー [arg4] によってネットワーク・インターフェース [arg1] の IP サブネット・マスクが [arg2] から [arg3] に変更されました。 | 通知 |
| FQXSPNM4060I | ユーザー [arg4] によってネットワーク・インターフェース [arg1] の デフォルト・ゲートウェイの IP アドレスが [arg2] から [arg3] に変更されました。 | 通知 |
| FQXSPOS4000I | [arg2] によって OS ウォッチドッグ応答が [arg1] になりました。 | 通知 |
| FQXSPOS4001I | ウォッチドッグ [arg1] のスクリーン・キャプチャーが発生しました。 | 通知 |
| FQXSPOS4004I | オペレーティング・システムのステータスが [arg1] に変更されました。 | 通知 |
| FQXSPOS4005I | ホスト始動パスワードが、IP アドレス [arg3] の [arg2] からユーザー [arg1] により変更されました。 | 通知 |
| FQXSPOS4006I | ホスト始動パスワードが、IP アドレス [arg3] の [arg2] からユーザー [arg1] によりクリアされました。 | 通知 |
| FQXSPOS4007I | ホスト管理パスワードが、IP アドレス [arg3] の [arg2] からユーザー [arg1] により変更されました。 | 通知 |
| FQXSPOS4008I | ホスト管理パスワードが、IP アドレス [arg3] の [arg2] からユーザー [arg1] によりクリアされました。 | 通知 |
| FQXSPOS4009I | OS クラッシュ・ビデオがキャプチャーされました。 | 通知 |
| FQXSPOS4011I | ハードウェア・エラーが発生した OS 障害のスクリーン・キャプチャーがユーザー [arg2] により IP アドレス [arg4] で [arg3] から [arg1] になりました。 | 通知 |
| FQXSPPP4000I | ユーザー [arg3] がサーバー [arg2] を [arg1] にしようとしています。 | 通知 |
| FQXSPPP4001I | ユーザー [arg2] によってサーバーの電源オフ遅延が [arg1] に設定されました。 | 通知 |
| FQXSPPP4002I | ユーザー [arg4] によってサーバーの [arg1] が [arg2] 日の [arg3] 時にスケジュールされました。 | 通知 |
| FQXSPPP4003I | ユーザー [arg4] によってサーバーの [arg1] が毎週 [arg2] の [arg3] 時にスケジュールされました。 | 通知 |
| FQXSPPP4004I | ユーザー [arg3] によってサーバーの [arg1] [arg2] がクリアされました。 | 通知 |
| FQXSPPP4005I | ユーザー [arg3] によって電源キャップ値が [arg1] ワットから [arg2] ワットに変更されました。 | 通知 |
| FQXSPPP4006I | 電源キャップの最小値が [arg1] ワットから [arg2] ワットに変更されました。 | 通知 |
| FQXSPPP4007I | 電源キャップの最大値が [arg1] ワットから [arg2] ワットに変更されました。 | 通知 |
| FQXSPPP4008I | 電源キャップ値のソフト最小値が [arg1] ワットから [arg2] ワットに変更されました。 | 通知 |

表 2. 重大度別に整理されたイベント (続き)

| イベント ID | メッセージ・ストリング | 重大度 |
|--------------|---|-----|
| FQXSPPP4011I | ユーザー [arg1] によって電源キャップがアクティブになりました。 | 通知 |
| FQXSPPP4012I | ユーザー [arg1] によって電源キャップが非アクティブになりました。 | 通知 |
| FQXSPPP4013I | ユーザー [arg1] によって静的電力節減モードがオンにされました。 | 通知 |
| FQXSPPP4014I | ユーザー [arg1] によって静的電源節減モードがオフにされました。 | 通知 |
| FQXSPPP4015I | ユーザー [arg1] によって動的電源節減モードがオンにされました。 | 通知 |
| FQXSPPP4016I | ユーザー [arg1] によって動的電源節減モードがオフにされました。 | 通知 |
| FQXSPPP4017I | 電源キャップ・スロットルと外部スロットルが発生しました。 | 通知 |
| FQXSPPP4018I | 外部スロットルが発生しました。 | 通知 |
| FQXSPPP4019I | 電源キャップ・スロットルが発生しました。 | 通知 |
| FQXSPPP4020I | 計測された電源値が電源キャップ値を下回りました。 | 通知 |
| FQXSPPP4021I | 新規最小電源キャップ値が電源キャップ値を下回りました。 | 通知 |
| FQXSPPP4022I | サーバーが不明の理由で再起動されました。 | 通知 |
| FQXSPPP4023I | サーバーがシャース制御コマンドによって再起動されました。 | 通知 |
| FQXSPPP4024I | プッシュボタンを介してサーバーがリセットされました。 | 通知 |
| FQXSPPP4025I | 電源プッシュボタンを介してサーバーに電源が入りました。 | 通知 |
| FQXSPPP4026I | ウォッチドッグが満了したときにサーバーが再起動されました。 | 通知 |
| FQXSPPP4027I | サーバーが OEM の理由で再起動されました。 | 通知 |
| FQXSPPP4028I | 電源復元ポリシーが常に復元するように設定されているため、サーバーが自動的に電源オンされました。 | 通知 |
| FQXSPPP4029I | 電源復元ポリシーが以前の電源状態を復元するように設定されているため、サーバーが自動的に電源オンされました。 | 通知 |
| FQXSPPP4030I | サーバーがプラットフォーム・イベント・フィルターを介してリセットされました。 | 通知 |
| FQXSPPP4031I | プラットフォーム・イベント・フィルターを介してサーバーの電源サイクルが実行されました。 | 通知 |
| FQXSPPP4032I | サーバーがソフト・リセットされました。 | 通知 |
| FQXSPPP4033I | リアルタイム・クロックを介してサーバーの電源が入りました (スケジュール電源投入)。 | 通知 |
| FQXSPPP4034I | サーバーが不明の理由で電源オフされました。 | 通知 |
| FQXSPPP4035I | サーバーがシャース制御コマンドによって電源オフされました。 | 通知 |
| FQXSPPP4036I | サーバーの電源がプッシュボタンを介してオフになりました。 | 通知 |
| FQXSPPP4037I | ウォッチドッグが満了したときにサーバーが電源オフされました。 | 通知 |
| FQXSPPP4038I | 電源復元ポリシーが常に復元するように設定されているため、サーバーが電源オフのままです。 | 通知 |
| FQXSPPP4039I | 電源復元ポリシーが以前の電源状態を復元するように設定されているため、サーバーが電源オフのままです。 | 通知 |

表 2. 重大度別に整理されたイベント (続き)

| イベント ID | メッセージ・ストリング | 重大度 |
|--------------|---|-----|
| FQXSPPP4040I | サーバーがプラットフォーム・イベント・フィルターを介して電源オフされました。 | 通知 |
| FQXSPPP4041I | リアルタイム・クロックを介してサーバーが電源オフされました (スケジュールされた電源オフ)。 | 通知 |
| FQXSPPP4042I | 電源オン・リセットによって管理コントローラー [arg1] のリセットが開始されました。 | 通知 |
| FQXSPPP4043I | PRESET によって管理コントローラー [arg1] のリセットが開始されました。 | 通知 |
| FQXSPPP4044I | CMM によって管理コントローラー [arg1] のリセットが開始されました。 | 通知 |
| FQXSPPP4045I | XCC ファームウェアによって管理コントローラー [arg1] のリセットが開始されました。 | 通知 |
| FQXSPPP4046I | リモート電源の権限は [arg1] です。 | 通知 |
| FQXSPPP4047I | ユーザー [arg2] によって管理コントローラー [arg1] のリセットが開始されました。 | 通知 |
| FQXSPPP4048I | ユーザー [arg2] がサーバー [arg1] を AC 電源サイクルにしようとしています。 | 通知 |
| FQXSPPP4049I | 前面パネルによって管理コントローラー [arg1] のリセットが開始されました。 | 通知 |
| FQXSPPP4050I | PFR ファームウェアをアクティブにするために管理コントローラー [arg1] のリセットが開始されました。 | 通知 |
| FQXSPPU2001I | [ProcessorElementName] で過熱状態が取り除かれました。 | 通知 |
| FQXSPPU2002I | プロセッサ [ProcessorElementName] は機能低下状態での動作ではなくなりました。 | 通知 |
| FQXSPPW0001I | [PowerSupplyElementName] がコンテナ [PhysicalPackageElementName] に追加されました。 | 通知 |
| FQXSPPW0008I | [SensorElementName] が電源オフになっています。 | 通知 |
| FQXSPPW0009I | [PowerSupplyElementName] の電源が入れ直されました。 | 通知 |
| FQXSPPW2001I | [PowerSupplyElementName] がコンテナ [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。 | 通知 |
| FQXSPPW2002I | [PowerSupplyElementName] が OK 状態に戻りました。 | 通知 |
| FQXSPPW2003I | [PowerSupplyElementName] で予知される障害はなくなりました。 | 通知 |
| FQXSPPW2006I | [PowerSupplyElementName] が正常入力状態に戻りました。 | 通知 |
| FQXSPPW2007I | [PowerSupplyElementName] の構成は正常です。 | 通知 |
| FQXSPPW2008I | [PowerSupplyElementName] が電源オンになっています。 | 通知 |
| FQXSPPW2031I | 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の下限を下回った状況の解消が検出されました。 | 通知 |
| FQXSPPW2035I | 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回った状況の解消が検出されました。 | 通知 |
| FQXSPPW2057I | センサー [SensorElementName] が正常な状態から重大でない状態への遷移を表明解除しました。 | 通知 |

表 2. 重大度別に整理されたイベント (続き)

| イベント ID | メッセージ・ストリング | 重大度 |
|--------------|--|-----|
| FQXSPPW2061I | センサー [SensorElementName] が重大な状態からさほど重大でない状態に遷移しました。 | 通知 |
| FQXSPPW2063I | センサー [SensorElementName] が重大な状態からさほど重大でない状態に遷移しました。 | 通知 |
| FQXSPPW2101I | [RedundancySetElementName] の冗長性低下の解消が検出されました。 | 通知 |
| FQXSPPW2104I | [RedundancySetElementName] において「冗長性低下」または「完全冗長」から「冗長性なし: 十分なリソース」の解消が検出されました。 | 通知 |
| FQXSPPW2110I | [RedundancySetElementName] において「冗長性なし: リソース不足」が表明解除されました。 | 通知 |
| FQXSPPW4001I | PCIe 電源ブレーキ [arg1] が [arg2] になりました。 | 通知 |
| FQXSPSD0000I | [StorageVolumeElementName] が追加されました。 | 通知 |
| FQXSPSD0001I | エンクロージャー/シャーシ (MTM-SN: [arg2]) 内の [StorageVolumeElementName] ドライブ [arg1] が追加されました。 | 通知 |
| FQXSPSD0003I | [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。 | 通知 |
| FQXSPSD0005I | エンクロージャー/シャーシ (MTM-SN: [arg2]) 内のドライブ [arg1] でホット・スペアが有効になっています。 | 通知 |
| FQXSPSD0007I | システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。 | 通知 |
| FQXSPSD0008I | エンクロージャー/シャーシ (MTM-S/N: [arg2]) 内のドライブ [arg1] で、アレイの再構築が進行中です。 | 通知 |
| FQXSPSD2000I | [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。 | 通知 |
| FQXSPSD2001I | [StorageVolumeElementName] が障害からリカバリーしました。 | 通知 |
| FQXSPSD2002I | [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。 | 通知 |
| FQXSPSD2003I | [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。 | 通知 |
| FQXSPSD2005I | 重大な状態のアレイ [ComputerSystemElementName] が表明解除されました。 | 通知 |
| FQXSPSD2006I | システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。 | 通知 |
| FQXSPSD2007I | システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。 | 通知 |
| FQXSPSD2008I | エンクロージャー/シャーシ (MTM-SN: [arg2]) 内のドライブ [arg1] が障害からリカバリーしました。 | 通知 |
| FQXSPSD2010I | エンクロージャー/シャーシ (MTM-SN: [arg2]) 内のドライブ [arg1] が削除されました。 | 通知 |
| FQXSPSD2011I | エンクロージャー/シャーシ (MTM-S/N: [arg2]) 内のドライブ [arg1] で障害が予知されなくなりました。 | 通知 |
| FQXSPSD2012I | エンクロージャー/シャーシ (MTM-SN: [arg2]) 内のドライブ [arg1] でホット・スペアが無効になっています。 | 通知 |

表 2. 重大度別に整理されたイベント (続き)

| イベント ID | メッセージ・ストリング | 重大度 |
|--------------|--|-----|
| FQXSPSD2013I | エンクロージャー/シャーシ (MTM-S/N: [arg2]) 内のドライブ [arg1] で、アレイのクリティカルな状態が表明解除されました。 | 通知 |
| FQXSPSD2014I | エンクロージャー/シャーシ (MTM-S/N: [arg2]) 内のドライブ [arg1] で、アレイが復元されました。 | 通知 |
| FQXSPSD2015I | エンクロージャー/シャーシ (MTM-S/N: [arg2]) 内のドライブ [arg1] で、アレイの再構築が完了しました。 | 通知 |
| FQXSPSE2000I | シャーシ [PhysicalPackageElementName] が閉じられました。 | 通知 |
| FQXSPSE4001I | リモート・ログインに成功しました。IP アドレス [arg4] の [arg3] からの [arg2] を使用したログイン ID: [arg1] です。 | 通知 |
| FQXSPSE4002I | セキュリティ: Userid: [arg2] を使用する [arg1] は IP アドレス [arg4] の WEB クライアントから [arg3] 回ログインを失敗しました。 | 通知 |
| FQXSPSE4003I | セキュリティ: ログイン ID: [arg1] によって [arg3] の CLI から [arg2] 回のログイン障害が発生しました。 | 通知 |
| FQXSPSE4004I | リモート・アクセスの試みが失敗しました。受信した userid またはパスワードが無効です。IP アドレス [arg2] の Web ブラウザーからの Userid は [arg1] です。 | 通知 |
| FQXSPSE4005I | リモート・アクセスの試みが失敗しました。受信した userid またはパスワードが無効です。IP アドレス [arg2] の TELNET クライアントからの Userid は [arg1] です。 | 通知 |
| FQXSPSE4007I | セキュリティ: Userid: [arg2] を使用する [arg1] は IP アドレス [arg4] の SSH クライアントから [arg3] 回ログインを失敗しました。 | 通知 |
| FQXSPSE4008I | ユーザー [arg2] によって SNMPv1 [arg1] が設定されました。Name=[arg3]、AccessType=[arg4]、Address=[arg5] です。 | 通知 |
| FQXSPSE4009I | ユーザー [arg1] によって LDAP サーバー構成が設定されました。SelectionMethod=[arg2]、DomainName=[arg3]、Server1=[arg4]、Server2=[arg5]、Server3=[arg6]、Server4=[arg7] です。 | 通知 |
| FQXSPSE4010I | ユーザー [arg1] によって LDAP が設定されました。RootDN=[arg2]、UIDSearchAttribute=[arg3]、BindingMethod=[arg4]、EnhancedRBS=[arg5]、TargetName=[arg6]、GroupFilter=[arg7]、GroupAttribute=[arg8]、LoginAttribute=[arg9] です。 | 通知 |
| FQXSPSE4011I | ユーザー [arg2] によるセキュア Web サービス (HTTPS) [arg1] です。 | 通知 |
| FQXSPSE4012I | ユーザー [arg2] によるセキュアな CIM/XML(HTTPS) [arg1] です。 | 通知 |
| FQXSPSE4013I | ユーザー [arg2] によるセキュア LDAP [arg1] です。 | 通知 |
| FQXSPSE4014I | ユーザー [arg2] による SSH [arg1] です。 | 通知 |
| FQXSPSE4015I | ユーザー [arg1] によってグローバル・ログインの一般設定が設定されました。AuthenticationMethod=[arg2]、LockoutPeriod=[arg3]、SessionTimeout=[arg4] です。 | 通知 |
| FQXSPSE4016I | ユーザー [arg1] によってグローバル・ログインのアカウント・セキュリティが設定されました。PasswordRequired=[arg2]、PasswordExpirationPeriod=[arg3]、MinimumPasswordReuseCycle=[arg4]、MinimumPasswordLength=[arg5]、MinimumPasswordChangeInterval=[arg6]、MaxmumLoginFailures=[arg7]、LockoutAfterMaxFailures=[arg8] です。 | 通知 |

表 2. 重大度別に整理されたイベント (続き)

| イベント ID | メッセージ・ストリング | 重大度 |
|--------------|--|-----|
| FQXSPSE4017I | ユーザー [arg1] が作成されました。 | 通知 |
| FQXSPSE4018I | ユーザー [arg1] が削除されました。 | 通知 |
| FQXSPSE4019I | ユーザー [arg1] のパスワードが変更されました。 | 通知 |
| FQXSPSE4020I | ユーザー [arg1] の役割が [arg2] に設定されました。 | 通知 |
| FQXSPSE4021I | ユーザー [arg1] のカスタム特権が設定されました。 [arg2][arg3][arg4][arg5][arg6][arg7][arg8][arg9] です。 | 通知 |
| FQXSPSE4022I | SNMPv3 セットにおけるユーザー [arg1]: AuthenticationProtocol=[arg2]、PrivacyProtocol=[arg3]、 AccessType=[arg4]、HostforTraps=[arg5] (IP アドレス [arg8] の [arg7] からユーザー [arg6] による)。 | 通知 |
| FQXSPSE4023I | IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] によりユーザー [arg1] 用に SSH クライアント・キーが追加されました。 | 通知 |
| FQXSPSE4024I | IP アドレス [arg5] の [arg4] からユーザー [arg3] により、ユーザー [arg1] 用に SSH クライアント・キーが [arg2] からインポートされま した。 | 通知 |
| FQXSPSE4025I | IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] によりユーザー [arg1] から SSH クライアント・キーが削除されました。 | 通知 |
| FQXSPSE4026I | セキュリティ: ユーザー ID: [arg1] によって IP アドレス [arg3] の CIM クライアントから [arg2] 回のログイン障害が発生しました。 | 通知 |
| FQXSPSE4027I | リモート・アクセスの試みが失敗しました。受信した userid また はパスワードが無効です。IP アドレス [arg2] の CIM クライアント の Userid は [arg1] です。 | 通知 |
| FQXSPSE4028I | セキュリティ: Userid: [arg1] によって IP アドレス [arg3] の IPMI ク ライアントから [arg2] 回のログイン障害が発生しました。 | 通知 |
| FQXSPSE4029I | セキュリティ: Userid: [arg1] によって IP アドレス [arg3] の SNMP クライアントから [arg2] 回のログイン障害が発生しました。 | 通知 |
| FQXSPSE4030I | セキュリティ: Userid: [arg1] によって IPMI シリアル・クライアン トから [arg2] 回のログイン障害が発生しました。 | 通知 |
| FQXSPSE4031I | リモート・ログインに成功しました。[arg2] シリアル・インター フェースからのログイン ID: [arg1] です。 | 通知 |
| FQXSPSE4032I | IP アドレス [arg3] の [arg2] からのログイン ID [arg1] がログオフしま した。 | 通知 |
| FQXSPSE4033I | IP アドレス [arg3] の [arg2] からのログイン ID [arg1] はログオフし ています。 | 通知 |
| FQXSPSE4034I | ユーザー [arg1] が証明書を削除しました。 | 通知 |
| FQXSPSE4035I | 証明書が取り消されました。 | 通知 |
| FQXSPSE4036I | [arg1] 証明書は有効期限切れで削除されました。 | 通知 |
| FQXSPSE4037I | ユーザー [arg3] によって暗号モードが [arg1] から [arg2] に変更 されました。 | 通知 |
| FQXSPSE4038I | ユーザー [arg3] によって最小 TLS レベルが [arg1] から [arg2] に変更 されました。 | 通知 |

表 2. 重大度別に整理されたイベント (続き)

| イベント ID | メッセージ・ストリング | 重大度 |
|--------------|--|-----|
| FQXSPSE4039I | 一時ユーザー・アカウント [arg1] がインバンド・ツールにより作成されました。 | 通知 |
| FQXSPSE4040I | 一時ユーザー・アカウント [arg1] の有効期限が切れました。 | 通知 |
| FQXSPSE4041I | セキュリティ: Userid: [arg1] によって IP アドレス [arg3] の SFTP クライアントから [arg2] 回のログイン障害が発生しました。 | 通知 |
| FQXSPSE4042I | IP アドレス [arg4] の [arg3] からのユーザー [arg2] によるサード・パーティー・パスワード関数 [arg1] です。 | 通知 |
| FQXSPSE4043I | IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] によりサード・パーティー・パスワード [arg1] を取得しています。 | 通知 |
| FQXSPSE4044I | IP アドレス [arg5] の [arg4] からユーザー [arg3] によりユーザー [arg1] のサード・パーティー・ハッシュ・パスワードが [arg2] されました。 | 通知 |
| FQXSPSE4045I | IP アドレス [arg5] の [arg4] からユーザー [arg3] によりユーザー [arg1] サード・パーティー・パスワードの Salt が [arg2] されました。 | 通知 |
| FQXSPSE4046I | IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] によりユーザー [arg1] のサード・パーティー・パスワードが取得されました。 | 通知 |
| FQXSPSE4047I | 役割 [arg1] は [arg2] であり、ユーザー [arg12] によりカスタム権限 [arg3][arg4][arg5][arg6][arg7][arg8][arg9][arg10][arg11] が割り当てられました。 | 通知 |
| FQXSPSE4048I | 役割 [arg1] がユーザー [arg2] により削除されました。 | 通知 |
| FQXSPSE4049I | 役割 [arg1] がユーザー [arg3] によりユーザー [arg2] に割り当てられました。 | 通知 |
| FQXSPSE4050I | [arg1] が [arg2] から IPMI コマンドを送信しました。生データ: [arg3] [arg4] [arg5]。 | 通知 |
| FQXSPSE4051I | IP アドレス [arg4] のユーザー [arg3] により管理コントローラー [arg1] がネイバー・グループ [arg2] に参加しました。 | 通知 |
| FQXSPSE4052I | IP アドレス [arg4] の [arg2] [arg3] によりネイバー・グループ [arg1] のパスワードが変更されました。 | 通知 |
| FQXSPSE4053I | IP アドレス [arg4] のユーザー [arg3] により管理コントローラー [arg1] がネイバー・グループ [arg2] を離れました。 | 通知 |
| FQXSPSE4054I | IP アドレス [arg3] のユーザー [arg2] により IPMI SEL ラッピング・モードが [arg1] になっています。 | 通知 |
| FQXSPSE4055I | IP アドレス [arg2] のユーザー [arg1] により SED 暗号化が有効になっています。 | 通知 |
| FQXSPSE4056I | IP アドレス [arg3] のユーザー [arg2] により SED AK が [arg1] になっています。 | 通知 |
| FQXSPSE4057I | IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] によりユーザー [arg1] が作成されました。 | 通知 |
| FQXSPSE4058I | IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] によりユーザー [arg1] が削除されました。 | 通知 |
| FQXSPSE4059I | IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] によりユーザー [arg1] のパスワードが変更されました。 | 通知 |

表 2. 重大度別に整理されたイベント (続き)

| イベント ID | メッセージ・ストリング | 重大度 |
|--------------|---|-----|
| FQXSPSE4060I | IP アドレス [arg5] の [arg4] からユーザー [arg3] によりユーザー [arg1] の役割が [arg2] に設定されました。 | 通知 |
| FQXSPSE4061I | ユーザー [arg1] のカスタム権限セット: IP アドレス [arg12] の [arg11] からのユーザー [arg10] による [arg2][arg3][arg4][arg5][arg6][arg7][arg8][arg9]。 | 通知 |
| FQXSPSE4062I | IP アドレス [arg3] の [arg2] からユーザー [arg1] によりシステム・ガードのスナップショットがキャプチャーされました。 | 通知 |
| FQXSPSE4063I | システム・ガードの構成が IP アドレス [arg6] の [arg5] からユーザー [arg4] により更新されました。ステータス=[arg1]、ハードウェア・インベントリ=[arg2]、およびアクション=[arg3] です。 | 通知 |
| FQXSPSE4064I | SNMPv3 エンジン ID は IP アドレス [arg5] の [arg4] からユーザー [arg3] により [arg1] から [arg2] に変更されました。 | 通知 |
| FQXSPSE4065I | IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] による SFTP [arg1] | 通知 |
| FQXSPSE4066I | IP アドレス [arg5] の [arg4] からのユーザー [arg3] によって、暗号モードが [arg1] から [arg2] に変更されました。 | 通知 |
| FQXSPSE4067I | ユーザー [arg1] のアクセス可能インターフェースが IP アドレス [arg9] の [arg8] からのユーザー [arg7] によって [arg2][arg3][arg4][arg5][arg6] に設定されました。 | 通知 |
| FQXSPSS4000I | [arg1] によって管理コントローラーのテスト・アラートが生成されました。 | 通知 |
| FQXSPSS4001I | ユーザー [arg1] によってサーバー全般設定が設定されました。Name=[arg2]、Contact=[arg3]、Location=[arg4]、Room=[arg5]、RackID=[arg6]、Rack U-position=[arg7]、Address=[arg8] です。 | 通知 |
| FQXSPSS4002I | ユーザー [arg2] によって [arg1] のライセンス・キーが追加されました。 | 通知 |
| FQXSPSS4003I | ユーザー [arg2] によって [arg1] のライセンス・キーが削除されました。 | 通知 |
| FQXSPSS4004I | ユーザー [arg1] によって、テスト用のコールホームが生成されました。 | 通知 |
| FQXSPSS4005I | ユーザー [arg1] による手動コールホーム: [arg2]。 | 通知 |
| FQXSPSS4006I | [arg1] へのコール・ホームを完了できませんでした。[arg2] です。 | 通知 |
| FQXSPSS4007I | BMC 機能層は [arg1] から [arg2] に変更されました。 | 通知 |
| FQXSPSS4008I | ユーザー [arg3] によって [arg1] 設定が [arg2] に変更されました。 | 通知 |
| FQXSPSS4009I | システムは LXPM 保守モードになります。 | 通知 |
| FQXSPSS4010I | ユーザー [arg1] によって、テスト用の監査ログが生成されました。 | 通知 |
| FQXSPSS4011I | ファン速度ブースト設定が [arg1] から [arg2] に変更されました。 | 通知 |
| FQXSPTR4000I | 管理コントローラー [arg1] の時計が NTP サーバー [arg2] から設定されています。 | 通知 |
| FQXSPTR4001I | ユーザー [arg1] によって日付と時刻が設定されました。Date=[arg2]、Time-[arg3]、DST Auto-adjust=[arg4]、Timezone=[arg5] です。 | 通知 |

表 2. 重大度別に整理されたイベント (続き)

| イベント ID | メッセージ・ストリング | 重大度 |
|--------------|---|-----|
| FQXSPTR4002I | ユーザー [arg1] によって同期時刻が設定されました。 Mode=NTP サーバーとの同期、NTPServerHost1=[arg2]:[arg3]、 NTPServerHost2=[arg4]:[arg5]、NTPServerHost3=[arg6]:[arg7]、 NTPServerHost4=[arg8]:[arg9]、NTPUpdateFrequency=[arg10] です。 | 通知 |
| FQXSPTR4003I | ユーザー [arg1] による同期時刻設定: Mode=サーバー・クロックとの同期です。 | 通知 |
| FQXSPUN0017I | センサー [SensorElementName] が正常な状態に遷移しました。 | 通知 |
| FQXSPUN0026I | デバイス [LogicalDeviceElementName] が追加されました。 | 通知 |
| FQXSPUN2009I | センサー [SensorElementName] が表明解除されました。 | 通知 |
| FQXSPUN2012I | センサー [SensorElementName] が表明解除されました。 | 通知 |
| FQXSPUN2018I | センサー [SensorElementName] が正常な状態から重大でない状態への遷移を表明解除しました。 | 通知 |
| FQXSPUN2019I | センサー [SensorElementName] が重大な状態からさほど重大でない状態に遷移しました。 | 通知 |
| FQXSPUN2023I | センサー [SensorElementName] がリカバリー不能な状態への遷移を表明解除しました。 | 通知 |
| FQXSPUN2050I | PCI スロット [arg1] の RAID コントローラーがクリティカルなステータスではなくなりました。 | 通知 |
| FQXSPUP0002I | システム [ComputerSystemElementName] でファームウェアまたはソフトウェアの変更が発生しました。 | 通知 |
| FQXSPUP4001I | ユーザー [arg3] が [arg2] からの [arg1] のフラッシュに成功しました。 | 通知 |
| FQXSPUP4002I | ユーザー [arg3] が [arg2] からの [arg1] のフラッシュに失敗しました。 | 通知 |
| FQXSPUP4006I | プライマリー XCC のバックアップへの自動プロモーションは IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] によって [arg1] になっています。 | 通知 |
| FQXSPWD0000I | [WatchdogElementName] のウォッチドッグ・タイマーの期限が切れました。 | 通知 |
| FQXSPWD0001I | ウォッチドッグ [WatchdogElementName] によってシステム [ComputerSystemElementName] のレポートが開始されました。 | 通知 |
| FQXSPWD0002I | ウォッチドッグ [WatchdogElementName] によってシステム [ComputerSystemElementName] の電源オフが開始されました。 | 通知 |
| FQXSPWD0003I | ウォッチドッグ [WatchdogElementName] によってシステム [ComputerSystemElementName] の電源サイクルが開始されました。 | 通知 |
| FQXSPWD0004I | [WatchdogElementName] でウォッチドッグ・タイマーの割り込みが発生しました。 | 通知 |
| FQXSPBR4001I | バックアップ管理コントローラー [arg1] のメイン・アプリケーションを実行中です。 | 警告 |
| FQXSPCA0007J | 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。 | 警告 |
| FQXSPDM4002I | デバイス [arg1] の VPD が無効です。 | 警告 |
| FQXSPEA0001J | センサー [SensorElementName] が正常な状態から重大でない状態に遷移しました。 | 警告 |

表 2. 重大度別に整理されたイベント (続き)

| イベント ID | メッセージ・ストリング | 重大度 |
|--------------|---|-----|
| FQXSPIO0014J | バス [SensorElementName] が機能低下状態で動作しています。 | 警告 |
| FQXSPIO4001I | [arg1] の [arg1] によって GPU ボードのステータスが変更されました。 | 警告 |
| FQXSPMA0010J | サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。 | 警告 |
| FQXSPMA0011G | サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。 | 警告 |
| FQXSPMA0024G | センサー [SensorElementName] が表明されました。 | 警告 |
| FQXSPNM4010I | DHCP [[arg1]] でエラーがありました。IP アドレスが割り当てられていません。 | 警告 |
| FQXSPNM4032I | DHCPv6 エラーです。IP アドレスが割り当てられていません。 | 警告 |
| FQXSPPP4009I | 計測電力値が電源キャップ値を超えました。 | 警告 |
| FQXSPPP4010I | 新規の電源キャップの最小値が電源キャップ値を超えました。 | 警告 |
| FQXSPPU0002G | プロセッサ [ProcessorElementName] は機能低下状態で稼働しています。 | 警告 |
| FQXSPPW0003G | [PowerSupplyElementName] で障害が予知されました。 | 警告 |
| FQXSPPW0006I | [PowerSupplyElementName] の入力が失われました。 | 警告 |
| FQXSPPW0031J | 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。 | 警告 |
| FQXSPPW0057J | センサー [SensorElementName] が正常な状態から重大でない状態に遷移しました。 | 警告 |
| FQXSPPW0101J | [RedundancySetElementName] の冗長性低下が検出されました。 | 警告 |
| FQXSPPW0104J | [RedundancySetElementName] において「冗長性低下」または「完全冗長」から「冗長性なし: 十分なリソース」が検出されました。 | 警告 |
| FQXSPSD0002G | [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。 | 警告 |
| FQXSPSD0003G | エンクロージャー/シャーシ (MTM-SN: [arg2]) 内のドライブ [arg1] の障害が予知されました。 | 警告 |
| FQXSPSE0000F | シャーシ [PhysicalPackageElementName] が開かれました。 | 警告 |
| FQXSPUN0009G | センサー [SensorElementName] が表明されました。 | 警告 |
| FQXSPUN0018J | センサー [SensorElementName] が正常な状態から重大でない状態に遷移しました。 | 警告 |
| FQXSPBR4003I | [arg1] のプラットフォーム・ウォッチドッグ・タイマーの期限が切れました。 | エラー |
| FQXSPBR4007I | 管理コントローラー [arg1]: ユーザー [arg2] によるファイルからの構成の復元が完了できませんでした。 | エラー |
| FQXSPBR4008I | 管理コントローラー [arg1]: ユーザー [arg2] によるファイルからの構成の復元を開始できませんでした。 | エラー |
| FQXSPCA0002M | 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。 | エラー |

表 2. 重大度別に整理されたイベント (続き)

| イベント ID | メッセージ・ストリング | 重大度 |
|--------------|---|-----|
| FQXSPCA0009M | 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。 | エラー |
| FQXSPCA0011N | 数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回ったことが検出されました。 | エラー |
| FQXSPCA0017M | センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態から重大な状態に遷移しました。 | エラー |
| FQXSPCA0019N | センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態に遷移しました。 | エラー |
| FQXSPCR0001N | センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態に遷移しました。 | エラー |
| FQXSPEA0002M | センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態から重大な状態に遷移しました。 | エラー |
| FQXSPFW0000N | システム [ComputerSystemElementName] で POST エラーが発生しました。 | エラー |
| FQXSPFW0002N | システム [ComputerSystemElementName] でファームウェア・ハングが発生しました。 | エラー |
| FQXSPIO0003N | システム [ComputerSystemElementName] で診断割り込みが発生しました。 | エラー |
| FQXSPIO0004L | バス [SensorElementName] でバス・タイムアウトが発生しました。 | エラー |
| FQXSPIO0006N | システム [ComputerSystemElementName] でソフトウェア NMI が発生しました。 | エラー |
| FQXSPIO0007N | システム [ComputerSystemElementName] で PCI PERR が発生しました。 | エラー |
| FQXSPIO0008N | システム [ComputerSystemElementName] で PCI SERR が発生しました。 | エラー |
| FQXSPIO0011N | [SensorElementName] で訂正不能エラーが発生しました。 | エラー |
| FQXSPIO0013N | バス [SensorElementName] で致命的なバス・エラーが発生しました。 | エラー |
| FQXSPIO0015M | システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。 | エラー |
| FQXSPMA0002N | サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。 | エラー |
| FQXSPMA0007L | サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で消し込み障害が発生しました。 | エラー |
| FQXSPMA0008N | サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。 | エラー |
| FQXSPMA0012M | サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で過熱状態が検出されました。 | エラー |
| FQXSPOS4002I | ウォッチドッグ [arg1] がスクリーン・キャプチャーに失敗しました。 | エラー |
| FQXSPOS4003I | [arg1] のプラットフォーム・ウォッチドッグ・タイマーの期限が切れました。 | エラー |
| FQXSPOS4010I | OS クラッシュ・ビデオのキャプチャーに失敗しました。 | エラー |

表 2. 重大度別に整理されたイベント (続き)

| イベント ID | メッセージ・ストリング | 重大度 |
|--------------|--|-----|
| FQXSPPU0001N | [ProcessorElementName] で過熱状態が検出されました。 | エラー |
| FQXSPPU0003N | [ProcessorElementName] で IERR 障害が発生しました。 | エラー |
| FQXSPPU0004M | [ProcessorElementName] で FRB1/BIST 状態の障害が発生しました。 | エラー |
| FQXSPPU0009N | [ProcessorElementName] で構成不一致が発生しました。 | エラー |
| FQXSPPU0011N | [ProcessorElementName] の SM BIOS 修正不能 CPU 複合エラーが表明されました。 | エラー |
| FQXSPPU0012M | [ProcessorElementName] にマシン・チェック・エラーが発生しました。 | エラー |
| FQXSPPW0002L | [PowerSupplyElementName] に障害が発生しました。 | エラー |
| FQXSPPW0007L | [PowerSupplyElementName] で構成不一致が発生しました。 | エラー |
| FQXSPPW0035M | 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。 | エラー |
| FQXSPPW0061M | センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態から重大な状態に遷移しました。 | エラー |
| FQXSPPW0063M | センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態から重大な状態に遷移しました。 | エラー |
| FQXSPPW0110M | [RedundancySetElementName] において「冗長性なし: リソース不足」が検出されました。 | エラー |
| FQXSPSD0001L | [StorageVolumeElementName] に障害があります。 | エラー |
| FQXSPSD0002L | エンクロージャー/シャーシ (MTM-SN: [arg2]) 内のドライブ [arg1] に障害があります。 | エラー |
| FQXSPSD0005L | アレイ [ComputerSystemElementName] が重大な状態です。 | エラー |
| FQXSPSD0006L | アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。 | エラー |
| FQXSPSD0007L | エンクロージャー/シャーシ (MTM-S/N: [arg2]) 内のドライブ [arg1] で、アレイのクリティカルな状態が検出されました。 | エラー |
| FQXSPSD0008L | エンクロージャー/シャーシ (MTM-S/N: [arg2]) 内のドライブ [arg1] で、アレイ障害が検出されました。 | エラー |
| FQXSPSE4000I | 証明機関 [arg1] が [arg2] 証明書エラーを検出しました。 | エラー |
| FQXSPSE4006I | XCC が管理コントローラー [arg1] で無効な SSL 証明書を検出しました。 | エラー |
| FQXSPUN0019M | センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態から重大な状態に遷移しました。 | エラー |
| FQXSPUN0023N | センサー [SensorElementName] がリカバリー不能な状態に遷移しました。 | エラー |
| FQXSPUP0007L | システム [ComputerSystemElementName] で無効またはサポートされていないファームウェアまたはソフトウェアが検出されました。 | エラー |
| FQXSPUP4000I | 管理コントローラー [arg1] が正しいファームウェアでフラッシュされていることを確認してください。管理コントローラーがファームウェアをサーバーと一致させることができません。 | エラー |
| FQXSPUP4003I | [arg1] ファームウェアがシステム [arg2] と内部で一致しません。[arg3] ファームウェアのフラッシュを試みてください。 | エラー |

表 2. 重大度別に整理されたイベント (続き)

| イベント ID | メッセージ・ストリング | 重大度 |
|--------------|--|-----|
| FQXSPUP4004I | XCC ファームウェアがノード/サーバー [arg1] と [arg2] の間で不一致です。すべてのノード/サーバーの XCC ファームウェアを同一レベルにフラッシュしてください。 | エラー |
| FQXSPUP4005I | FPGA ファームウェアがノード/サーバー [arg1] と [arg2] の間で不一致です。すべてのノード/サーバーの FPGA ファームウェアを同一レベルにフラッシュしてください。 | エラー |

XClarity Controller イベントのリスト

このセクションでは、XClarity Controller から送信されるすべてのメッセージをリストしています。

- **FQXSPBR4000I**: 管理コントローラー [arg1]: ユーザー [arg2] によって構成がファイルから復元されました。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元したユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
 保守可能: いいえ
 自動的にサポートに通知: いいえ
 アラート・カテゴリ: なし
 SNMP Trap ID:
 CIM Prefix: IMM CIM ID: 0027

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPBR4001I**: バックアップ管理コントローラー [arg1] のメイン・アプリケーションを実行中です。

このメッセージは、管理コントローラーがバックアップ・メイン・アプリケーションを実行する手段を用いたユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
 保守可能: いいえ
 自動的にサポートに通知: いいえ
 アラート・カテゴリ: システム - その他
 SNMP Trap ID: 22
 CIM Prefix: IMM CIM ID: 0030

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. BMC ファームウェアを更新します。
2. 注: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。

4. Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSPBR4002I**: デフォルト値を復元するため、管理コントローラー [arg1] のリセットが発生しました。

このメッセージは、ユーザーが構成をデフォルト値に復元したために管理コントローラーがリセットされたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0032

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPBR4003I**: [arg1] のプラットフォーム・ウォッチドッグ・タイマーの期限が切れました。

このメッセージは、実装環境でプラットフォーム・ウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: エラー
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - OS タイムアウト
SNMP Trap ID: 21
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0039

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成してください。
2. BMC Ethernet over USB インターフェースが有効になっていることを確認します。
3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバを再インストールします。
4. ウォッチドッグ・タイマーを無効にします。
5. インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。
6. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
7. Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSPBR4004I**: ユーザー [arg1] によってサーバーのタイムアウトが設定されました。EnableOSWatchdog=[arg2]、OSWatchdogTimeout=[arg3]、EnableLoaderWatchdog=[arg4]、LoaderTimeout=[arg5] です。

ユーザーが、サーバー・タイムアウトを構成しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: なし

SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0095

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPBR4005I**: 管理コントローラー [arg1]: ユーザー [arg2] によって構成がファイルに保存されました。

ユーザーが管理コントローラー構成をファイルに保存しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0109

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPBR4006I**: 管理コントローラー [arg1]: ユーザー [arg2] によるファイルからの構成の復元が完了しました。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元し、それが完了したユース・ケースに表示されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0136

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPBR4007I**: 管理コントローラー [arg1]: ユーザー [arg2] によるファイルからの構成の復元が完了できませんでした。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元しようとして、復元の完了に失敗したユース・ケースに表示されます。

重大度: エラー
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0137

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 操作を再試行します。

2. システムの AC サイクルを実行します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
4. Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSPBR4008I: 管理コントローラー [arg1]: ユーザー [arg2] によるファイルからの構成の復元を開始できませんでした。**

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元しようとして、復元の開始が失敗したユース・ケースに表示されます。

重大度: エラー
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0138

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 暗号化されたバックアップ構成ファイルのパスワードが正しいかどうかを確認します。
2. 操作を再試行します。
3. システムの AC サイクルを実行します。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
5. Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSPBR4009I: 管理コントローラー [arg1]: グループ名 [arg3] によるネイバー・サーバー [arg2] からのクローン構成です。**

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をフェデレーションにより同期するユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0255

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPBR400AI: 管理コントローラー [arg1]: グループ名 [arg3] によるネイバー・サーバー [arg2] からのクローン構成が完了しました。**

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をフェデレーションにより同期し、それが完了したユース・ケースに表示されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他

SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0256

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPBR400BI**: 管理コントローラー [arg1]: グループ名 [arg3] によるネイバー・サーバー [arg2] からのクローン構成を完了できませんでした。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をフェデレーションにより同期しようとして、復元の完了が失敗したユース・ケースに表示されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0257

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPBR400CI**: 管理コントローラー [arg1]: グループ名 [arg3] によるネイバー・サーバー [arg2] からのクローン構成を開始できませんでした。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をフェデレーションにより同期しようとして、復元の開始が失敗したユース・ケースに表示されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0258

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPBR400DI**: ネイバー・グループのクローン構成がユーザー [arg1] により開始されました。
このメッセージは、ユーザーがフェデレーション・クローン構成を開始した場合に使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0259

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPBR400EI**: ネイバー・グループのファームウェア更新がユーザー [arg1] により開始されました。このメッセージは、ユーザーがフェデレーション更新を開始した場合に使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0260

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPBR400FI**: IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] によりネイバー・グループ管理は [arg1] です。

ネイバー・グループ管理がユーザーによって有効または無効にされました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0272

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPBT0007I**: システム [ComputerSystemElementName] に使用可能なブート可能メディアがありません。

このメッセージは、ブート可能メディアがないシステムが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0286

ユーザー処置:

ブート可能メディアが正しく取り付けられていることを確認してください。

- **FQXSPCA0002M**: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。

このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリ: クリティカル - ファン障害
SNMP Trap ID: 11
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0480

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. ファンが正しく取り付けられていることを確認してください。
2. ファンに問題がある場合は、ファンを再び取り付けてください。
3. 問題が解決しない場合は、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSPCA0007J: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルでない状態の上限を上回ったことが検出されました。**

このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - 温度
SNMP Trap ID: 12
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0490

ユーザー処置:

システムに防塵フィルターがある場合、防塵フィルターがきれいになっていることを確認します。

- **FQXSPCA0009M: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。**

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度
SNMP Trap ID: 0
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0494

ユーザー処置:

システムに防塵フィルターがある場合、防塵フィルターがきれいになっていることを確認します。

- **FQXSPCA0011N: 数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回ったことが検出されました。**

このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

SNMP Trap ID: 0
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0498

ユーザー処置:

システムに防塵フィルターがある場合、防塵フィルターがきれいになっていることを確認します。

- **FQXSPCA0017M: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度
SNMP Trap ID: 0
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0522

ユーザー処置:

システムに防塵フィルターがある場合、防塵フィルターがきれいになっていることを確認します。

- **FQXSPCA0019N: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能状態に遷移しました。**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度
SNMP Trap ID: 0
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0524

ユーザー処置:

システムに防塵フィルターがある場合、防塵フィルターがきれいになっていることを確認します。

- **FQXSPCA2002I: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回った状況の解消が検出されました。**

このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - ファン障害
SNMP Trap ID: 11
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0481

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPCA2007I**: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルでない状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。

このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - 温度
SNMP Trap ID: 12
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0491

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPCA2009I**: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度
SNMP Trap ID: 0
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0495

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPCA2011I**: 数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。

このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度
SNMP Trap ID: 0
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0499

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPCA2017I**: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大でない状態に遷移しました。

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度
SNMP Trap ID: 0
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0523

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPCA2019I: センサー [SensorElementName] でさほど重大でない状態からリカバリー不能状態への遷移の解消が検出されました。**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度
SNMP Trap ID: 0
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0525

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPCN4000I: ユーザー [arg1] によってシリアル・リダイレクトが設定されました。Mode=[arg2]、BaudRate=[arg3]、StopBits=[arg4]、Parity=[arg5]、SessionTerminateSequence=[arg6] です。**

ユーザーが、シリアル・ポート・モードを構成しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0078

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPCN4001I: ユーザー [arg1] によってリモート制御セッションが [arg2] モードで開始されました。**

リモート制御セッションが開始されました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0128

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPCN4002I: ユーザー [arg1] がアクティブ・コンソール・セッションを終了しました。**

ユーザーがアクティブ・コンソール・セッションを終了しました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0145

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPCN4003I: ユーザー [arg1] によって [arg2] モードで開始されたりリモート制御セッションが終了されました。**

リモート制御セッションが終了されました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0194

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPCR0001N: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能状態に遷移しました。**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - その他
SNMP Trap ID: 50
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0524

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. UEFI イメージを最新レベルにフラッシュしてください。
2. 問題が解決しない場合は、CMOS バッテリーを取り外して 30 秒待ってから再度取り付けることで、CMOS の内容を消去してください。
3. 問題が解決しない場合は、お住まいの地域のサービスに連絡してください。

- FQXSPCR2001I: センサー [SensorElementName] でさほど重大でない状態からリカバリー不能状態への遷移の解消が検出されました。

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - その他
SNMP Trap ID: 50
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0525

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPDM4000I: デバイス [arg1] のインベントリ・データが変更されました。新しいデバイス・データ・ハッシュ=[arg2]、新しいマスター・データ・ハッシュ=[arg3] です。

何らかの理由で物理インベントリが変化しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0072

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPDM4001I: ストレージ [arg1] が変更されました。

このメッセージは、ストレージ管理用の IP アドレスが変更されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - BMC ネットワーク・イベント
SNMP Trap ID: 37
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0139

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPDM4002I: デバイス [arg1] の VPD が無効です。

デバイスの VPD が無効です。

重大度: 警告
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22

CIM Prefix: IMM CIM ID: 0142

ユーザー処置:

サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSPDM4003I: TKLM サーバーがユーザー [arg1] によって設定されました。TKLMServer1=[arg2] Port=[arg3]、TKLMServer2=[arg4] Port=[arg5]、TKLMServer3=[arg6] Port=[arg7]、TKLMServer4=[arg8] Port=[arg9] です。

ユーザーが TKLM サーバーを構成しました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0146

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPDM4004I: ユーザー [arg1] によって TKLM サーバーのデバイス・グループが設定されました。TKLMServerDeviceGroup=[arg2] です。

ユーザーが TKLM デバイス・グループを構成しました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0147

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPDM4005I: ユーザー [arg1] が新規暗号鍵ペアを生成し、TKLM クライアントの自己署名証明書をインストールしました。

ユーザーが新規暗号鍵ペアを生成し、TKLM クライアントの自己署名証明書をインストールしました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0148

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPDM4006I: ユーザー [arg1] が新規暗号鍵と TKLM クライアントの証明書署名要求を生成しました。

ユーザーが新規暗号鍵と、TKLM クライアントに対する証明書署名要求を生成しました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0149

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPDM4007I: ユーザー [arg1] が [arg2] から TKLM クライアントの署名された証明書をインポートしました。

ユーザーが TKLM クライアントの署名済み証明書をインポートしました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0150

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPDM4008I: ユーザー [arg1] が TKLM サーバーのサーバー証明書をインポートしました。

ユーザーが TKLM サーバーのサーバー証明書をインポートしました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0151

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPDM4009I: ユーザー [arg1] が [arg4] からのファイル [arg3] を [arg2] しました。

ユーザーが URL またはサーバーからファイルをマウント/アンマウントしました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0162

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPEA0001J**: センサー [SensorElementName] が正常な状態からクリティカルでない状態に遷移しました。

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - その他
SNMP Trap ID: 60
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0520

ユーザー処置:

Storcli または LSA を使用して、警告またはクリティカル RAID イベントがないかどうかを確認します。

- **FQXSPEA0002M**: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - その他
SNMP Trap ID: 50
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0522

ユーザー処置:

Storcli または LSA ソフトウェア・ツールを使用して、警告またはクリティカルな RAID イベントがないかどうかを確認します。

- **FQXSPEA2001I**: センサー [SensorElementName] で正常な状態からクリティカルでない状態への遷移の解消が検出されました。

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - その他
SNMP Trap ID: 60
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0521

ユーザー処置:

Storcli または LSA を使用して、警告またはクリティカル RAID イベントがないかどうかを確認します。

- **FQXSPEA2002I**: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大でない状態に遷移しました。

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - その他
SNMP Trap ID: 50
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0523

ユーザー処置:

Storcli または LSA を使用して、警告またはクリティカル RAID イベントがないかどうかを確認します。

- **FQXSPEM4000I**: システム [arg2] の [arg1] はユーザー [arg3] によってクリアされました。

このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログがユーザーによって消去されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0020

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPEM4001I**: システム [arg2] の [arg1] は 75% 使用中です。

このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログが 75% フルであるユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - イベント・ログの満杯率
SNMP Trap ID: 35
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0037

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPEM4002I**: システム [arg2] の [arg1] は 100% 使用中です。

このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログが 100% フルであるユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリー: システム - イベント・ログの満杯率
SNMP Trap ID: 35
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0038

ユーザー処置:

古いログ項目がなくならないようにするには、古いログをテキスト・ファイルとして保存し、そのログを消去します。

- FQXSPeM4003I: [arg3] によって LED の [arg1] 状態が [arg2] に変更されました。
ユーザーが LED の状態を変更しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0071

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPeM4004I: ユーザー [arg2] によって SNMP [arg1] が有効にされました。
ユーザーが SNMPv1 または SNMPv3 あるいはトラップを有効にしました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0073

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPeM4005I: ユーザー [arg2] によって SNMP [arg1] が無効にされました。
ユーザーが SNMPv1 または SNMPv3 あるいはトラップを無効にしました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0074

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPeM4006I: ユーザー [arg1] によってアラート構成のグローバル・イベント通知が設定されました。RetryLimit=[arg2]、RetryInterval=[arg3]、EntryInterval=[arg4] です。

ユーザーが、グローバル・イベント通知設定を変更しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0110

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPEM4007I**: アラート受信者番号 [arg1] が更新されました。Name=[arg2]、DeliveryMethod=[arg3]、Address=[arg4]、IncludeLog=[arg5]、Enabled=[arg6]、EnabledAlerts=[arg7]、AllowedFilters=[arg8] (IP アドレス [arg11] の [arg10] からユーザー [arg9] により) です。

ユーザーがアラート受信者を追加または更新しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0111

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPEM4008I**: ユーザー [arg1] によって SNMP トラップが有効にされました。EnabledAlerts=[arg2]、AllowedFilters=[arg3] です。

ユーザーが SNMP トラップ構成を有効にしました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0112

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPEM4009I**: UEFI 定義が変更されました。

UEFI 定義変更が検出されました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0152

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPEM4010I: UEFI が [arg1] を報告しました。

UEFI 監査イベントがログに記録されました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0161

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPEM4011I: XCC は、前のイベント [arg1] を記録しませんでした。

XCC は、前のイベントを記録しませんでした。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0196

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPEM4012I: ユーザー [arg1] は、システム [arg2] を Encapsulation ライト・モードにしました。

Encapsulation ライト・モードのステータスの変更

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0201

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPEM4013I: RAID コントローラーによってバッテリー・エラーが検出されました。バッテリーを取り替える必要があります。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])

RAID コントローラーによってバッテリー・エラーが検出されました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0202

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSP4014I: RAID コントローラーはバッテリーに問題があります。この問題を解決するには、テクニカル・サポートに連絡してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])

RAID コントローラーはバッテリーに問題があります

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: はい
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0203

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSP4015I: RAID コントローラーは、リカバリー不能エラーを検出しました。コントローラーを取り替える必要があります。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])

RAID コントローラーは、リカバリー不能エラーを検出しました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: はい
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0204

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSP4016I: RAID コントローラーは、1つ以上の問題を検出しました。追加のサポートが必要な場合は、テクニカル・サポートに連絡してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])

RAID コントローラーは、1つ以上の問題を検出しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0205

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPEM4017I: RAID コントローラーは、サブシステム内に 1 つ以上の構成の変更が行われた可能性を検出しました。ドライブ LED のステータスを確認してください。必要な場合は、テクニカル・サポートに追加のサポートを依頼してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])

RAID コントローラーは、サブシステム内に 1 つ以上の構成の変更が行われた可能性を検出しました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0206

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPEM4018I: 1 つ以上のユニットでエンクロージャー/シャーシの問題が検出されました。エンクロージャー/シャーシを確認して問題を修復してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])

1 つ以上のユニットでエンクロージャー/シャーシの問題が検出されました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0207

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPEM4019I: エンクロージャー/シャーシで接続の問題が検出されました。ケーブル構成を確認して問題を修復してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])

エンクロージャー/シャーシで接続の問題が検出されました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0208

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPEM4020I: エンクロージャー/シャーシでファンの問題が検出されました。エンクロージャー/シャーシのユニットのファンが正常に動作しているか確認してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])

エンクロージャー/シャーシでファンの問題が検出されました

重大度: 通知
保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0209

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPEM4022I: エンクロージャー/シャーシのパワー・サプライに問題が発生しています。エンクロージャー/シャーシのパワー・サプライが正常に動作しているか確認してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])

エンクロージャー/シャーシのパワー・サプライに問題が発生しています

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0210

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPEM4023I: 1つ以上の仮想ドライブが異常な状態で、この状態が原因で仮想ドライブが使用できなくなる可能性があります。イベント・ログを確認してください。イベントが同じディスクを対象としている場合は、そのドライブを交換してください。必要な場合は、テクニカル・サポートに追加のサポートを依頼してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])

1つ以上の仮想ドライブが異常な状態で、この状態が原因で仮想ドライブが使用できなくなる可能性があります

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0211

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPEM4024I: RAID コントローラーは、サブシステム内に1つ以上の構成の問題が発生した可能性を検出しました。イベント・ログを確認してください。イベントが同じディスクを対象としている場合は、そのドライブを交換してください。必要な場合は、テクニカル・サポートに追加のサポートを依頼してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])

RAID コントローラーは、サブシステム内に1つ以上の構成の問題が発生した可能性を検出しました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22

CIM Prefix: IMM CIM ID: 0212

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSP4025I: 1 つ以上の仮想ドライブに問題が発生しています。この問題を解決するには、テクニカル・サポートに連絡してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])

1 つ以上の仮想ドライブに問題が発生しています

重大度: 通知

保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: はい

アラート・カテゴリ: システム - その他

SNMP Trap ID: 22

CIM Prefix: IMM CIM ID: 0213

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSP4026I: RAID コントローラーによってドライブ・エラーが検出されました。この問題を解決するには、テクニカル・サポートに連絡してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])

RAID コントローラーによってドライブ・エラーが検出されました

重大度: 通知

保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: はい

アラート・カテゴリ: システム - その他

SNMP Trap ID: 22

CIM Prefix: IMM CIM ID: 0214

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSP4027I: RAID コントローラーによってドライブ・エラーが検出されました。イベント・ログを確認してください。イベントが同じディスクを対象としている場合は、そのドライブを交換してください。必要な場合は、テクニカル・サポートに追加のサポートを依頼してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])

RAID コントローラーによってドライブ・エラーが検出されました

重大度: 通知

保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリ: システム - その他

SNMP Trap ID: 22

CIM Prefix: IMM CIM ID: 0215

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPPEM4028I: [arg3] の PCIe デバイス [arg2] のポート [arg1] にリンク [arg4] があります。
PCI デバイスのリンク

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0220

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPPEM4029I: 現行の CPU 装着に基づく、[arg1] のすべての PCIe スロットが機能しない場合があります。

PCIe が機能しない

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0221

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPPEM4030I: RAID コントローラーで予定されていた操作に問題が発生しました。詳細については、サーバー管理、ローカル・ストレージの RAID ログを参照してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])

RAID コントローラーで予定されていた操作に問題があります

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0223

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPPEM4031I: SSD 装着しきい値設定は IP アドレス [arg5] の [arg4] からユーザー [arg3] により [arg1] から [arg2] に変更されました。

SSD 装着しきい値設定はユーザーにより変更されました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他

SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0273

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPEM4032I: 音響モード [arg1] が作動しています。ファン速度制限が所定の位置にあります。**
このメッセージは、音響モードが作動しているユース・ケースで使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0274

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPEM4033I: 音響モード [arg1] は解放され、十分に冷却されます。**
このメッセージは、音響モードが作動しているユース・ケースで使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0275

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPFC4000I: ベア・メタル接続プロセスが開始されました。**
ベア・メタル接続プロセスが開始されました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0143

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPFC4001I: ベア・メタル更新アプリケーションがステータス [arg1] を報告しました。**
ベア・メタル更新アプリケーションのステータスです。

重大度: 通知

保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0144

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPFC4002I: システムがセットアップを実行中です。**

システムがセットアップを実行中です

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0193

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPFC4003I: UEFI デプロイメント・ブート・モードは NextBoot のため有効になっています。**

UEFI デプロイメント・ブート・モードは NextBoot のため有効になっています

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0197

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPFC4004I: UEFI デプロイメント・ブート・モードは NextAc のため有効になっています**

UEFI デプロイメント・ブート・モードは NextAC のため有効になっています

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0198

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPFC4005I: UEFI デプロイメント・ブート・モードは無効にされました。**

UEFI デプロイメント・ブート・モードは無効にされました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0199

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPFW0000N**: システム [ComputerSystemElementName] で POST エラーが発生しました。
このメッセージは、実装環境で POST エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - その他
SNMP Trap ID: 50
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0184

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 元の UEFI 設定はまだ存在しています。お客さまが元の設定を引き続き使用することを希望する場合は、「設定の保存」を選択します。
2. ユーザーが意図的にリブートをトリガーしたのでない場合は、ログに推定原因がないか確認してください。例えば、バッテリー障害イベントがある場合は、そのイベントを解決するステップを実行してください。
3. 最近行ったシステム変更 (設定やデバイスの追加) を元に戻します。システムがブートすることを確認します。次に、一度に1つずつオプションを再取り付けし、問題を特定します。
4. Lenovo サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。該当する場合は UEFI ファームウェアを更新します。
5. システム・ボードの CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去し、CMOS バッテリーを再取り付けします。ブートが正常に行われたら、システム設定を復元します。
6. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
7. Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSPFW0002N**: システム [ComputerSystemElementName] でファームウェア・ハングが発生しました。

このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェアのハングが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム-ブート障害
SNMP Trap ID: 25
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0186

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 元の UEFI 設定はまだ存在しています。お客さまが元の設定を引き続き使用することを希望する場合は、「設定の保存」を選択します。
2. ユーザーが意図的にリブートをトリガーしたのでない場合は、ログに推定原因がないか確認してください。例えば、バッテリー障害イベントがある場合は、そのイベントを解決するステップを実行してください。
3. 最近行ったシステム変更 (設定やデバイスの追加) を元に戻します。システムがブートすることを確認します。次に、一度に1つずつオプションを再取り付けし、問題を特定します。
4. Lenovo サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。該当する場合は UEFI ファームウェアを更新します。
5. システム・ボードの CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去し、CMOS バッテリーを再取り付けします。ブートが正常に行われたら、システム設定を復元します。
6. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
7. Lenovo サポートに連絡してください。

• **FQXSPIO0003N**: システム [ComputerSystemElementName] で診断割り込みが発生しました。

このメッセージは、実装環境でフロント・パネル NMI/診断割り込みが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - その他
SNMP Trap ID: 50
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0222

ユーザー処置:

NMI ボタンを押していない場合は、以下のステップを実行してください。

1. システムをリブートします。
2. エラーが解決しない場合は、サービス・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

• **FQXSPIO0004L**: バス [SensorElementName] でバス・タイムアウトが発生しました。

このメッセージは、実装環境でバス・タイムアウトが検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - その他
SNMP Trap ID: 50
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0224

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. サーバーをリブートします。
2. (サービス技術員のみ) 問題が解決しない場合、システム・ボードを交換してください。

3. 問題が解決しない場合は、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSPIO0006N**: システム [ComputerSystemElementName] でソフトウェア NMI が発生しました。このメッセージは、実装環境でソフトウェア NMI が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - その他
SNMP Trap ID: 50
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0228

ユーザー処置:

システム・イベント・ログのイベント・ログを確認し、NMI に関連する問題をすべて解決する

- **FQXSPIO0007N**: システム [ComputerSystemElementName] で PCI PERR が発生しました。このメッセージは、実装環境で PCI PERR が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - その他
SNMP Trap ID: 50
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0232

ユーザー処置:

問題を解決するには、以下のステップを実行してください。

1. アダプターを取り付け直すか別のスロットに取り付けます。
2. 問題が解決しない場合は、アダプターを交換してください。
3. それでも問題が解決しない場合は、お住まいの地域のサービスに連絡してください。

- **FQXSPIO0008N**: システム [ComputerSystemElementName] で PCI SERR が発生しました。このメッセージは、実装環境で PCI SERR が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - その他
SNMP Trap ID: 50
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0234

ユーザー処置:

問題を解決するには、以下のステップを実行してください。

1. アダプターを取り付け直すか別のスロットに取り付けます。
2. 問題が解決しない場合は、アダプターを交換してください。
3. それでも問題が解決しない場合は、お住まいの地域のサービスに連絡してください。

- **FQXSPIO0010I**: バス [SensorElementName] で訂正可能なバス・エラーが発生しました。

このメッセージは、実装環境でバスの訂正可能エラーが検出されたユース・ケースで使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0238

ユーザー処置:

通知メッセージ。このエラーを解決するにはシステム・ログに記録されているエラーを修正してください

- **FQXSPIO0011N**: [SensorElementName] で訂正不能エラーが発生しました。

このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースで使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: はい
アラート・カテゴリ: クリティカル - その他
SNMP Trap ID: 50
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0240

ユーザー処置:

<http://support.lenovo.com/> で TECH のヒント、またはエラーを訂正する可能性があるファームウェア更新がないかを確認します。

1. すべての I/O 拡張アダプターに、正しい適合するレベルのデバイス・ドライバーおよびファームウェアが備わっていることを確認します。
2. 障害のあるコンポーネントの追加情報について、XClarity Controller のイベント・ログまたはを調べます。
3. イベント・ログにこのエラーに関連した項目がない場合は、Lenovo サポートに連絡します。

- **FQXSPIO0013N**: バス [SensorElementName] で致命的バス・エラーが発生しました。

このメッセージは、実装環境でバスの致命的エラーが検出されたユース・ケースで使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - その他
SNMP Trap ID: 50
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0244

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できるシステムまたはアダプターに関する Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
3. Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSPIO0014J**: バス [SensorElementName] が機能低下状態で動作しています。

このメッセージは、実装環境でバスの機能低下が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - その他
SNMP Trap ID: 60
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0246

ユーザー処置:

問題を解決するには、以下のステップを実行してください。

1. アダプターを取り付け直すか別のスロットに取り付けます。
2. 問題が解決しない場合は、アダプターを交換してください。
3. それでも問題が解決しない場合は、お住まいの地域のサービスに連絡してください。

- **FQXSPIO0015M**: システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。

このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: はい
アラート・カテゴリ: クリティカル - その他
SNMP Trap ID: 50
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0330

ユーザー処置:

エラーを修正するには、次の手順を実行してください。

1. すべての I/O 拡張アダプターに、正しい適合するレベルのデバイス・ドライバおよびファームウェアが備わっていることを確認します。
2. 障害のあるコンポーネントの追加情報について、XClarity Controller のイベント・ログまたは調べます。 <http://support.lenovo.com/> で TECH のヒント、またはエラーを訂正する可能性があるファームウェア更新がないかを確認します。
3. イベント・ログにこのエラーに関連した項目がない場合は、Lenovo サポートに連絡します。

- **FQXSPIO2003I**: システム [ComputerSystemElementName] が診断割り込みからリカバリーしました。

このメッセージは、実装環境でフロント・パネル NMI/診断割り込みからのリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - その他
SNMP Trap ID: 50
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0223

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPIO2004I**: バス [SensorElementName] がバス・タイムアウトからリカバリーしました。
このメッセージは、システムがバス・タイムアウトからリカバリーされたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - その他
SNMP Trap ID: 50
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0225

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPIO2006I**: システム [ComputerSystemElementName] が NMI からリカバリーしました。
このメッセージは、ソフトウェア NMI から回復したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - その他
SNMP Trap ID: 50
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0230

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPIO2007I**: システム [ComputerSystemElementName] で PCI PERR のリカバリーが発生しました。
このメッセージは、実装環境で PCI PERR がリカバリーされたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - その他
SNMP Trap ID: 50
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0233

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPIO2008I**: システム [ComputerSystemElementName] の PCI SERR の解消が検出されました。
このメッセージは、PCI SERR の解消が実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他
SNMP Trap ID: 50
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0235

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPIO2010I: バス [SensorElementName] が訂正可能なバス・エラーからリカバリーしました。

このメッセージは、システムがバスの訂正可能エラーからリカバリーされたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0239

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPIO4001I: [arg1] の [arg1] によって GPU ボードのステータスが変更されました。

このメッセージは、GPU ボードのステータスが変更されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0276

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPIO4002I: [arg1] の [arg1] によって GPU ボードのステータスがリカバリーされました。

このメッセージは、GPU ボードのステータスが変更されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0277

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPMA0001I: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でエラーが検出され訂正されました。

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正済みエラーが検出されたユース・ケースで使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0124

ユーザー処置:

報告されたスロットに取り付けられた DIMM を取り付け直します。問題が解決しない場合、報告されたスロットに取り付けられた DIMM を交換します。

- **FQXSPMA0002N : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。**

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユース・ケースで使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー
SNMP Trap ID: 41
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0126

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. この障害が発生する前に DIMM 構成を変更した場合、DIMM が正しい装着順序で取り付けられていることを確認します。
2. POST メモリー・テストに失敗した DIMM と隣接するスロットの DIMM (装着されている場合) を取り付け直します。ブートして F1 セットアップを表示し、DIMM を有効にします。システムをリブートします。
3. その問題が発生する直前に DIMM をアップグレードした場合、UEFI を最新バージョンに更新します。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
5. Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSPMA0007L : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。**

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出されたユース・ケースで使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: はい
アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー
SNMP Trap ID: 41
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0136

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 1つ以上の DIMM がサーバーに取り付けられていることを確認します。
2. 既存のメモリー・エラーがある場合は、それを解決します。
3. メモリーの障害がログに記録されていない場合は、Setup Utility または OneCLI ユーティリティーを使用して、すべての DIMM コネクタが有効になっていることを確認します。
4. 本製品のサービス情報に従って DIMM が正しい装着順序で取り付けられていることを確認して、すべての DIMM を取り付け直します。
5. CMOS システム・ボード上のメモリーをクリアします。ファームウェアの設定はすべてデフォルトに戻されることに注意してください。
6. UEFI ファームウェアを再フラッシュします。
7. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
8. Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSPMA0008N: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。**

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: はい
アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー
SNMP Trap ID: 41
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0138

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. サーバーの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを目視で確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の FQXSFMA0011I イベントが記録されている場合があります。)
2. DIMM コネクタ上に問題が見つからず、この問題が解決しない場合は、Lightpath あるいはイベント・ログ・エントリ (またはその両方) で示された DIMM を交換します。
3. 同じ DIMM コネクタで問題が再発生した場合は、同じメモリー・チャンネル上の他の DIMM を交換します。
4. Lenovo サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
5. 同じ DIMM コネクタで問題が再発生した場合は、コネクタに損傷がないか調べます。損傷が見つかった場合、または問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
6. Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSPMA0010J: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。**

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0142

ユーザー処置:

システムに防塵フィルターがある場合、防塵フィルターがきれいになっていることを確認します。

- **FQXSPMA0011G**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: はい
アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー
SNMP Trap ID: 43
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0144

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. サーバーの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを目視で確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の FQXSFMA0011I イベントが記録されている場合があります。)
2. DIMM コネクタ上に問題が見つからず、この問題が解決しない場合は、Lightpath あるいはイベント・ログ・エントリ (またはその両方) で示された DIMM を交換します。
3. 同じ DIMM コネクタで問題が再発生した場合は、同じメモリー・チャンネル上の他の DIMM を交換します。
4. Lenovo サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
5. 同じ DIMM コネクタで問題が再発生した場合は、コネクタに損傷がないか調べます。損傷が見つかった場合、または問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
6. Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSPMA0012M**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度
SNMP Trap ID: 0
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0146

ユーザー処置:

システムに防塵フィルターがある場合、防塵フィルターがきれいになっていることを確認します。

- **FQXSPMA0022I: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・スペアリングが開始されました。**

このメッセージは、実装環境でメモリーのダブル・チップ・スペアリングが開始されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0140

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPMA0024G: センサー [SensorElementName] が検出されました。**

このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー
SNMP Trap ID: 43
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0508

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. この障害が発生する前に DIMM 構成を変更した場合、DIMM が正しい装着順序で取り付けられていることを確認します。
2. POST メモリー・テストに失敗した DIMM と隣接するスロットの DIMM (装着されている場合) を取り付け直します。ブートして F1 セットアップを表示し、DIMM を有効にします。システムをリブートします。
3. その問題が発生する直前に DIMM をアップグレードした場合、UEFI を最新バージョンに更新します。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
5. Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSPMA0025I: センサー [SensorElementName] が検出されました。**

このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID:

CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0508

ユーザー処置:

取り付けられているすべての DIMM が Lenovo によって認定済みであることを確認します。認定済みでない場合、Lenovo 認定のユニットと交換してください。それでも問題が解決しない場合は、お住まいの地域のサービスに連絡してください。

- **FQXSPMA2007I: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害がリカバリーされました。**

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー
SNMP Trap ID: 41
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0137

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPMA2010I: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。**

このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0143

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPMA2012I: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における温度過熱状態が取り除かれました。**

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度
SNMP Trap ID: 0
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0147

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPMA2024I**: センサー [SensorElementName] の解消が検出されました。

このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0509

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPNM4000I**: 管理コントローラー [arg1] でネットワークの初期化が完了しました。

このメッセージは、管理コントローラーのネットワークで初期化が完了したユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - BMC ネットワーク・イベント
SNMP Trap ID: 37
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0001

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPNM4001I**: ユーザー [arg3] によってイーサネット・データ転送速度が [arg1] から [arg2] に変更されました。

このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポートのデータ転送速度を変更したユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0003

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPNM4002I**: ユーザー [arg3] によってイーサネット二重化設定が [arg1] から [arg2] に変更されました。

このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポートの二重設定を変更したユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知

保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0004

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPNM4003I**: ユーザー [arg3] によってイーサネット MTU 設定が [arg1] から [arg2] に変更されました。

このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポート MTU 設定を変更したユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0005

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPNM4004I**: ユーザー [arg3] によってイーサネットのローカル管理 MAC アドレスが [arg1] から [arg2] に変更されました。

このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポート MAC アドレス設定を変更したユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0006

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPNM4005I**: ユーザー [arg2] によってイーサネット・インターフェースが [arg1] になりました。

このメッセージは、ユーザーがイーサネット・インターフェースを有効または無効にした場合に使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0007

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPNM4006I: ユーザー [arg2] によってホスト名が [arg1] に設定されました。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーのホスト名を変更するユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - BMC ネットワーク・イベント
SNMP Trap ID: 37
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0008

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPNM4007I: ユーザー [arg3] によってネットワーク・インターフェースの IP アドレスが [arg1] から [arg2] に変更されました。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーの IP アドレスを変更するユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - BMC ネットワーク・イベント
SNMP Trap ID: 37
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0009

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPNM4008I: ユーザー [arg3] によってネットワーク・インターフェースの IP サブネット・マスクが [arg1] から [arg2] に変更されました。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーの IP サブネット・マスクを変更するユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0010

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPNM4009I: ユーザー [arg3] によってデフォルト・ゲートウェイの IP アドレスが [arg1] から [arg2] に変更されました。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーのデフォルト・ゲートウェイ IP アドレスを変更するユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0011

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPNM4010I: DHCP[[arg1]] エラーです。IP アドレスが割り当てられていません。**

このメッセージは、DHCP サーバーが管理コントローラーに IP アドレスを割り当てることができないユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0013

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. XCC/BMC 管理ネットワーク・ケーブルが接続され、ネットワーク・ポートがアクティブになっていることを確認します。
2. XCC/BMC に IP アドレスを割り当てることができるネットワーク上に DHCP サーバーがあることを確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
4. Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSPNM4011I: ENET[[arg1]] DHCP-HSTN=[arg2]、DN=[arg3]、IP@[arg4]、SN=[arg5]、GW@[arg6]、DNS1@[arg7]。**

このメッセージは、管理コントローラーの IP アドレスと構成が DHCP サーバーによって割り当てられたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0022

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPNM4012I: ENET[[arg1]] IP-Cfg:HstName=[arg2]、IP@[arg3]、NetMsk=[arg4]、GW@[arg5]。**

このメッセージは、管理コントローラーの IP アドレスと構成がユーザー・データを使用して静的に割り当てられたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0023

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPNM4013I: LAN: イーサネット [[arg1]] インターフェースはアクティブではなくなりました。**

このメッセージは、管理コントローラーのイーサネット・インターフェースがアクティブでなくなったユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0024

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPNM4014I: LAN: イーサネット [[arg1]] インターフェースがアクティブになりました。**

このメッセージは、管理コントローラーのイーサネット・インターフェースがアクティブになったユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0025

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPNM4015I: ユーザー [arg2] によって DHCP 設定が [arg1] に変更されました。**

このメッセージは、ユーザーが DHCP 設定を変更したユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0026

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPNM4016I**: ユーザー [arg2] によってドメイン名が [arg1] に設定されました。
ユーザーによってドメイン名が設定されました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0043

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPNM4017I**: ユーザー [arg2] によってドメイン・ソースが [arg1] に変更されました。
ドメイン・ソースがユーザーによって変更されました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0044

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPNM4018I**: ユーザー [arg2] によって DDNS 設定が [arg1] に変更されました。
DDNS 設定がユーザーによって変更されました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0045

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPNM4019I**: DDNS の登録が正常に完了しました。ドメイン名は [arg1] です。
DDNS 登録および値

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし

SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0046

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPNM4020I: ユーザー [arg1] によって IPv6 が有効にされました。
ユーザーが IPv6 プロトコルを有効にしました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0047

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPNM4021I: ユーザー [arg1] によって IPv6 が無効にされました。
ユーザーが IPv6 プロトコルを無効にしました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0048

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPNM4022I: ユーザー [arg1] によって IPv6 静的 IP 構成が有効にされました。
ユーザーが IPv6 静的アドレス割り当て方式を有効にしました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0049

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPNM4023I: ユーザー [arg1] によって IPv6 DHCP が有効にされました。
ユーザーが IPv6 DHCP 割り当て方式を有効にしました。

重大度: 通知

保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0050

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPNM4024I**: ユーザー [arg1] によって IPv6 ステートレス自動構成が有効化されました。ユーザーが IPv6 ステートレス自動割り当て方式を有効にしました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0051

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPNM4025I**: ユーザー [arg1] によって IPv6 静的 IP 構成が無効化されました。ユーザーが IPv6 静的割り当て方式を無効にしました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0052

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPNM4026I**: ユーザー [arg1] によって IPv6 DHCP が無効にされました。ユーザーが IPv6 DHCP 割り当て方式を無効にしました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0053

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPNM4027I**: ユーザー [arg1] によって IPv6 ステートレス自動構成が無効化されました。

ユーザーが IPv6 ステートレス自動割り当て方式を無効にしました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0054

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPNM4028I**: ENET[[arg1]] IPv6-LinkLocal:HstName=[arg2]、IP@[arg3]、Pref=[arg4]。
IPv6 リンク・ローカル・アドレスがアクティブです。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0055

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPNM4029I**: ENET[[arg1]] IPv6-Static:HstName=[arg2]、IP@[arg3]、Pref=[arg4]、GW@[arg5]。
IPv6 静的アドレスがアクティブです。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0056

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPNM4030I**: ENET[[arg1]] DHCPv6-HSTN=[arg2]、DN=[arg3]、IP@[arg4]、Pref=[arg5]、
DNS1@[arg5] です。
IPv6 DHCP 割り当てアドレスがアクティブです。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0057

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPNM4031I**: ユーザー [arg3] によってネットワーク・インターフェースの IPv6 固定アドレスが [arg1] から [arg2] に変更されました。

ユーザーが、管理コントローラーの IPv6 静的アドレスを変更しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0058

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPNM4032I**: DHCPv6 エラーです。IP アドレスが割り当てられていません。
DHCPv6 サーバーが、管理コントローラーへの IP アドレスの割り当てに失敗しました。

重大度: 警告
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0059

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. XCC/BMC 管理ネットワーク・ケーブルが接続され、ネットワーク・ポートがアクティブになっていることを確認します。
2. XCC/BMC に IP アドレスを割り当てることができるネットワーク上に DHCPv6 サーバーが存在することを確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
4. Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSPNM4033I**: ユーザー [arg3] によって Telnet ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。
ユーザーが Telnet ポート番号を変更しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0061

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPNM4034I: ユーザー [arg3] によって SSH ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。ユーザーが SSH ポート番号を変更しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0062

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPNM4035I: ユーザー [arg3] によって Web-HTTP ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。

ユーザーが Web HTTP ポート番号を変更しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0063

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPNM4036I: ユーザー [arg3] によって Web-HTTPS ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。

ユーザーが Web HTTPS ポート番号を変更しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0064

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPNM4037I: ユーザー [arg3] によって CIM/XML HTTP ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。

ユーザーが CIM HTTP ポート番号を変更しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:

CIM Prefix: IMM CIM ID: 0065

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPNM4038I: ユーザー [arg3] によって CIM/XML HTTPS ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。

ユーザーが CIM HTTPS ポート番号を変更しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0066

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPNM4039I: ユーザー [arg3] によって SNMP エージェント・ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。

ユーザーが SNMP エージェント・ポート番号を変更しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0067

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPNM4040I: ユーザー [arg3] によって SNMP トラップのポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。

ユーザーが SNMP トラップ・ポート番号を変更しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0068

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPNM4041I: ユーザー [arg3] によって Syslog ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。
ユーザーが、Syslog 受信側のポート番号を変更しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0069

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPNM4042I**: ユーザー [arg3] によってリモート・プレゼンス・ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。

ユーザーが、リモート・プレゼンスのポート番号を変更しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0070

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPNM4043I**: ユーザー [arg1] によって SMTP サーバーが [arg2]:[arg3] に設定されました。

ユーザーが、SMTP サーバーを構成しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0086

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPNM4044I**: ユーザー [arg2] による Telnet [arg1] です。

ユーザーが Telnet サービスを有効または無効にしました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0087

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPNM4045I : ユーザー [arg1] によって DNS サーバーが設定されました。
UseAdditionalServers=[arg2]、PreferredDNStype=[arg3]、IPv4Server1=[arg4]、IPv4Server2=[arg5]、
IPv4Server3=[arg6]、IPv6Server1=[arg7]、IPv6Server2=[arg8]、IPv6Server3=[arg9] です。

ユーザーが DNS サーバーを構成します。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0088

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPNM4046I : ユーザー [arg2] による LAN over USB [arg1] です。

ユーザーが、USB-LAN を構成しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0089

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPNM4047I : ユーザー [arg1] によって LAN over USB ポート転送設定が設定されました。
ExternalPort=[arg2]、USB-LAN port=[arg3] です。

ユーザーが、USB-LAN ポート転送を構成しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0090

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPNM4048I : ユーザー [arg1] によって PXE ブートが要求されました。

PXE ブートが要求されました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:

CIM Prefix: IMM CIM ID: 0129

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPNM4049I: ユーザー [arg1] がサーバー [arg2] との接続性を確認するために TKLM サーバー接続テストを開始しました。

ユーザーが TKLM サーバー接続テストを開始しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0159

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPNM4050I: ユーザー [arg1] が SMTP サーバー接続テストを開始しました。

ユーザーが SMTP サーバー接続テストを開始しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0160

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPNM4051I: ユーザー [arg1] が SMTP サーバーのリバースパスを [arg2] に設定しました。

ユーザーが SMTP サーバーのリバースパス・アドレスを設定しました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0163

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPNM4052I: ユーザー [arg2] によって DHCP の指定ホスト名が [arg1] に設定されました。

DHCP の指定ホスト名がユーザーによってに設定されました

重大度: 通知

保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0216

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPNM4053I**: ユーザー [arg2] によって Lenovo XClarity Administrator の DNS 検出が [arg1] にされました。

Lenovo XClarity Administrator の DNS 検出

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0217

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPNM4054I**: ユーザー [arg2] によって DHCP のホスト名が [arg1] に設定されます。
このメッセージは、DHCP からホスト名を取得するために使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - IMM ネットワーク・イベント
SNMP Trap ID: 37
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0244

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPNM4055I**: DHCP からのホスト名が無効です。
このメッセージは、DHCP からのホスト名が無効であることを意味します。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - IMM ネットワーク・イベント
SNMP Trap ID: 37
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0245

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPNM4056I: NTP サーバー・アドレス [arg1] が無効です。

レポート NTP サーバーが無効です

重大度: 通知

保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリ: システム - IMM ネットワーク・イベント

SNMP Trap ID: 37

CIM Prefix: IMM CIM ID: 0249

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPNM4057I: セキュリティー: IP アドレス: [arg1] へのログインに [arg2] 回失敗しました。
[arg3] 分間はアクセスがブロックされます。

このメッセージは、IP アドレスがブロックされたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知

保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリ: システム - IMM ネットワーク・イベント

SNMP Trap ID: 37

CIM Prefix: IMM CIM ID: 0250

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPNM4058I: ユーザー [arg4] によってネットワーク・インターフェース [arg1] の IP アドレスが [arg2] から [arg3] に変更されました。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーの IP アドレスを変更するユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知

保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリ: システム - IMM ネットワーク・イベント

SNMP Trap ID: 37

CIM Prefix: IMM CIM ID: 0286

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPNM4059I: ユーザー [arg4] によってネットワーク・インターフェース [arg1] の IP サブネット・マスクが [arg2] から [arg3] に変更されました。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーの IP サブネット・マスクを変更するユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知

保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0287

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPNM4060I**: ユーザー [arg4] によってネットワーク・インターフェース [arg1] のデフォルト・ゲートウェイの IP アドレスが [arg2] から [arg3] に変更されました。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーのデフォルト・ゲートウェイ IP アドレスを変更するユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0288

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPOS4000I**: [arg2] によって OS ウォッチドッグ応答が [arg1] になりました。

このメッセージは、ユーザーによって OS ウォッチドッグが有効または無効にされた場合に使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0012

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPOS4001I**: ウォッチドック [arg1] のスクリーン・キャプチャーが発生しました。

このメッセージは、オペレーティング・システム・エラーが発生し、画面がキャプチャーされたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0028

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. オペレーティング・システム・エラーがない場合:

- ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成してください。
- BMC Ethernet over USB インターフェースが有効になっていることを確認します。
- オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。
- ウォッチドッグを無効にします。
- オペレーティング・システム・エラーがあった場合は、インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。

- **FQXSPOS4002I: ウォッチドッグ [arg1] が画面キャプチャーに失敗しました。**

このメッセージは、オペレーティング・システム・エラーが発生し、スクリーン・キャプチャーが失敗したユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0029

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

- ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成してください。
- BMC Ethernet over USB インターフェースが有効になっていることを確認します。
- オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。
- ウォッチドッグを無効にします。
- インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。
- 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
- Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSPOS4003I: [arg1] のプラットフォーム・ウォッチドッグ・タイマーの期限が切れました。**

実装環境で OS ローダー・ウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されました。

重大度: エラー
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - ローダー・タイムアウト
SNMP Trap ID: 26
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0060

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

- ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成してください。
- BMC Ethernet over USB インターフェースが有効になっていることを確認します。
- オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。

4. ウォッチドッグを無効にします。
5. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
6. Lenovo サポートに連絡してください。インストールされたオペレーティング・システムの整合性を確認します。

- **FQXSPOS4004I: オペレーティング・システムのステータスが [arg1] に変更されました。**

オペレーティング・システムのステータスが変更されました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0191

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPOS4005I: ホスト始動パスワードが、IP アドレス [arg3] の [arg2] からユーザー [arg1] により変更されました。**

このメッセージは、ホスト始動パスワードが変更されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0231

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPOS4006I: ホスト始動パスワードが、IP アドレス [arg3] の [arg2] からユーザー [arg1] によりクリアされました。**

このメッセージは、ホスト始動パスワードがクリアされたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0232

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPOS4007I: ホスト管理パスワードが、IP アドレス [arg3] の [arg2] からユーザー [arg1] により変更されました。**

このメッセージは、ホスト管理パスワードが変更されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0233

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPOS4008I: ホスト管理パスワードが、IP アドレス [arg3] の [arg2] からユーザー [arg1] によりクリアされました。**

このメッセージは、ホスト管理パスワードがクリアされたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0234

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPOS4009I: OS クラッシュ・ビデオがキャプチャーされました。**

このメッセージは、OS クラッシュ・ビデオがキャプチャーされたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0235

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPOS4010I: OS クラッシュ・ビデオのキャプチャーに失敗しました。**

このメッセージは、OS クラッシュ・ビデオのキャプチャーに失敗したユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0236

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. OS ウォッチドッグが有効になっているかどうかを確認します。
2. クラッシュ・ビデオ記録が有効になっているかどうかを確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
4. Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSPOS4011I: ハードウェア・エラーが発生した OS 障害のスクリーン・キャプチャーがユーザー [arg2] により IP アドレス [arg4] で [arg3] から [arg1] にされています。

ハードウェア・エラーの OS 障害スクリーン・キャプチャーが、ユーザーにより有効または無効になりました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0280

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPPP4000I: ユーザー [arg3] がサーバー [arg2] を [arg1] にしようとしています。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーを使用してシステム上の電源機能を実行しているユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0015

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPPP4001I: ユーザー [arg2] によってサーバーの電源オフ遅延が [arg1] に設定されました。

ユーザーが、サーバーの電源オフ遅延を構成しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0081

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPPP4002I : ユーザー [arg4] によってサーバーの [arg1] が [arg2] 日の [arg3] 時にスケジュールされました。

ユーザーが、特定の時刻のサーバー電源アクションを構成しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0082

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPPP4003I : ユーザー [arg4] によってサーバーの [arg1] が毎週 [arg2] の [arg3] 時にスケジュールされました。

ユーザーが、サーバー電源アクションの繰り返しを構成しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0083

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPPP4004I : ユーザー [arg3] によってサーバーの [arg1] [arg2] がクリアされました。

ユーザーが、Server Power Action をクリアしました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0084

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPPP4005I : ユーザー [arg3] によって電源キャップ値が [arg1] ワットから [arg2] ワットに変更されました。

電源キャップ値がユーザーによって変更されました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:

CIM Prefix: IMM CIM ID: 0113

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPP4006I**: 電源キャップの最小値が [arg1] ワットから [arg2] ワットに変更されました。
電源キャップの最小値が変更されました。

重大度: 通知

保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリ: なし

SNMP Trap ID:

CIM Prefix: IMM CIM ID: 0114

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPP4007I**: 電源キャップの最大値が [arg1] ワットから [arg2] ワットに変更されました。
電源キャップの最大値が変更されました。

重大度: 通知

保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリ: なし

SNMP Trap ID:

CIM Prefix: IMM CIM ID: 0115

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPP4008I**: 電源キャップ値のソフト最小値が [arg1] ワットから [arg2] ワットに変更されました。
ソフト最小電源キャップ値が変更されました。

重大度: 通知

保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリ: なし

SNMP Trap ID:

CIM Prefix: IMM CIM ID: 0116

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPP4009I**: 計測電力値が電源キャップ値を超えました。
電力上限値を超えました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - 電源
SNMP Trap ID: 164
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0117

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPPP4010I: 新規の電源キャップの最小値が電源キャップ値を超えました。
最小電源キャップが電源キャップを超えています。

重大度: 警告
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - 電源
SNMP Trap ID: 164
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0118

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPPP4011I: ユーザー [arg1] によって電源キャッピングがアクティブになりました。
電源キャッピングがユーザーによってアクティブになりました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0119

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPPP4012I: ユーザー [arg1] によって電源キャッピングが非アクティブになりました。
電源キャッピングがユーザーによって非アクティブになりました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0120

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPPP4013I: ユーザー [arg1] によって静的電力節減モードがオンにされました。
ユーザーによって、静的省電力モードがオンにされました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0121

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPP4014I**: ユーザー [arg1] によって静的電源節減モードがオフにされました。
ユーザーによって、静的省電力モードがオフにされました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0122

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPP4015I**: ユーザー [arg1] によって動的電源節減モードがオンにされました。
ユーザーによって、動的省電力モードがオンにされました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0123

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPP4016I**: ユーザー [arg1] によって動的電源節減モードがオフにされました。
ユーザーによって、動的省電力モードがオフにされました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0124

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPP4017I: 電源キャップ・スロットルと外部スロットルが発生しました。**
電源キャップ・スロットルおよび外部スロットルが生じました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0125

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPP4018I: 外部スロットルが発生しました。**
外部スロットルが生じました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0126

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPP4019I: 電源キャップ・スロットルが発生しました。**
電源キャップ・スロットルが生じました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0127

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPP4020I: 計測された電源値が電源キャップ値を下回りました。**
電力上限値を超えた状態から回復しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: 警告 - 電源
SNMP Trap ID: 164
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0130

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPP4021I: 新規最小電源キャップ値が電源キャップ値を下回りました。**
最小電力上限が、回復された電力上限を超えています。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: 警告 - 電源
SNMP Trap ID: 164
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0131

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPP4022I: サーバーが不明の理由で再起動されました。**
サーバーが不明の理由で再起動されました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0166

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPP4023I: サーバーがシャーシ制御コマンドによって再起動されました。**
サーバーがシャーシ制御コマンドによって再起動されました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0167

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPP4024I: プッシュボタンを介してサーバーがリセットされました。**
サーバーがプッシュボタンを介してリセットされました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0168

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPP4025I: 電源プッシュボタンを介してサーバーに電源が入りました。**

電源プッシュボタンを介してサーバーに電源が入りました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0169

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPP4026I: ウォッチドッグが満了したときにサーバーが再起動されました。**

ウォッチドッグが満了したときにサーバーが再起動されました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0170

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPP4027I: サーバーが OEM の理由で再起動されました。**

サーバーが OEM の理由で再起動されました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0171

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPP4028I: 電源復元ポリシーが常に復元するように設定されているため、サーバーが自動的に電源オンされました。**

電源復元ポリシーが常に復元するように設定されているため、サーバーが自動的に電源オンされました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0172

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPP4029I**: 電源復元ポリシーが以前の電源状態を復元するように設定されているため、サーバーが自動的に電源オンされました。

電源復元ポリシーが以前の電源状態を復元するように設定されているため、サーバーが自動的に電源オンされました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0173

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPP4030I**: サーバーがプラットフォーム・イベント・フィルターを介してリセットされました。
サーバーがプラットフォーム・イベント・フィルターを介してリセットされました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0174

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPP4031I**: プラットフォーム・イベント・フィルターを介してサーバーの電源サイクルが実行されました。

プラットフォーム・イベント・フィルターを介してサーバーの電源サイクルが実行されました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0175

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPP4032I**: サーバーがソフト・リセットされました。

サーバーがソフト・リセットされました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0176

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPP4033I**: リアルタイム・クロックを介してサーバーの電源が入りました (スケジュール電源投入)。

リアルタイム・クロックを介してサーバーの電源が入りました (スケジュール電源投入)

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0177

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPP4034I**: サーバーが不明の理由で電源オフされました。

サーバーが不明の理由で電源オフされました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0178

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPP4035I**: サーバーがシャシ制御コマンドによって電源オフされました。

サーバーがシャシ制御コマンドによって電源オフされました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0179

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPP4036I: サーバーの電源がプッシュボタンを介してオフになりました。**

サーバーの電源がプッシュボタンを介してオフになりました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0180

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPP4037I: ウォッチドッグが満了したときにサーバーが電源オフされました。**

ウォッチドッグが満了したときにサーバーが電源オフされました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0181

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPP4038I: 電源復元ポリシーが常に復元するように設定されているため、サーバーが電源オフのままでした。**

電源復元ポリシーが常に復元するように設定されているため、サーバーが電源オフのままでした。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0182

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPP4039I: 電源復元ポリシーが以前の電源状態を復元するように設定されているため、サーバーが電源オフのままでした。**

電源復元ポリシーが以前の電源状態を復元するように設定されているため、サーバーが電源オフのままでした。

重大度: 通知

保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0183

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPP4040I**: サーバーがプラットフォーム・イベント・フィルターを介して電源オフされました。
サーバーがプラットフォーム・イベント・フィルターを介して電源オフされました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0184

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPP4041I**: リアルタイム・クロックを介してサーバーが電源オフされました (スケジュールされた電源オフ)。
リアルタイム・クロックを介してサーバーが電源オフされました (スケジュールされた電源オフ)

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0185

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPP4042I**: 電源オン・リセットによって管理コントローラー [arg1] のリセットが開始されました。
電源オン・リセットによって管理コントローラーのリセットが開始されました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0186

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPP4043I**: PRESET によって管理コントローラー [arg1] のリセットが開始されました。
PRESET によって管理コントローラーのリセットが開始されました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0187

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPP4044I**: CMM によって管理コントローラー [arg1] のリセットが開始されました。
CMM によって管理コントローラーのリセットが開始されました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0188

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPP4045I**: XCC ファームウェアによって管理コントローラー [arg1] のリセットが開始されました。

XCC ファームウェアによって管理コントローラーのリセットが開始されました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0189

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPP4047I**: ユーザー [arg2] によって管理コントローラー [arg1] のリセットが開始されました。
このメッセージは、管理コントローラーのリセットがユーザーによって開始されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0021

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPP4048I: ユーザー [arg2] がサーバー [arg1] を AC 電源サイクルにしようとしています。**
サーバーの AC 電源サイクル

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0227

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPP4049I: 前面パネルによって管理コントローラー [arg1] のリセットが開始されました。**
前面パネルによって管理コントローラーのリセットが開始されました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0252

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPP4050I: PFR ファームウェアをアクティブにするために管理コントローラー [arg1] のリセットが開始されました。**
PFR ファームウェアをアクティブにするために管理コントローラーのリセットが開始されました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0253

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPU0001N: [ProcessorElementName] で温度過熱状態が検出されました。**
このメッセージは、プロセッサの温度過熱状態が検出されたことが実装環境で検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい

自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度
SNMP Trap ID: 0
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0036

ユーザー処置:

システムに防塵フィルターがある場合、防塵フィルターがきれいになっていることを確認します。

- **FQXSPPU0002G: プロセッサ [ProcessorElementName] は機能低下状態で稼働しています。**

このメッセージは、プロセッサが機能低下状態で稼働していることが実装環境で検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - CPU
SNMP Trap ID: 42
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0038

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. XCC イベント・ログで、ファン、冷却、あるいは電源に関連する問題がないかを確認します。
2. ファンおよびパワー・サプライ・ユニット/DC 電源が正しく取り付けられており、クリーニ
ングされていることを確認してください。
3. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないことを確認します
4. 室温がサーバーの稼働仕様の範囲内であることを確認します。
5. それでも問題が解決せず、パワー・サプライ・ユニット/DC 電源に関連する XCC イベントが発生
する場合、パワー・サプライ・ユニット/DC 電源の仕様と機能がサポートされているかどうかを確
認します。サポートされていない場合、パワー・サプライ・ユニット/DC 電源を仕様をサポート
されている新しいユニットに交換します。
6. 上記の操作を完了しても、問題を解決できない場合は、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSPPU0003N : [ProcessorElementName] で IERR 障害が発生しました。**

このメッセージは、「プロセッサ障害 - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出したユー
ス・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU
SNMP Trap ID: 40
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0042

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin または
UEFI ファームウェア更新がないかを確認します。
2. システムをリブートします。

3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
4. Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSPPU0004M** : [ProcessorElementName] で FRB1/BIST 状態の障害が発生しました。

このメッセージは、実装環境で「プロセッサ障害 - FRB1/BIST 状態」が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: はい
アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU
SNMP Trap ID: 40
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0044

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システム・ボードまたはファームウェアを更新したばかりの場合は、Lenovo サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
3. Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSPPU0009N** : [ProcessorElementName] で構成不一致が発生しました。

このメッセージは、実装環境でプロセッサ構成のミスマッチが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU
SNMP Trap ID: 40
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0062

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin またはこのプロセッサ・エラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
3. Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSPPU0011N** : [ProcessorElementName] の SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが検出されました。

このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明されたユース・ケースに使用されます

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU
SNMP Trap ID: 40

CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0816

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin または UEFI ファームウェア更新がないかを確認します。
2. システムをリブートします。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
4. Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSPPU0012M: [ProcessorElementName] にマシン・チェック・エラーが発生しました。**

このメッセージは、実装環境でプロセッサにマシン・チェック・エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU
SNMP Trap ID: 40
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0058

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システム・ボードまたはファームウェアを更新したばかりの場合は、Lenovo サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
3. Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSPPU2001I : [ProcessorElementName] で温度過熱状態が取り除かれました。**

このメッセージは、プロセッサの温度過熱状態が除去されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度
SNMP Trap ID: 0
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0037

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPU2002I : プロセッサ [ProcessorElementName] は機能低下状態での動作ではなくなりました。**

このメッセージは、プロセッサがもはや機能低下状態で稼働していないことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - CPU
SNMP Trap ID: 42
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0039

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPW0001I** : [PowerSupplyElementName] がコンテナ [PhysicalPackageElementName] に追加されました。

このメッセージは、パワー・サプライが追加されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0084

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPW0002L** : [PowerSupplyElementName] が失敗しました。

このメッセージは、パワー・サプライに障害が起きたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: はい
アラート・カテゴリ: クリティカル - 電源
SNMP Trap ID: 4
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0086

ユーザー処置:

xClarity Controller (XCC) Web GUIのイベント・ログを確認して、パワー・サプライ・ユニットの障害を識別してください。システム仕様を確認し、パワー・サプライ・ユニットを同じ仕様に交換します。

- **FQXSPPW0003G** : [PowerSupplyElementName] で障害が予知されました。

このメッセージは、パワー・サプライ障害が予知されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - 電源
SNMP Trap ID: 164
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0088

ユーザー処置:

xClarity Controller (XCC) Web GUIのイベント・ログを確認して、パワー・サプライ・ユニットの障害を識別してください

- **FQXSPPW0006I**: [PowerSupplyElementName] の入力が失われました。

このメッセージは、パワー・サプライの入力が失われたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - 電源
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0100

ユーザー処置:

電源ケーブルが正しく接続されていることを確認します。

- **FQXSPPW0007L**: [PowerSupplyElementName] で構成不一致が発生しました。

このメッセージは、構成エラーが発生したパワー・サプライが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - 電源
SNMP Trap ID: 4
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0104

ユーザー処置:

xClarity Controller (XCC) Web GUI で PSU の整合性を確認してください。

- **FQXSPPW0008I**: [SensorElementName] が電源オフになっています。

このメッセージは、実装環境で無効にされた電源装置が検出された場合に表示されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - 電源オフ
SNMP Trap ID: 23
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0106

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPW0009I**: [PowerSupplyElementName] の電源が入れ直されました。

このメッセージは、実装環境で電源の再投入が行われた電源装置が検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0108

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPW0031J: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルでない状態の下限を下回った状況が検出されました。**

このメッセージは、下限非クリティカル・センサーの下降が表明されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - 電圧
SNMP Trap ID: 13
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0476

ユーザー処置:

CMOS バッテリーを新しいものと交換することをお勧めします。問題が解決しない場合は、システム・ボードを交換してください。

- **FQXSPPW0035M: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。**

このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: はい
アラート・カテゴリ: クリティカル - 電圧
SNMP Trap ID: 1
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0480

ユーザー処置:

CMOS バッテリーを新しいものと交換することをお勧めします。問題が解決しない場合は、システム・ボードを交換してください。

- **FQXSPPW0057J: センサー [SensorElementName] が正常な状態からクリティカルでない状態に遷移しました。**

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - 電源

SNMP Trap ID: 164
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0520

ユーザー処置:

XClarity Controller Web インターフェイスでイベント・ログを確認してください。

- **FQXSPPW0061M**: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - 電源
SNMP Trap ID: 4
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0522

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. パワー・サプライ・ユニットがシステム仕様のワット数、変換効率レベルおよびサポート対象リストに一致していることを確認します。
2. xClarity Controller (XCC) Web GUI のイベント・ログで詳細情報を確認して、パワー・サプライ・ユニットの取り付け直し/再取り付け/アップグレードを行います。
3. 問題が解決しない場合は、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSPPW0063M**: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - 電圧
SNMP Trap ID: 1
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0522

ユーザー処置:

システム・ボードを交換します (トレーニングを受けた技術員のみ)。

1. 問題が解決しない場合は、ローカル・サービスにご連絡ください。

- **FQXSPPW0101J**: [RedundancySetElementName] の冗長性低下が検出されました。

このメッセージは、冗長性低下が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリ: 警告 - 冗長パワー・サプライ
SNMP Trap ID: 10
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0804

ユーザー処置:

PSU のワット数、PSU の変換効率レベルおよびパワー・サプライがシステムでサポートされていることを確認してください。

- **FQXSPW0104J** : [RedundancySetElementName] において「冗長性低下」または「完全冗長」から「冗長性なし: 十分なリソース」が検出されました。

このメッセージは、Redundancy Set が Redundancy Degraded または Fully Redundant から、Non-redundant:Sufficient に変化したユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - 冗長パワー・サプライ
SNMP Trap ID: 10
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0806

ユーザー処置:

PSU のワット数、PSU の変換効率レベルおよびパワー・サプライがシステムでサポートされていることを確認してください。

- **FQXSPW0110M** : [RedundancySetElementName] において「冗長性なし: リソース不足」が検出されました。

このメッセージは、Redundancy Set が「冗長性なし: リソース不足」状態に移行したユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - 冗長パワー・サプライ
SNMP Trap ID: 9
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0810

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. パワー・アダプターが欠落、故障、または正しく取り付けられていないかを確認します。該当する場合は、取り付け直すか交換します。
2. パワー・アダプターの最大定格および電源キャッピング・ポリシーを確認します。必要な電源リソースを満たしていない場合、パワー・アダプターを変更するか、電源キャッピング・メカニズムを変更します。

- **FQXSPW2001I** : [PowerSupplyElementName] がコンテナ [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。

このメッセージは、パワー・サプライが除去されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0085

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPW2002I**: [PowerSupplyElementName] が OK ステータスに戻りました。

このメッセージは、パワー・サプライが通常の作動状況に戻ったことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - 電源
SNMP Trap ID: 4
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0087

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPW2003I**: [PowerSupplyElementName] で予知される障害はなくなりました。

このメッセージは、実装環境でパワー・サプライ障害が現在は予知されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - 電源
SNMP Trap ID: 164
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0089

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPW2006I**: [PowerSupplyElementName] が正常入力状態に戻りました。

このメッセージは、パワー・サプライの入力が正常に戻ったことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0099

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPW2007I** : [PowerSupplyElementName] の構成は正常です。

このメッセージは、パワー・サプライ構成が OK であるユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - 電源
SNMP Trap ID: 4
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0105

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPW2008I** : [PowerSupplyElementName] が電源オンになっています。

このメッセージは、電源装置が有効にされたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - 電源オン
SNMP Trap ID: 24
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0107

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPW2031I** : 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルでない状態の下限を下回った状況の解消が検出されました。

このメッセージは、下限非クリティカル・センサーの下降が表明解除されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - 電圧
SNMP Trap ID: 13
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0477

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPW2035I** : 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回った状況の解消が検出されました。

このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知

保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - 電圧
SNMP Trap ID: 1
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0481

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPW2057I: センサー [SensorElementName] で正常な状態からクリティカルでない状態への遷移の解消が検出されました。**

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - 電源
SNMP Trap ID: 164
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0521

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPW2061I: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大でない状態に遷移しました。**

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - 電源
SNMP Trap ID: 4
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0523

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPW2063I: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大でない状態に遷移しました。**

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - 電圧
SNMP Trap ID: 1
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0523

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPW2101I**: [RedundancySetElementName] の冗長性低下の解消が検出されました。
このメッセージは、冗長性低下の解消が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - 冗長パワー・サプライ
SNMP Trap ID: 10
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0805

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPW2104I**: [RedundancySetElementName] において「冗長性低下」または「完全冗長」から「冗長性なし: 十分なリソース」の解消が検出されました。
このメッセージは、Redundancy Set が「冗長性なし: 十分なリソース」状態から変化したユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - 冗長パワー・サプライ
SNMP Trap ID: 10
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0807

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPW2110I**: [RedundancySetElementName] において「冗長性なし: リソース不足」の解消が検出されました。
このメッセージは、Redundancy Set が「冗長性なし: リソース不足」状態から変化したユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - 冗長パワー・サプライ
SNMP Trap ID: 9
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0811

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPPW4001I**: PCIe 電源ブレーキ [arg1] が [arg2] になりました。
このメッセージは、PCIe 電源ブレーキのユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0243

ユーザー処置:

システムにファン障害エラーや Raidlink CEM 障害の発生がないか、または周囲温度が 35°C を超えていないか確認し、システムを回復して周囲温度を 35°C 未満に下げするための「エラー」サービス操作を実行します。

- **FQXSPSD0000I: [StorageVolumeElementName] が追加されました。**

このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0162

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPSD0001I: エンクロージャー/シャーシ (MTM-SN: [arg2]) 内の [StorageVolumeElementName] ドライブ [arg1] が追加されました。**

このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0162

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPSD0001L: [StorageVolumeElementName] に障害があります。**

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって無効になったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: はい
アラート・カテゴリ: クリティカル - ハードディスク・ドライブ
SNMP Trap ID: 5
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0164

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. サポート・ポータル (<http://support.lenovo.com/>) で Service Bulletin および TECH のヒントを参照し、ドライブに関連するファームウェア更新がないかを確認します。
2. RAID 関連のエラーが他にないかを確認します。
3. ドライブを交換します。

- **FQXSPSD0002G**: [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: はい
アラート・カテゴリ: システム - 予知された障害
SNMP Trap ID: 27
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0168

ユーザー処置:

次の保守期間にハード・ディスク 0 を交換します。

- **FQXSPSD0002L**: エンクロージャー/シャーシ (MTM-SN: [arg2]) 内のドライブ [arg1] に障害があります。

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって無効になったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: はい
アラート・カテゴリ: クリティカル - ハードディスク・ドライブ
SNMP Trap ID: 5
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0164

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. サポート・ポータル (<http://support.lenovo.com/>) で Service Bulletin および TECH のヒントを参照し、ドライブに関連するファームウェア更新がないかを確認します。
2. RAID 関連のエラーが他にないかを確認します。
3. ドライブを交換します。

- **FQXSPSD0003G**: エンクロージャー/シャーシ (MTM-SN: [arg2]) 内のドライブ [arg1] の障害が予知されました。

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: はい

アラート・カテゴリ: システム - 予知された障害
SNMP Trap ID: 27
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0168

ユーザー処置:

次の保守期間にハード・ディスク 0 を交換します。

- **FQXSPSD0003I**: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが有効となったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0170

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPSD0005I**: エンクロージャー/シャーシ (MTM-SN: [arg2]) 内のドライブ [arg1] でホット・スペアが有効になっています。

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが有効となったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0170

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPSD0005L**: アレイ [ComputerSystemElementName] がクリティカルな状態です。

このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - ハードディスク・ドライブ
SNMP Trap ID: 5
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0174

ユーザー処置:

点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **FQXSPSD0006L**: アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。

このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: はい
アラート・カテゴリ: クリティカル-ハードディスク・ドライブ
SNMP Trap ID: 5
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0176

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. ステータス LED が点灯しているハード・ディスクをすべて交換します。
2. アレイを再作成します。
3. バックアップからデータをリストアします。

- **FQXSPSD0007I**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム-その他
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0178

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPSD0007L**: エンクロージャー/シャーシ (MTM-S/N: [arg2]) 内のドライブ [arg1] で、アレイのクリティカルな状態が検出されました。

このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル-ハードディスク・ドライブ
SNMP Trap ID: 5
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0174

ユーザー処置:

点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **FQXSPSD0008I**: エンクロージャー/シャーシ (MTM-S/N: [arg2]) 内のドライブ [arg1] で、アレイの再構築が進行中です。

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0178

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPSD0008L: エンクロージャー/シャーシ (MTM-S/N: [arg2]) 内のドライブ [arg1] で、アレイ障害が検出されました。**

このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: はい
アラート・カテゴリ: クリティカル - ハードディスク・ドライブ
SNMP Trap ID: 5
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0176

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. ステータス LED が点灯しているハード・ディスクをすべて交換します。
2. アレイを再作成します。
3. バックアップからデータをリストアします。

- **FQXSPSD2000I : [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。**

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0163

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. ドライブが意図的に取り外された場合は、ドライブ・ベイにフィラーが取り付けられていることを確認します。
2. ドライブが正しく装着されていることを確認します。
3. ドライブが正しく装着されている場合は、ドライブを交換します。

- **FQXSPSD2001I: [StorageVolumeElementName] が障害からリカバリーしました。**

このメッセージは、実装環境でドライブが有効になったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - ハードディスク・ドライブ
SNMP Trap ID: 5
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0167

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPSD2002I**: [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - 予知された障害
SNMP Trap ID: 27
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0169

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPSD2003I**: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。

このメッセージは、ホット・スペアが無効になったことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0171

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPSD2005I**: クリティカルな状態のアレイ [ComputerSystemElementName] の解消が検出されました。

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID: 5
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0175

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPSD2006I**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。
このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル-ハードディスク・ドライブ
SNMP Trap ID: 5
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0177

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPSD2007I**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。
このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム-その他
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0179

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPSD2008I**: エンクロージャー/シャーシ (MTM-SN: [arg2]) 内のドライブ [arg1] が障害からリカバリーしました。
このメッセージは、実装環境でドライブが有効になったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル-ハードディスク・ドライブ
SNMP Trap ID: 5
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0167

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPSD2010I: エンクロージャー/シャーシ (MTM-SN: [arg2]) 内のドライブ [arg1] が削除されました。**
このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0163

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. ドライブが意図的に取り外された場合は、ドライブ・ベイにフィルターが取り付けられていることを確認します。
2. ドライブが正しく装着されていることを確認します。
3. ドライブが正しく装着されている場合は、ドライブを交換します。

- **FQXSPSD2011I: エンクロージャー/シャーシ (MTM-S/N: [arg2]) 内のドライブ [arg1] で障害が予知されなくなりました。**

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - 予知された障害
SNMP Trap ID: 27
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0169

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPSD2012I: エンクロージャー/シャーシ (MTM-SN: [arg2]) 内のドライブ [arg1] でホット・スペアが無効になっています。**

このメッセージは、ホット・スペアが無効になったことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0171

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPSD2013I: エンクロージャー/シャーシ (MTM-S/N: [arg2]) 内のドライブ [arg1] で、アレイのクリティカルな状態が表明解除されました。**

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - ハードディスク・ドライブ
SNMP Trap ID: 5
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0175

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPSD2014I: エンクロージャー/シャーシ (MTM-S/N: [arg2]) 内のドライブ [arg1] で、アレイが復元されました。**

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - ハードディスク・ドライブ
SNMP Trap ID: 5
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0177

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPSD2015I: エンクロージャー/シャーシ (MTM-S/N: [arg2]) 内のドライブ [arg1] で、アレイの再構築が完了しました。**

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0179

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPSE0000F: シャーシ [PhysicalPackageName] が開かれました。**

このメッセージは、シャーシが開かれたユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: はい

自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - その他
SNMP Trap ID: 60
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0004

ユーザー処置:

シャーシが開いているか、正しく密封されていません。シャーシが適切に取り付けられていることを確認します。

1. ケンジントンまたはキー・ロックを使用して、システムをアクティブ化します。

- **FQXSPSE2000I**: シャーシ [PhysicalPackageName] が閉じられました。

このメッセージは、シャーシがクローズされたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - その他
SNMP Trap ID: 60
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0005

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPSE4000I**: 証明機関 [arg1] が [arg2] 証明書エラーを検出しました。

このメッセージは、SSL サーバー、SSL クライアント、または SSL トラストド CA 証明書のエラーがあるユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0002

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. インポートしている証明書が正しく、適切に生成されていることを確認します。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
3. Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSPSE4001I**: リモート・ログインに成功しました。IP アドレス [arg4] の [arg3] からの [arg2] を使用したログイン ID: [arg1] です。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーに正常にログインするユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン
SNMP Trap ID: 30
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0014

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPSE4002I: セキュリティー: Userid: [arg2] を使用する [arg1] は IP アドレス [arg4] の WEB クライアントから [arg3] 回ログインを失敗しました。**

このメッセージは、ユーザーが Web ブラウザーから管理コントローラーへのログインに失敗したユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン
SNMP Trap ID: 30
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0016

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。
2. システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

- **FQXSPSE4003I: セキュリティー: ログイン ID: [arg1] によって [arg3] の CLI から [arg2] 回のログイン障害が発生しました。**

このメッセージは、ユーザーがレガシー CLI から管理コントローラーへのログインに失敗したユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン
SNMP Trap ID: 30
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0017

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。
2. システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

- **FQXSPSE4004I: リモート・アクセスの試みが失敗しました。受信した userid またはパスワードが無効です。IP アドレス [arg2] の Web ブラウザーからの Userid は [arg1] です。**

このメッセージは、リモート・ユーザーが Web ブラウザー・セッションからリモート制御セッションを確立できなかったユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン
SNMP Trap ID: 30
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0018

ユーザー処置:

正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。

- **FQXSPSE4005I: リモート・アクセスの試みが失敗しました。受信した userid またはパスワードが無効です。IP アドレス [arg2] の TELNET クライアントからの Userid は [arg1] です。**

このメッセージは、ユーザーが Telnet セッションから管理コントローラーへのログインに失敗したユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン
SNMP Trap ID: 30
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0019

ユーザー処置:

正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。

- **FQXSPSE4006I: XCC が管理コントローラー [arg1] で無効な SSL 証明書を検出しました。**

このメッセージは、管理コントローラーが構成データに無効な SSL データを検出し、構成データ領域をクリアし、SSL を無効にしているユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0034

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. インポートしている証明書が正しく、適切に生成されていること、CSR 証明書が正しいことを確認します。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
3. Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSPSE4007I: セキュリティー: Userid: [arg2] を使用する [arg1] は IP アドレス [arg4] の SSH クライアントから [arg3] 回ログインを失敗しました。**

このメッセージは、ユーザーが SSH から管理コントローラーへのログインに失敗したユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン
SNMP Trap ID: 30
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0041

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。
2. システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

- FQXSPSE4008I : ユーザー [arg2] によって SNMPv1 [arg1] が設定されました。Name=[arg3]、AccessType=[arg4]、Address=[arg5] です。

ユーザーが、SNMP コミュニティー・ストリングを変更しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0075

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSE4009I : ユーザー [arg1] によって LDAP サーバー構成が設定されました。SelectionMethod=[arg2]、DomainName=[arg3]、Server1=[arg4]、Server2=[arg5]、Server3=[arg6]、Server4=[arg7] です。

ユーザーが、LDAP サーバー構成を変更しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0076

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSE4010I : ユーザー [arg1] によって LDAP が設定されました。RootDN=[arg2]、UIDSearchAttribute=[arg3]、BindingMethod=[arg4]、EnhancedRBS=[arg5]、TargetName=[arg6]、GroupFilter=[arg7]、GroupAttribute=[arg8]、LoginAttribute=[arg9] です。

ユーザーが、LDAP の各種設定を構成しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0077

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSE4011I: ユーザー [arg2] によってセキュア Web サービス (HTTPS) が [arg1] にされました。ユーザーが、セキュア Web サービスを有効または無効にしました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0091

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSE4012I: ユーザー [arg2] によってセキュア CIM/XML(HTTPS) が [arg1] にされました。ユーザーがセキュア CIM/XML サービスを有効または無効にしました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0092

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSE4013I: ユーザー [arg2] によってセキュア LDAP が [arg1] にされました。ユーザーが、セキュア LDAP サービスを有効または無効にしました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0093

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSE4014I: ユーザー [arg2] によって SSH が [arg1] にされました。ユーザーが SSH サービスを有効または無効にしました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし

SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0094

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSE4015I: ユーザー [arg1] によってグローバル・ログインの全般設定が設定されました。AuthenticationMethod=[arg2]、LockoutPeriod=[arg3]、SessionTimeout=[arg4] です。
ユーザーが、グローバル・ログインの共通設定を変更しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0098

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSE4016I: ユーザー [arg1] によってグローバル・ログインのアカウント・セキュリティが設定されました。PasswordRequired=[arg2]、PasswordExpirationPeriod=[arg3]、MinimumPasswordReuseCycle=[arg4]、MinimumPasswordLength=[arg5]、MinimumPasswordChangeInterval=[arg6]、MaxmumLoginFailures=[arg7]、LockoutAfterMaxFailures=[arg8] です。

ユーザーが、グローバル・ログインのアカウント・セキュリティ設定を「レガシー」に変更しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0099

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSE4017I: ユーザー [arg1] が作成されました。
ユーザー・アカウントが作成されました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0100

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSE4018I: ユーザー [arg1] が削除されました。

ユーザー・アカウントが削除されました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0101

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSE4019I: ユーザー [arg1] のパスワードが変更されました。

ユーザー・アカウントが変更されました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0102

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSE4020I: ユーザー [arg1] の役割が [arg2] に設定されました。

ユーザー・アカウントの役割が割り当てられました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0103

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSE4021I: ユーザー [arg1] のカスタム特権が設定されました。

[arg2][arg3][arg4][arg5][arg6][arg7][arg8][arg9] です。

ユーザー・アカウントの特権が割り当てられました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0104

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSE4022I: SNMPv3 セットにおけるユーザー [arg1]: AuthenticationProtocol=[arg2]、PrivacyProtocol=[arg3]、AccessType=[arg4]、HostforTraps=[arg5] (IP アドレス [arg8] の [arg7] からユーザー [arg6] により) です。

ユーザー・アカウントの SNMPv3 設定が変更されました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0105

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSE4023I: IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] によりユーザー [arg1] 用に SSH クライアント・キーが追加されました。

ユーザーが、SSH クライアント・キーをローカルで定義しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0106

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSE4024I: IP アドレス [arg5] の [arg4] からユーザー [arg3] により、ユーザー [arg1] 用に SSH クライアント・キーが [arg2] からインポートされました。

ユーザーが、SSH クライアント・キーをインポートしました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0107

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSE4025I: IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] によりユーザー [arg1] から SSH クライアント・キーが削除されました。

ユーザーが、SSH クライアント・キーを削除しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0108

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPSE4026I: セキュリティー: Userid: [arg1] によって IP アドレス [arg3] の CIM クライアントから [arg2] 回のログイン障害が発生しました。**

このメッセージは、ユーザーが CIM から管理コントローラーへのログインに失敗したユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン
SNMP Trap ID: 30
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0140

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPSE4027I: リモート・アクセスの試みが失敗しました。受信した userid またはパスワードが無効です。IP アドレス [arg2] の CIM クライアントの Userid は [arg1] です。**

このメッセージは、リモート・ユーザーが CIM からリモート制御セッションを確立できなかったユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン
SNMP Trap ID: 30
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0141

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPSE4028I: セキュリティー: Userid: [arg1] は IP アドレス [arg3] の IPMI クライアントから [arg2] 回ログインを失敗しました。**

このメッセージは、ユーザーが IPMI から管理コントローラーへのログインに失敗したユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン
SNMP Trap ID: 30
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0153

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPSE4029I: セキュリティー: Userid: [arg1] は IP アドレス [arg3] の SNMP クライアントから [arg2] 回ログインを失敗しました。**

このメッセージは、ユーザーが SNMP から管理コントローラーへのアクセスに失敗したユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン
SNMP Trap ID: 30
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0154

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPSE4030I: セキュリティー: Userid: [arg1] によって IPMI シリアル・クライアントから [arg2] 回のログイン障害が発生しました。**

このメッセージは、ユーザーが IPMI シリアル・クライアントから管理コントローラーへのログインに失敗したユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン
SNMP Trap ID: 30
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0155

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPSE4031I: リモート・ログインに成功しました。 [arg2] シリアル・インターフェースからのログイン ID: [arg1] です。**

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーに正常にログインするユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン
SNMP Trap ID: 30
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0156

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPSE4032I: IP アドレス [arg3] の [arg2] からのログイン ID [arg1] がログオフしました。**

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーからログオフしたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン
SNMP Trap ID: 30
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0157

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPSE4033I: IP アドレス [arg3] の [arg2] からのログイン ID [arg1] はログオフしています。**

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーからログオフ済みであるユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン
SNMP Trap ID: 30
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0158

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPSE4034I: ユーザー [arg1] が証明書を削除しました。**

ユーザーが証明書を削除しました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0164

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPSE4035I: 証明書が取り消されました。**

証明書が取り消されました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0165

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPSE4036I**: [arg1] 証明書は有効期限切れで削除されました。

有効期限が切れた証明書が削除されました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0190

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPSE4037I**: ユーザー [arg3] によって暗号モードが [arg1] から [arg2] に変更されました。

変更された暗号モード

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0218

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPSE4038I**: ユーザー [arg3] によって最小 TLS レベルが [arg1] から [arg2] に変更されました。

最小 TLS レベルが変更されました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0219

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPSE4039I**: 一時ユーザー・アカウント [arg1] がインバンド・ツールにより作成されました。

一時ユーザー・アカウントの作成

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0228

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSE4040I: 一時ユーザー・アカウント [arg1] の有効期限が切れました。

一時ユーザー・アカウントの有効期限が切れました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0229

ユーザー処置:

入力したユーザー・アカウントは有効期限が切れています。

- FQXSPSE4041I: セキュリティー: Userid: [arg1] は IP アドレス [arg3] の SFTP クライアントから [arg2] 回ログインを失敗しました。

このメッセージは、ユーザーが SFTP から管理コントローラーへのログインに失敗したユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン
SNMP Trap ID: 30
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0230

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSE4042I: IP アドレス [arg4] の [arg3] からのユーザー [arg2] によるサード・パーティー・パスワード関数 [arg1] です。

このメッセージは、ユーザーがサード・パーティーのパスワード機能に正常に切り替えるユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0238

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSE4043I: IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] によりサード・パーティー・パスワード [arg1] を取得しています。

このメッセージは、ユーザーがサード・パーティーのパスワードの取得を正常に切り替えるユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0239

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSE4044I: IP アドレス [arg5] の [arg4] からユーザー [arg3] によりユーザー [arg1] のサード・パーティー・ハッシュ・パスワードが [arg2] されました。

このメッセージは、ユーザーがサード・パーティーのハッシュド・パスワードを正常に管理するユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0240

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSE4045I: IP アドレス [arg5] の [arg4] からユーザー [arg3] によりユーザー [arg1] サード・パーティー・パスワードの Salt が [arg2] されました。

このメッセージは、ユーザーがサード・パーティーのパスワード salt を正常に管理するユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0241

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSE4046I: IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] によりユーザー [arg1] のサード・パーティー・パスワードが取得されました。

このメッセージは、ユーザーがサード・パーティーのパスワードを正常に取得するユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0242

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSE4047I: 役割 [arg1] は [arg2] であり、ユーザー [arg12] によりカスタム権限 [arg3][arg4][arg5][arg6][arg7][arg8][arg9][arg10][arg11] が割り当てられました。
役割の作成変更および割り当て

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0246

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSE4048I: 役割 [arg1] がユーザー [arg2] により削除されました。
役割が削除されました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0247

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSE4049I: 役割 [arg1] がユーザー [arg3] によりユーザー [arg2] に割り当てられました。
役割が割り当てられました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0248

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSE4050I: [arg1] が [arg2] から IPMI コマンドを送信しました。生データ: [arg3] [arg4] [arg5]。
このメッセージは、IPMI コマンドが送信されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0251

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSE4051I: IP アドレス [arg4] のユーザー [arg3] により管理コントローラー [arg1] がネイバー・グループ [arg2] に参加しました。

このメッセージは、MC がグループに参加するユース・ケースで使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0261

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSE4052I: IP アドレス [arg4] の [arg2] [arg3] によりネイバー・グループ [arg1] のパスワードが変更されました。

このメッセージは、グループ・ユーザー・パスワードが変更されるユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0262

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSE4053I: IP アドレス [arg4] のユーザー [arg3] により管理コントローラー [arg1] がネイバー・グループ [arg2] を離れました。

このメッセージは、MC がグループを離れるユース・ケースで使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0263

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSE4054I: IP アドレス [arg3] のユーザー [arg2] により IPMI SEL ラッピング・モードが [arg1] になっています。

IPMI SEL ラッピング・モードが変更されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0264

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSE4055I: IP アドレス [arg2] のユーザー [arg1] により SED 暗号化が有効になっています。
SED 暗号化が有効です。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0265

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSE4056I: IP アドレス [arg3] のユーザー [arg2] により SED AK が [arg1] になっています。
SED AK が再生成またはリカバリーされます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0266

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSE4057I: IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] によりユーザー [arg1] が作成されました。

ユーザーによりユーザー・アカウントが作成されました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし

SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0267

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSE4058I: IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] によりユーザー [arg1] が削除されました。

ユーザーによりユーザー・アカウントが削除されました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0268

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSE4059I: IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] によりユーザー [arg1] のパスワードが変更されました。

ユーザーによりユーザー・アカウントが変更されました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0269

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSE4060I: IP アドレス [arg5] の [arg4] からユーザー [arg3] によりユーザー [arg1] の役割が [arg2] に設定されました。

ユーザーにより割り当てられたユーザー・アカウントの役割

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0270

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSE4061I: ユーザー [arg1] のカスタム権限セット: IP アドレス [arg12] の [arg11] からのユーザー [arg10] による [arg2][arg3][arg4][arg5][arg6][arg7][arg8][arg9]
ユーザーにより割り当てられたユーザー・アカウント特権

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0271

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSE4062I: IP アドレス [arg3] の [arg2] からユーザー [arg1] によりシステム・ガードのスナップショットがキャプチャーされました。

システム・ガードのスナップショットはユーザーによりキャプチャーされます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0278

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSE4063I: システム・ガードの構成が IP アドレス [arg6] の [arg5] からユーザー [arg4] により更新されました。ステータス=[arg1]、ハードウェア・インベントリ=[arg2]、およびアクション=[arg3] です。

システム・ガードの構成はユーザーによりキャプチャーされます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0279

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSE4064I: SNMPv3 エンジン ID は IP アドレス [arg5] の [arg4] からユーザー [arg3] により [arg1] から [arg2] に変更されました。

SNMPv3 エンジン ID が変更されました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0282

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSE4065I: IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] による SFTP [arg1] ユーザーが SFTP サービスを有効および無効にしました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0283

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSE4066I: IP アドレス [arg5] の [arg4] からのユーザー [arg3] によって、暗号モードが [arg1] から [arg2] に変更されました。

暗号モードがユーザーによって変更されました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0284

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSE4067I: ユーザー [arg1] のアクセス可能インターフェースが IP アドレス [arg9] の [arg8] からのユーザー [arg7] によって [arg2][arg3][arg4][arg5][arg6] に設定されました。

ユーザー・アカウントのアクセス可能インターフェースがユーザーによって割り当てられました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0285

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSS4000I: [arg1] によって管理コントローラーのテスト・アラートが生成されました。

このメッセージは、ユーザーがテスト・アラートを生成したユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0040

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSS4001I: ユーザー [arg1] によってサーバー全般設定が設定されました。Name=[arg2]、Contact=[arg3]、Location=[arg4]、Room=[arg5]、RackID=[arg6]、Rack U-position=[arg7]、Address=[arg8] です。

ユーザーが、ロケーション設定を構成しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0080

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSS4002I: ユーザー [arg2] によって [arg1] のライセンス・キーが追加されました。

ユーザーがライセンス・キーをインストールします。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0096

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPSS4003I: ユーザー [arg2] によって [arg1] のライセンス・キーが削除されました。

ユーザーがライセンス・キーを削除します。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0097

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPSS4004I**: ユーザー [arg1] によって、テスト用のコール・ホームが生成されました。
ユーザーによって、テスト用のコール・ホームが生成されました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: はい
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0134

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPSS4005I**: ユーザー [arg1] による手動コール・ホーム: [arg2]。
ユーザーによる手動コール・ホーム

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: はい
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0135

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPSS4006I**: [arg1] へのコール・ホームを完了できませんでした。[arg2] です。
コール・ホームを完了できませんでした。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0195

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPSS4007I**: BMC 機能層は [arg1] から [arg2] に変更されました。
階層の変更

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0222

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPSS4008I: ユーザー [arg3] によって [arg1] 設定が [arg2] に変更されました。**
ユーザーによって設定が変更されました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0225

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPSS4009I: システムは LXPM 保守モードになります。**
システムは保守モードになります

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0226

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPSS4010I: ユーザー [arg1] によって、テスト用の監査ログが生成されました。**
このメッセージは、OS クラッシュ・ビデオのキャプチャーに失敗したユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: なし
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0237

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPSS4011I: ファン速度ブースト設定が [arg1] から [arg2] に変更されました。**
ファン速度ブーストの設定が変更されました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他

SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0254

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPTR4000I**: 管理コントローラー [arg1] の時計が NTP サーバー [arg2] から設定されています。このメッセージは、管理コントローラーのクロックが Network Time Protocol サーバーから設定されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0033

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. インポートしている証明書が正しいことを確認します。
2. 証明書のインポートを再試行します。

- **FQXSPTR4001I**: ユーザー [arg1] によって日付と時刻が設定されました。Date=[arg2]、Time=[arg3]、DST Auto-adjust=[arg4]、Timezone=[arg5] です。

ユーザーが日時設定を構成しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0079

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPTR4002I**: ユーザー [arg1] によって同期時刻が設定されました。Mode=NTP サーバーとの同期、NTPServerHost1=[arg2]:[arg3]、NTPServerHost2=[arg4]:[arg5]、NTPServerHost3=[arg6]:[arg7]、NTPServerHost4=[arg8]:[arg9]、NTPUpdateFrequency=[arg10] です。

ユーザーが、日時の同期設定を構成しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0085

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPTR4003I : ユーザー [arg1] による同期時刻設定: Mode=サーバー・クロックとの同期です。**
ユーザーが、日時の同期設定を構成しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0224

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPUN0009G : センサー [SensorElementName] が検出されました。**
このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0508

ユーザー処置:

システムをリブートします。問題が解決しない場合、F1 を押すか LXPM を使用して XCC FW の更新を行います。

- **FQXSPUN0017I : センサー [SensorElementName] が正常な状態に遷移しました。**
このメッセージは、センサーが通常の状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - その他
SNMP Trap ID: 60
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0518

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPUN0018J : センサー [SensorElementName] が正常な状態からクリティカルでない状態に遷移しました。**
このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: はい

自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - その他
SNMP Trap ID: 60
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0520

ユーザー処置:

XClarity Controller のイベント・ログを確認して識別されたデバイスが拡張されているかどうかを調べます。

- **FQXSPUN0019M: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - その他
SNMP Trap ID: 50
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0522

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. XCC Web GUI で識別されたエラーを確認してください。
2. システム・イベント・ログを確認してエラーを修正します。
3. 問題が解決しない場合は、お住まいの地域のサービスに連絡してください。

- **FQXSPUN0023N: センサー [SensorElementName] がリカバリー不能状態に遷移しました。**

このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - その他
SNMP Trap ID: 50
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0530

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. システムをリブートします。
3. エラーが続く場合は、システム・ボード・アセンブリーを交換します (ハードウェア・メンテナンス・マニュアルを参照)。

- **FQXSPUN0026I: デバイス [LogicalDeviceElementName] が追加されました。**

このメッセージは、デバイスが挿入されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0536

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPUN2009I: センサー [SensorElementName] の解消が検出されました。**

このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0509

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPUN2012I: センサー [SensorElementName] の解消が検出されました。**

このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0509

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPUN2018I: センサー [SensorElementName] で正常な状態からクリティカルでない状態への遷移の解消が検出されました。**

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - その他
SNMP Trap ID: 60
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0521

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPUN2019I: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大でない状態に遷移しました。**

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - その他
SNMP Trap ID: 50
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0523

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPUN2023I: センサー [SensorElementName] でリカバリー不能状態への遷移の解消が検出されました。**

このメッセージは、センサーがリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - その他
SNMP Trap ID: 50
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0531

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSPUN2050I: PCI スロット [arg1] の RAID コントローラーがクリティカルなステータスではなくなりました。**

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - その他
SNMP Trap ID: 50
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0523

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPUP0002I: システム [ComputerSystemElementName] でファームウェアまたはソフトウェアの変更が発生しました。

このメッセージは、実装環境でファームウェアまたはソフトウェアの変更が検出されたユース・ケースで使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0438

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPUP0007L: システム [ComputerSystemElementName] で無効またはサポートされていないファームウェアまたはソフトウェアが検出されました。

このメッセージは、無効/サポートされないファームウェア/ソフトウェア・バージョンが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - その他
SNMP Trap ID: 50
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0446

ユーザー処置:

XCC ファームウェアを再フラッシュするか、更新します

- FQXSPUP4000I: 管理コントローラー [arg1] が正しいファームウェアでフラッシュされていることを確認してください。管理コントローラーがファームウェアをサーバーと一致させることができません。

このメッセージは、管理コントローラーのファームウェア・バージョンがサーバーと一致しないユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0031

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. BMC ファームウェアを更新します。
2. 注: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。

4. Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSPUP4001I : ユーザー [arg3] が [arg2] からの [arg1] のフラッシュに成功しました。

このメッセージは、ユーザーがファームウェア・コンポーネント (MC メイン・アプリケーション、MC ブート ROM、BIOS、診断、システム電源バックプレーン、リモート拡張ユニットの電源バックプレーン、内蔵システム管理プロセッサ) を正常にフラッシュしたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: なし
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0035

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPUP4002I : ユーザー [arg3] が [arg2] からの [arg1] のフラッシュに失敗しました。

このメッセージは、ユーザーが障害のためにインターフェースと IP アドレスからファームウェア・コンポーネントをフラッシュしなかったユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0036

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPUP4003I : [arg1] ファームウェアがシステム [arg2] と内部で一致しません。[arg3] ファームウェアのフラッシュを試みてください。

このメッセージは、特定タイプのファームウェア・ミスマッチが検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: エラー
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0042

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. システムの AC サイクルを実行します。
2. XCC/BMC ファームウェアを再度フラッシュして、最新のバージョンにします。
3. 注: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアッ

アップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
5. Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSPUP4004I**: XCC ファームウェアがノード/サーバー [arg1] と [arg2] の間で不一致です。すべてのノード/サーバーの XCC ファームウェアを同一レベルにフラッシュしてください。

ノード/サーバー間で XCC ファームウェアのミスマッチが検出されました。

重大度: エラー
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0132

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. XCC/BMC ファームウェアを再度フラッシュして、すべてのサーバーで最新のバージョンにします。
2. 注: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
4. Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSPUP4005I**: FPGA ファームウェアがノード/サーバー [arg1] と [arg2] の間で不一致です。すべてのノード/サーバーの FPGA ファームウェアを同一レベルにフラッシュしてください。

ノード/サーバー間で FPGA ファームウェアのミスマッチが検出されました。

重大度: エラー
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0133

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. XCC/BMC ファームウェアを再度フラッシュして、すべてのサーバーで最新のバージョンにします。
2. 注: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
4. Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSPUP4006I: プライマリー XCC のバックアップへの自動プロモーションは IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] によって [arg1] になっています。
プライマリー XCC のバックアップへの自動プロモーションが有効または無効になっています。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0281

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPWD0000I: [WatchdogElementName] のウォッチドッグ・タイマーの期限が切れました。
このメッセージは、実装環境でウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0368

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPWD0001I: ウォッチドッグ [WatchdogElementName] によってシステム [ComputerSystemElementName] のリポートが開始されました。
このメッセージは、実装環境でウォッチドッグによるリポートの発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0370

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPWD0002I: ウォッチドッグ [WatchdogElementName] によってシステム [ComputerSystemElementName] の電源オフが開始されました。
このメッセージは、実装環境でウォッチドッグによる電源オフが発生したことが検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0372

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPWD0003I : ウォッチドッグ [WatchdogElementName] によってシステム [ComputerSystemElementName] の電源サイクルが開始されました。

このメッセージは、ウォッチドッグによる電源サイクルが行われたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0374

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSPWD0004I : [WatchdogElementName] でウォッチドッグ・タイマーの割り込みが発生しました。

このメッセージは、実装環境でウォッチドッグ・タイマー割り込みの発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID:
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0376

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

第3章 UEFI イベント

UEFI エラー・メッセージは、サーバーの起動時 (POST) またはサーバーの実行中に生成されることがあります。UEFI エラー・メッセージは、サーバー内の Lenovo XClarity Controller イベント・ログに記録されます。

それぞれのイベント・コードごとに、以下のフィールドが表示されます。

イベント ID

イベントを一意的に識別する ID。

イベント記述

イベントについて表示される、ログに記録されたメッセージの文字列です。

説明

追加情報でそのイベントが発生した理由を説明します。

重大度

状態の懸念度が示されます。イベント・ログでは、重大度が先頭文字に省略されています。以下の重大度が表示されます。

- 「**通知**」。イベントは監査目的で記録されたもので、通常はユーザー操作または正常に動作する状態の変更です。
- 「**警告**」。このイベントは、エラーほど重大ではありませんが、可能であれば、エラーになる前に状態を修正する必要があります。追加の監視や保守が必要な場合もあります。
- 「**エラー**」。このイベントは、サービスや正常な機能が損なわれる障害状態またはクリティカルな状態です。

ユーザー処置

イベントを解決するために実行すべき処置を示します。問題が解決するまで、このセクションの手順を順番に実行してください。すべての手順を実行しても問題を解決できない場合、Lenovo サポートにお問い合わせください。

重大度別に整理された UEFI イベント

以下の表はすべての UEFI イベントを重大度別 (情報、エラー、警告) に整理してリストしています。

表 3. 重大度別に整理されたイベント

| イベント ID | メッセージ・ストリング | 重大度 |
|--------------|--|-----|
| FQXSFDD0008I | 自己暗号化ドライブ (SED) のエラー: キーの取得の失敗からリカバリーしました。 | 通知 |
| FQXSFDD0009I | 自己暗号化ドライブ (SED) のエラー: ドライブ [arg1] へのアクセスの失敗からリカバリーしました。 | 通知 |
| FQXSFDD0010I | 自己暗号化ドライブ (SED) のエラー: ドライブ [arg1] のロック解除の失敗からリカバリーしました。 | 通知 |
| FQXSFDD0011I | 自己暗号化ドライブ (SED) のエラー: ドライブ [arg1] のパスワードの設定の失敗からリカバリーしました。 | 通知 |
| FQXSFDD0012I | SATA ハードディスク・ドライブ・エラー: [arg1] がリカバリーされました。 | 通知 |

表 3. 重大度別に整理されたイベント (続き)

| イベント ID | メッセージ・ストリング | 重大度 |
|--------------|--|-----|
| FQXSFIO0005I | UPI トポロジーがダウングレードされたため、プロセッサ [arg1] ポート [arg2] とプロセッサ [arg3] ポート [arg4] 間のリンクでボード内 UPI が無効になりました。 | 通知 |
| FQXSFIO0006I | UPI トポロジーがダウングレードされたため、プロセッサ [arg1] ポート [arg2] とプロセッサ [arg3] ポート [arg4] 間のリンクでボード間 UPI が無効になりました。 | 通知 |
| FQXSFIO0015I | IFM: アダプターをリセットするためにシステム・リセットが実行されました。 | 通知 |
| FQXSFIO0018I | IFM: 互換モードを使用するには構成が大きすぎます。 | 通知 |
| FQXSFIO0020J | PCIe スロット [arg1] で PCIe 分離が発生しました。アダプターが正常に動作していない場合があります。 | 通知 |
| FQXSFMA0001I | DIMM [arg1] 無効がリカバリーされました。 [arg2] | 通知 |
| FQXSFMA0002I | 訂正不能メモリー・エラー状態がクリアされました。 | 通知 |
| FQXSFMA0006I | [arg1] DIMM [arg2] が検出されました。DIMM シリアル番号は [arg3] です。 | 通知 |
| FQXSFMA0007I | [arg1] DIMM 番号 [arg2] が交換されました。 [arg3] | 通知 |
| FQXSFMA0008I | DIMM [arg1] POST メモリー・テスト障害が復旧しました。 [arg2] | 通知 |
| FQXSFMA0009I | ミラー・モードの無効なメモリー構成が復旧しました。 [arg1] | 通知 |
| FQXSFMA0010I | スペアリング・モードの無効なメモリー構成が復旧しました。 [arg1] | 通知 |
| FQXSFMA0011I | メモリー装着の変化が検出されました。 [arg1] | 通知 |
| FQXSFMA0012I | DIMM [arg1] の PFA が解除されました。 | 通知 |
| FQXSFMA0013I | ミラーのフェイルオーバーが完了しました。DIMM [arg1] は、ミラーリングされたコピーにフェイルオーバーしました。 [arg2] | 通知 |
| FQXSFMA0014I | メモリーのスペア・コピーが開始されました。 [arg1] | 通知 |
| FQXSFMA0015I | メモリーのスペア・コピーが正常に完了しました。 [arg1] | 通知 |
| FQXSFMA0026I | デバイス [arg6] のランク [arg2] サブランク [arg3] バンク [arg4] 行 [arg5] で、DIMM [arg1] の自己復旧、ポスト・パッケージ修復が試行され、成功しました。 [arg7] | 通知 |
| FQXSFMA0027I | 無効なメモリー構成 (サポートされない DIMM 装着) が回復しました。 | 通知 |
| FQXSFMA0029I | DIMM [arg1] の PFA は、この DIMM に PPR を適用した後、解除されました。 [arg2] | 通知 |
| FQXSFMA0046I | DIMM [arg1] は Intel Optane PMEM であり、この構成モードは現行プラットフォームでサポート対象外のため、揮発性または不揮発性の容量にアクセスできなくなります。 | 通知 |
| FQXSFMA0052I | DIMM [arg2] エラーにより DIMM [arg1] が無効になりました。 [arg3] | 通知 |
| FQXSFMA0053I | メモリー・モジュールの組み合わせの更新のため、DIMM [arg1] が再び有効になりました。 | 通知 |
| FQXSFMA0065I | POST パッケージの修復を実行した後、DIMM [arg1] の複数ビット CE の修正が検出されました。DIMM 識別子は [arg2] です。 | 通知 |

表 3. 重大度別に整理されたイベント (続き)

| イベント ID | メッセージ・ストリング | 重大度 |
|--------------|--|-----|
| FQXSFP0020I | UEFI ファームウェアのイメージ・カプセルの署名が無効です。 | 通知 |
| FQXSFP0021I | TPM 物理プレゼンス状態がクリアされました。 | 通知 |
| FQXSFP0023I | このラウンド・ブートで障害が発生しなかったため、セキュア・ブート・イメージ検証失敗がクリアされました。 | 通知 |
| FQXSFP0025I | デフォルトのシステム設定が復元されました。 | 通知 |
| FQXSFP04034I | TPM ファームウェアのリカバリーが終了しました。システムをリブートすると有効になります。 | 通知 |
| FQXSFP04038I | TPM ファームウェアのリカバリーに成功しました。 | 通知 |
| FQXSFP04041I | TPM ファームウェア更新が進行中です。システムを電源オフまたはリセットしないでください。 | 通知 |
| FQXSFP04042I | TPM ファームウェアの更新が終了しました。システムをリブートすると有効になります。 | 通知 |
| FQXSFP04044I | 現在の TPM ファームウェア・バージョンでは、TPM バージョンの切り替えがサポートされていません。 | 通知 |
| FQXSFP04046I | TPM ファームウェアが TPM1.2 から TPM2.0 に更新されます。 | 通知 |
| FQXSFP04047I | TPM ファームウェアが TPM2.0 から TPM1.2 に更新されます。 | 通知 |
| FQXSFP04049I | TPM ファームウェアの更新に成功しました。 | 通知 |
| FQXSFP04059I | ユーザーが、AHCI 接続 SATA ドライブのロックの凍結をスキップするように要求しました。システム UEFI は要求を受け入れ、OS 再起動前に実行します。 | 通知 |
| FQXSFP04060I | AHCI 接続 SATA ドライブのロックの凍結をスキップしました。 | 通知 |
| FQXSFP04061I | AHCI 接続 SATA ドライブのデフォルトのロック動作を復元しました。 | 通知 |
| FQXSFP04062I | DCI インターフェースに対する CPU デバッグが非アクティブ化されました。 | 通知 |
| FQXSFP04080I | ホスト始動パスワードが変更されました。 | 通知 |
| FQXSFP04081I | ホスト始動パスワードがクリアされました。 | 通知 |
| FQXSFP04082I | ホスト管理パスワードが変更されました。 | 通知 |
| FQXSFP04083I | ホスト管理パスワードがクリアされました。 | 通知 |
| FQXSFP04084I | ホスト・ブート順序が変更されました。 | 通知 |
| FQXSFP04085I | ホスト WOL ブート順序が変更されました。 | 通知 |
| FQXSFSM0007I | XCC システム・イベント・ログ (SEL) がフルです。 | 通知 |
| FQXSFSR0002I | [arg1] GPT の破損がリカバリーされました。DiskGUID: [arg2] | 通知 |
| FQXSFD0001G | ドライバー・ヘルス・プロトコル: 構成が欠落しています。F1 から設定を変更する必要があります。 | 警告 |
| FQXSFD0002M | ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「障害」状態のコントローラーが報告されました。 | 警告 |
| FQXSFD0003I | ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「リブート」が必要なコントローラーが報告されました。 | 警告 |

表 3. 重大度別に整理されたイベント (続き)

| イベント ID | メッセージ・ストリング | 重大度 |
|--------------|---|-----|
| FQXSFDD0005M | ドライバー・ヘルス・プロトコル: コントローラーの切断に失敗しました。「リブート」が必要です。 | 警告 |
| FQXSFDD0006M | ドライバー・ヘルス・プロトコル: 無効なヘルス・ステータスのドライバーが報告されました。 | 警告 |
| FQXSFDD0007G | Security Key Lifecycle Manager (SKLM) IPMI のエラーです。 | 警告 |
| FQXSFIO0008M | プロセッサ [arg1] ポート [arg2] とプロセッサ [arg3] ポート [arg4] 間のリンクでボード内 UPI の動的リンク幅の縮小が検出されました。 | 警告 |
| FQXSFIO0009M | プロセッサ [arg1] ポート [arg2] とプロセッサ [arg3] ポート [arg4] 間のリンクでボード間 UPI の動的リンク幅の縮小が検出されました。 | 警告 |
| FQXSFIO0013I | リソース制約のために、バス [arg1]、デバイス [arg2]、機能 [arg3] で検出されたデバイスを構成できませんでした。デバイスのベンダー ID は [arg4] で、デバイス ID は [arg5] です。物理スロット番号は [arg6] です。 | 警告 |
| FQXSFIO0016M | IFM: リセットのループが回避されました - 複数回のリセットは許可されていません。 | 警告 |
| FQXSFIO0021J | 物理 [arg1] 番号 [arg2] で PCIe エラー回復が発生しました。[arg3] が正常に動作していない場合があります。 | 警告 |
| FQXSFIO0022J | 物理 [arg3] 番号 [arg4] で PCIe リンク幅が [arg1] から [arg2] に低下しました。 | 警告 |
| FQXSFIO0023J | 物理 [arg3] 番号 [arg4] で PCIe リンク速度が [arg1] から [arg2] に低下しました。 | 警告 |
| FQXSFIO0024I | プロセッサ [arg1] で IEH によってエラーが検出されました。IEH のタイプは [arg2] です。IEH のインデックスは [arg3] です。IehErrorStatus レジスターの値は [arg4] です。追加のダウンストリーム・デバイスのエラー・データのエラー・ログをチェックしてください。 | 警告 |
| FQXSFIO0025I | プロセッサ [arg1] で IIO によってエラーが検出されました。IIO スタックのインデックスは [arg2] です。IIO 内部エラーのタイプは [arg3] です。追加のダウンストリーム・デバイスのエラー・データのエラー・ログをチェックしてください。 | 警告 |
| FQXSFIO0032M | バス [arg1] デバイス [arg2] 機能 [arg3] で PCIe 訂正可能エラー PFA しきい値の限界を超えています。デバイスのベンダー ID は [arg4] で、デバイス ID は [arg5] です。物理ベイ番号は [arg6] です。 | 警告 |
| FQXSFIO0033J | 物理ベイ番号 [arg3] で PCIe リンク幅が [arg1] から [arg2] に低下しました。 | 警告 |
| FQXSFIO0034J | 物理ベイ番号 [arg3] で PCIe リンク速度が [arg1] から [arg2] に低下しました。 | 警告 |
| FQXSFMA0012L | [arg1] PFA しきい値限界を、アドレス [arg3] の DIMM [arg2] で超えました。[arg4] | 警告 |
| FQXSFMA0016M | メモリー・スペア・コピーが失敗しました。[arg1] | 警告 |
| FQXSFMA0026G | DIMM [arg1] で複数ビット CE が発生しました。ポスト・パッケージの修復 (PPR) を試行するには、DIMM 自己修復のためにシステムを再起動する必要があります | 警告 |

表 3. 重大度別に整理されたイベント (続き)

| イベント ID | メッセージ・ストリング | 重大度 |
|--------------|--|-----|
| FQXSFMA0027M | デバイス [arg6] のランク [arg2] サブランク [arg3] バンク [arg4] 行 [arg5] で、DIMM [arg1] の自己復旧、ポスト・パッケージ修復が試行され、失敗しました。[arg7] | 警告 |
| FQXSFMA0028M | デバイス [arg7] のランク [arg3] サブランク [arg4] バンク [arg5] 行 [arg6] で、DIMM [arg1] の自己復旧、ポスト・パッケージ修復 (PPR) がレベルのしきい値 [arg2] を超えました。[arg8] | 警告 |
| FQXSFMA0030K | Intel Optane PMEM [arg1] の空き容量の割合が [arg2] % 未満ですが、まだ機能しています。 | 警告 |
| FQXSFMA0031K | Intel Optane PMEM [arg1] のスペア・ブロックが残り 1 % になりましたが、まだ機能しています。 | 警告 |
| FQXSFMA0033M | Intel Optane PMEM Persistent Memory のインターリーブ・セットには [arg1] PMEMs(DIMM [arg2]) があり、[arg3] DIMM の位置が正しくありません。 | 警告 |
| FQXSFMA0034M | Intel Optane PMEM Persistent Memory インターリーブ・セットの DIMM [arg1] (UID: [arg2]) は、順番に DIMM スロット [arg3] に移動する必要があります。 | 警告 |
| FQXSFMA0035M | Intel Optane PMEM インターリーブ・セットには [arg1] PMEM があるはずですが、[arg2] PMEM が欠落しています。 | 警告 |
| FQXSFMA0036M | Intel Optane PMEM Persistent Memory インターリーブ・セットの DIMM [arg1] (UID: [arg2]) が欠落しています。 | 警告 |
| FQXSFMA0037G | Intel Optane PMEM インターリーブ・セット (DIMM [arg1]) が別のシステム (Platform ID: [arg2]) から移行されています。これらの移行された PMEM は、このシステムではサポートも保証もされていません。 | 警告 |
| FQXSFMA0038K | すべての Intel Optane PMEM にパスフレーズがないため、ロックを解除自動できませんでした。 | 警告 |
| FQXSFMA0039K | パスフレーズが無効なため、1 つ以上の Intel Optane PMEM のロックを解除自動できませんでした。 | 警告 |
| FQXSFMA0040K | 無効な Intel Optane PMEM 構成が検出されました。PMEM 構成が有効であることを確認してください。 | 警告 |
| FQXSFMA0041K | Intel Optane PMEM 構成のニアメモリー/ファームメモリーの比率 (1:[arg1].[arg2]) が推奨範囲 (1:[arg3] - 1:[arg4]) にありません。 | 警告 |
| FQXSFMA0047M | DIMM [arg1] で SPD CRC の検査が失敗しました。[arg2] | 警告 |
| FQXSFMA0053M | DIMM [arg1] に障害はありませんが、CPU [arg2] におけるメモリー・モジュールの組み合わせがサポートされていないため無効になりました。 | 警告 |
| FQXSFPU0022G | TPM 構成がロックされていません。 | 警告 |
| FQXSFPU0023G | セキュア・ブートのイメージ検証失敗の警告。 | 警告 |
| FQXSFPU0033G | プロセッサが無効にされました。 | 警告 |
| FQXSFPU0062F | MC ステータス [arg4]、MC アドレス [arg5]、MC Misc [arg6] のプロセッサ [arg1] コア [arg2] MC バンク [arg3] で、未解決のリカバリー可能システム・エラーが発生しました。 | 警告 |
| FQXSFPU4033F | TPM ファームウェアのリカバリーが進行中です。システムを電源オフまたはリセットしないでください。 | 警告 |

表 3. 重大度別に整理されたイベント (続き)

| イベント ID | メッセージ・ストリング | 重大度 |
|---------------|---|-----|
| FQXSFPU4035M | TPM ファームウェアのリカバリーに失敗しました。TPM チップが破損している可能性があります。 | 警告 |
| FQXSFPU4040M | TPM セルフテストが失敗しました。 | 警告 |
| FQXSFPU4043G | TPM ファームウェアの更新が中止されました。システムをリブートしています… | 警告 |
| FQXSFPU4050G | TPM ファームウェアの更新に失敗しました。 | 警告 |
| FQXSFPU4051G | 未定義の TPM_POLICY が見つかりました | 警告 |
| FQXSFPU4052G | TPM_POLICY がロックされていません。 | 警告 |
| FQXSFPU4053G | システム TPM_POLICY がブレーナーと一致しません。 | 警告 |
| FQXSFPU4054G | TPM カードの論理バインドに失敗しました。 | 警告 |
| FQXSFPU4062M | DCI インターフェースに対する CPU デバッグがアクティブ化されました。 | 警告 |
| FQXSFPW0001L | CMOS がクリアされました。 | 警告 |
| FQXSFSM0002N | 管理モジュールによってブート許可が拒否されました: システム停止。 | 警告 |
| FQXSFSM0003N | 管理モジュールからのブート許可の待機がタイムアウトになりました: システム停止。 | 警告 |
| FQXSFSM0004M | XCC 通信障害が発生しました。 | 警告 |
| FQXSFSR0001M | [arg1] GPT の破損が検出されました。DiskGUID: [arg2] | 警告 |
| FQXSFSR0003G | ブート試行回数を超過しました。起動可能デバイスが見つかりません。 | 警告 |
| FQXSFTTR0001L | 無効な日時が検出されました。 | 警告 |
| FQXSFDD0004M | ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「システム・シャットダウン」が必要なコントローラーが報告されました。 | エラー |
| FQXSFDD0008K | 自己暗号化ドライブ (SED) のエラー: キーの取得に失敗しました。 | エラー |
| FQXSFDD0009K | 自己暗号化ドライブ (SED) のエラー: ドライブ [arg1] へのアクセスに失敗しました。 | エラー |
| FQXSFDD0010K | 自己暗号化ドライブ (SED) のエラー: ドライブ [arg1] のロック解除に失敗しました。 | エラー |
| FQXSFDD0011K | 自己暗号化ドライブ (SED) のエラー: ドライブ [arg1] のパスワードの設定に失敗しました。 | エラー |
| FQXSFDD0012K | SATA ハードディスク・ドライブ・エラー: [arg1]。 | エラー |
| FQXSFIO0005M | プロセッサ [arg1] ポート [arg2] とプロセッサ [arg3] ポート [arg4] 間のリンクでボード内 UPI 障害が検出されました。 | エラー |
| FQXSFIO0006M | プロセッサ [arg1] ポート [arg2] とプロセッサ [arg3] ポート [arg4] 間のリンクでボード間 UPI 障害が検出されました。 | エラー |

表 3. 重大度別に整理されたイベント (続き)

| イベント ID | メッセージ・ストリング | 重大度 |
|--------------|--|-----|
| FQXSFIO0007M | バス [arg1] で組み込み I/O によってエラーが検出されました。グローバルな致命的エラー・ステータス・レジスターの値は [arg2] です。グローバルな非致命的エラー・ステータス・レジスターの値は [arg3] です。追加のダウンストリーム・デバイスのエラー・データのエラー・ログをチェックしてください。 | エラー |
| FQXSFIO0010M | 訂正不能 PCIe エラーがバス [arg1] デバイス [arg2] 機能 [arg3] で発生しました。デバイスのベンダー ID は [arg4] で、デバイス ID は [arg5] です。物理 [arg6] 番号は [arg7] です。 | エラー |
| FQXSFIO0011M | PCIe パリティ・エラーがバス [arg1] デバイス [arg2] 機能 [arg3] で発生しました。デバイスのベンダー ID は [arg4] で、デバイス ID は [arg5] です。物理スロット番号は [arg6] です。 | エラー |
| FQXSFIO0012M | PCIe システム・エラーがバス [arg1] デバイス [arg2] 機能 [arg3] で発生しました。デバイスのベンダー ID は [arg4] で、デバイス ID は [arg5] です。物理スロット番号は [arg6] です。 | エラー |
| FQXSFIO0014J | バス [arg1]、デバイス [arg2]、機能 [arg3] でデバイスの不正な option ROM チェックサムが検出されました。デバイスのベンダー ID は [arg4] で、デバイス ID は [arg5] です。物理スロット番号は [arg6] です。 | エラー |
| FQXSFIO0017M | IFM: XCC との通信でエラーが発生しました - IFM が正常にデプロイされない可能性があります。 | エラー |
| FQXSFIO0019J | PCIe リソースの競合 [arg1] です。 | エラー |
| FQXSFIO0024M | プロセッサ [arg1] で IEH によってエラーが検出されました。IEH のタイプは [arg2] です。IEH のインデックスは [arg3] です。IehErrorStatus レジスターの値は [arg4] です。追加のダウンストリーム・デバイスのエラー・データのエラー・ログをチェックしてください。 | エラー |
| FQXSFIO0025M | プロセッサ [arg1] で IIO によってエラーが検出されました。IIO スタックのインデックスは [arg2] です。IIO 内部エラーのタイプは [arg3] です。追加のダウンストリーム・デバイスのエラー・データのエラー・ログをチェックしてください。 | エラー |
| FQXSFIO0031M | 訂正不能 PCIe エラーがバス [arg1] デバイス [arg2] 機能 [arg3] で発生しました。デバイスのベンダー ID は [arg4] で、デバイス ID は [arg5] です。物理ベイ番号は [arg6] です。 | エラー |
| FQXSFMA0001M | POST 時にエラーが検出されたため、DIMM [arg1] が無効になりました。[arg2] | エラー |
| FQXSFMA0002M | DIMM [arg1] アドレス [arg2] で訂正不能メモリー・エラーが検出されました。[arg3] | エラー |
| FQXSFMA0003K | メモリーの不一致が検出されました。メモリー構成が有効であることを確認してください。[arg1] | エラー |
| FQXSFMA0004N | システム・メモリーが検出されませんでした。[arg1] | エラー |
| FQXSFMA0005N | システム内にメモリーが存在しますが、構成できませんでした。メモリー構成が有効であることを確認してください。[arg1] | エラー |
| FQXSFMA0008M | DIMM [arg1] が POST メモリー・テストに失敗しました。[arg2] | エラー |
| FQXSFMA0009K | ミラー・モードに無効なメモリー構成。メモリー構成を修正してください。[arg1] | エラー |

表 3. 重大度別に整理されたイベント (続き)

| イベント ID | メッセージ・ストリング | 重大度 |
|--------------|--|-----|
| FQXSFMA0010K | スペアリング・モードに無効なメモリー構成。メモリー構成を修正してください。[arg1] | エラー |
| FQXSFMA0023M | NVDIMM フラッシュでエラーが発生しました。NVDIMM のバックアップ/復元が正常に動作していない場合があります。[arg1] | エラー |
| FQXSFMA0024M | NVDIMM スーパーキャップでエラーが発生しました。NVDIMM のバックアップ/復元が正常に動作していない場合があります。[arg1] | エラー |
| FQXSFMA0025M | NVDIMM スーパーキャップが切断されました。接続されるまで、NVDIMM のバックアップ能力が失われます。[arg1] | エラー |
| FQXSFMA0027K | 無効なメモリー構成(サポートされない DIMM 装着)が検出されました。メモリー構成が有効であることを確認してください。 | エラー |
| FQXSFMA0028K | メモリー容量が CPU の限度を超えました。[arg1] | エラー |
| FQXSFMA0032M | Intel Optane PMEM [arg1] には、スペア・ブロックが残っていません。 | エラー |
| FQXSFMA0042K | Intel Optane PMEM はこのシステムのプロセッサでサポートされていません。 | エラー |
| FQXSFMA0046M | DIMM [arg1] は、現在のプラットフォームでサポートされていない Intel Optane PMEM であるため、無効になっています | エラー |
| FQXSFPU0001N | サポートされていないプロセッサが検出されました。 | エラー |
| FQXSFPU0002N | 無効なプロセッサ・タイプが検出されました。 | エラー |
| FQXSFPU0003K | システム内の 1 つ以上のプロセッサ間でプロセッサの不一致が検出されました。 | エラー |
| FQXSFPU0004K | システム内の 1 つ以上のプロセッサによって報告されたコアの数の不一致が検出されました。 | エラー |
| FQXSFPU0005K | 1 つ以上のプロセッサで許容される最大 UPI リンク速度の不一致が検出されました。 | エラー |
| FQXSFPU0006K | 1 つ以上のプロセッサで電源セグメントの不一致が検出されました。 | エラー |
| FQXSFPU0007K | プロセッサの内部 DDR 周波数が一致していません。 | エラー |
| FQXSFPU0008K | 1 つ以上のプロセッサでコア速度の不一致が検出されました。 | エラー |
| FQXSFPU0009K | 1 つ以上のプロセッサで外部クロック周波数の不一致が検出されました。 | エラー |
| FQXSFPU0010K | 1 つ以上のプロセッサでキャッシュ・サイズの不一致が検出されました。 | エラー |
| FQXSFPU0011K | 1 つ以上のプロセッサでキャッシュ・タイプの不一致が検出されました。 | エラー |
| FQXSFPU0012K | 1 つ以上のプロセッサでキャッシュの結合順序の不一致が検出されました。 | エラー |
| FQXSFPU0013K | 1 つ以上のプロセッサでプロセッサの型式の不一致が検出されました。 | エラー |
| FQXSFPU0014N | 1 つ以上のプロセッサでプロセッサのファミリーの不一致が検出されました。 | エラー |

表 3. 重大度別に整理されたイベント (続き)

| イベント ID | メッセージ・ストリング | 重大度 |
|--------------|--|-----|
| FQXSFP0015K | 1つ以上のプロセッサでプロセッサのステップングの不一致が検出されました。 | エラー |
| FQXSFP0016N | システム内のプロセッサが BIST に失敗しました。 | エラー |
| FQXSFP0017G | プロセッサ・マイクロコードの更新に失敗しました。 | エラー |
| FQXSFP0018N | CATERR(IERR) がプロセッサ [arg1] で検出されました。 | エラー |
| FQXSFP0019N | プロセッサ [arg1] で訂正不能エラーが検出されました。 | エラー |
| FQXSFP0027N | MC ステータス [arg4]、MC アドレス [arg5]、MC Misc [arg6] のプロセッサ [arg1] コア [arg2] MC バンク [arg3] で、訂正不能エラーが発生しました。 | エラー |
| FQXSFP0030N | UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。 | エラー |
| FQXSFP0031N | POST の試行回数が F1 セットアップで構成された値に達しました。システムはデフォルトの UEFI 設定でブートします。ユーザー指定の設定は保持され、再起動前に変更しない限り、次回以降のブートで使用されます。 | エラー |
| FQXSFP0034L | TPM を正しく初期化できませんでした。 | エラー |
| FQXSFP0035N | プロセッサ [arg1] でスリープ・タイムアウトが発生しました。 | エラー |
| FQXSFP04056M | TPM カードが変更されました。システム出荷時に同梱されていた元の TPM カードに取り付け直してください。 | エラー |
| FQXSFSM0008M | ブート許可のタイムアウトが検出されました。 | エラー |

UEFI イベントのリスト

このセクションでは、UEFI から送信されるすべてのメッセージをリストしています。

- FQXSFD0001G: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 構成が欠落しています。F1 から設定を変更する必要があります。

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 「[F1 Setup] に進む」> 「システム設定」> 「設定」> 「ドライバー・ヘルス・ステータス・リスト」に進み、構成が必要な状況を報告しているドライバー/コントローラーを見つけます。
2. 「システム設定」からドライバー・メニューを検索し、設定を適切に変更します。
3. 設定を保存して、システムを再起動します。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFD0002M: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「障害」ステータスのコントローラーが報告されました。

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムをリブートします。
2. アダプター・ファームウェアを再フラッシュします。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFDD0003I: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「リブート」が必要なコントローラーが報告されました。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 操作は不要です - POST の最後にシステムがリブートします。
2. アダプター・ファームウェアを再フラッシュします。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFDD0004M: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「システム・シャットダウン」が必要なコントローラーが報告されました。**

重大度: 致命的

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムをリブートします。
2. アダプター・ファームウェアを再フラッシュします。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFDD0005M: ドライバー・ヘルス・プロトコル: コントローラーの切断が失敗しました。「リブート」が必要です。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムをリブートし、コントローラーを再接続します。
2. アダプター・ファームウェアを再フラッシュします。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFDD0006M: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 無効なヘルス・ステータスのドライバーが報告されました。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムをリブートします。
2. アダプター・ファームウェアを再フラッシュします。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFDD0007G: Security Key Lifecycle Manager (SKLM) IPMI のエラーです。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポート・サイトを参照し、このエラーに該当する Service Bulletin または UEFI ファームウェア更新がないか確認します。
2. システムの AC サイクルを実行します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFDD0008I: 自己暗号化ドライブ (SED) のエラー: キーの取得の失敗からリカバリーしました。**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSFDD0008K: 自己暗号化ドライブ (SED) のエラー: キーの取得に失敗しました。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. SKLM サーバー、KMIP サーバー、またはローカルのセキュリティー・チップのキーを確認します。
2. SKLM サーバーまたは KMIP サーバーを使用している場合は、以下の操作を実行します。
 - a. SKLM/KMIP とシステムの間のネットワーク接続を確認します。
 - b. SKLM/KMIP サーバーの構成を確認します。
 - c. XCC Web サイトで構成を確認します。
 - d. システムの DC サイクルを実行します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFDD0009I: 自己暗号化ドライブ (SED) のエラー: ドライブ [arg1] へのアクセスの失敗からリカバリーしました。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSFDD0009K: 自己暗号化ドライブ (SED) のエラー: ドライブ [arg1] へのアクセスに失敗しました。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. SED ドライブとケーブルが接続されていることを確認します。
2. システムの DC サイクルを実行します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFDD0010I: 自己暗号化ドライブ (SED) のエラー: ドライブ [arg1] のロック解除の失敗からリカバリーしました。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSFDD0010K: 自己暗号化ドライブ (SED) のエラー: ドライブ [arg1] のロック解除に失敗しました。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. XCC Web サイトのリカバリー・メニューを使用して、システムに正しい暗号鍵を入力します。
2. システムの DC サイクルを実行します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFDD0011I: 自己暗号化ドライブ (SED) のエラー: ドライブ [arg1] のパスワードの設定の失敗からリカバリーしました。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSFDD0011K: 自己暗号化ドライブ (SED) のエラー: ドライブ [arg1] のパスワードの設定に失敗しました。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムの DC サイクルを実行します。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFDD0012I: SATA ハードディスク・ドライブ・エラー: [arg1] がリカバリーされました。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSFDD0012K: SATA ハードディスク・ドライブ・エラー: [arg1]。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. サーバーの電源をオフにします。
2. SATA ドライブを再度挿入し、バックプレーンに完全に接続されていることを確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFIO0005I: UPI トポロジーがダウングレードされたため、プロセッサ [arg1] ポート [arg2] とプロセッサ [arg3] ポート [arg4] 間のリンクでボード内 UPI が無効になりました。

重大度: 通知

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. このイベントの後に、UPI トポロジーのダウングレードの原因となる UPI リンクの障害を示す最新の FQXSFIO0005M / FQXSFIO0006M イベントが続く必要があります。
2. 先にイベント FQXSFIO0005M / FQXSFIO0006M を解決すると、このイベントは自動で解決されます。
3. 最近のイベント、または FQXSFIO0005M / FQXSFIO0006M 修正後のイベントがない場合でも、このイベントが引き続き発生する場合は、サービス・データ・ログを収集して、Lenovo サポートに連絡します。

- FQXSFIO0005M: プロセッサ [arg1] ポート [arg2] とプロセッサ [arg3] ポート [arg4] 間のリンクでボード内 UPI 障害が検出されました。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポート・サイトを参照し、このエラーに該当する Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFIO0006I: UPI トポロジーがダウングレードされたため、プロセッサ [arg1] ポート [arg2] とプロセッサ [arg3] ポート [arg4] 間のリンクでボード間 UPI が無効になりました。**

重大度: 通知

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. このイベントの後に、UPI トポロジーのダウングレードの原因となる UPI リンクの障害を示す最新の FQXSFIO0005M / FQXSFIO0006M イベントが続く必要があります。
2. 先にイベント FQXSFIO0005M / FQXSFIO0006M を解決すると、このイベントは自動で解決されます。
3. 最近のイベント、または FQXSFIO0005M / FQXSFIO0006M 修正後のイベントがない場合でも、このイベントが引き続き発生する場合は、サービス・データ・ログを収集して、Lenovo サポートに連絡します。

- **FQXSFIO0006M: プロセッサ [arg1] ポート [arg2] とプロセッサ [arg3] ポート [arg4] 間のリンクでボード間 UPI 障害が検出されました。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポート・サイトを参照し、このエラーに該当する Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFIO0007M: バス [arg1] で IIO によってエラーが検出されました。グローバルな致命的エラー・ステータス・レジスタの値は [arg2] です。グローバルな非致命的エラー・ステータス・レジスタの値は [arg3] です。追加のダウンストリーム・デバイスのエラー・データのエラー・ログをチェックしてください。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できるシステムまたはアダプターに関する Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFIO0008M: プロセッサー [arg1] ポート [arg2] とプロセッサー [arg3] ポート [arg4] 間のリンクでボード内 UPI の動的リンク幅の縮小が検出されました。

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFIO0009M: プロセッサー [arg1] ポート [arg2] とプロセッサー [arg3] ポート [arg4] 間のリンクでボード間 UPI の動的リンク幅の縮小が検出されました。

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFIO0010M: 訂正不能 PCIe エラーがバス [arg1] デバイス [arg2] 機能 [arg3] で発生しました。デバイスのベンダー ID は [arg4] で、デバイス ID は [arg5] です。物理 [arg6] 番号は [arg7] です。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポート・サイトで、このエラーに該当するデバイス・ドライバー、ファームウェア更新、サービス情報の改訂、あるいはその他の情報がないか確認します。新規のデバイス・ドライバー、および必要なすべてのファームウェア更新をロードします。
2. このデバイスや、接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合。
 - a. アダプターまたはディスクと接続ケーブルを取り付け直します。
 - b. デバイス・ドライバーを再ロードします。
 - c. デバイスが認識されない場合は、スロットを低速に再構成する必要がある場合があります。Gen1/Gen2/Gen3 の設定は、F1 セットアップ -> 「システム設定」 -> 「デバイスおよび I/O ポート」 -> 「PCIe Gen1/Gen2/Gen3/Gen4 速度選択」 または OneCLI ユーティリティを使用して構成できます。
 - d. 同一ノード内の 2 番目のスロットでも PCIe エラーが報告されている場合は、そのアダプターまたはディスクでも上記の手順 a、b、c を実行してから次に進んでください。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFIO0011M: PCIe パリティー・エラーがバス [arg1] デバイス [arg2] 機能 [arg3] で発生しました。デバイスのベンダー ID は [arg4] で、デバイス ID は [arg5] です。物理スロット番号は [arg6] です。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポート・サイトで、このエラーに該当するデバイス・ドライバー、ファームウェア更新、サービス情報の改訂、あるいはその他の情報がないか確認します。新規のデバイス・ドライバー、および必要なすべてのファームウェア更新をロードします。
2. このノードや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守またはアップグレードが最近行われた場合。
 - a. アダプターおよび接続ケーブルを取り付け直します。
 - b. デバイス・ドライバーを再ロードします。
 - c. デバイスが認識されない場合は、スロットを Gen1 または Gen2 に再構成する必要がある場合があります。Gen1/Gen2 の設定は、F1 セットアップ -> 「システム設定」 -> 「デバイスおよび I/O ポート」 -> 「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 速度選択」、または OneCLI ユーティリティーを使用して構成できます。
 - d. 同一ノード内の 2 番目のスロットでも PCIe エラーが報告されている場合は、そのアダプターでも上記の手順 a、b、c を実行してから次に進んでください。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFIO0012M: PCIe システム・エラーがバス [arg1] デバイス [arg2] 機能 [arg3] で発生しました。デバイスのベンダー ID は [arg4] で、デバイス ID は [arg5] です。物理スロット番号は [arg6] です。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポート・サイトで、このエラーに該当するデバイス・ドライバー、ファームウェア更新、サービス情報の改訂、あるいはその他の情報がないか確認します。新規のデバイス・ドライバー、および必要なすべてのファームウェア更新をロードします。
2. このデバイスや、接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合。
 - a. アダプターおよび接続ケーブルを取り付け直します。
 - b. デバイス・ドライバーを再ロードします。
 - c. デバイスが認識されない場合は、スロットを Gen1 または Gen2 に再構成する必要がある場合があります。Gen1/Gen2 の設定は、F1 セットアップ -> 「システム設定」 -> 「デバイスおよび I/O ポート」 -> 「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 速度選択」、または OneCLI ユーティリティーを使用して構成できます。
 - d. 同一ノード内の 2 番目のスロットでも PCIe エラーが報告されている場合は、そのアダプターでも上記の手順 a、b、c を実行してから次に進んでください。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFI00013I: リソース制約のために、バス [arg1]、デバイス [arg2]、機能 [arg3] で検出されたデバイスを構成できませんでした。デバイスのベンダー ID は [arg4] で、デバイス ID は [arg5] です。物理スロット番号は [arg6] です。

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. この PCIe デバイスや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。
2. Lenovo サポート・サイトを参照し、このエラーに該当する Service Bulletin、UEFI、またはアダプター・ファームウェア更新がないか確認します (注: アダプター・ファームウェアを更新するには、UEFI F1 セットアップ、OneCLI ユーティリティー、またはアダプター製造元のユーティリティーを使用して、未使用のオプション ROM を無効にする必要がある場合があります)。
3. アダプターを別のスロットに移動します。スロットが利用不能であるか、エラーが再発する場合は、アダプターを交換します。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFI00014J: バス [arg1]、デバイス [arg2]、機能 [arg3] でデバイスの不正な option ROM チェックサムが検出されました。デバイスのベンダー ID は [arg4] で、デバイス ID は [arg5] です。物理スロット番号は [arg6] です。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. この PCIe デバイスや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合は、アダプターおよび接続ケーブルを取り付け直します。
2. アダプターを別のシステム・スロットに移動します (使用可能な場合)。
3. Lenovo サポート・サイトを参照し、このエラーに該当する Service Bulletin、UEFI、またはアダプター・ファームウェア更新がないか確認します。

注: アダプター・ファームウェアをアップグレードするために、スロットを Gen1 に構成したり、特別なユーティリティー・ソフトウェアを使用する必要がある場合があります。Gen1/Gen2 の設定は、F1 セットアップ -> 「システム設定」 -> 「デバイスおよび I/O ポート」 -> 「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 速度選択」、または OneCLI ユーティリティーを使用して構成できます。

4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFI00015I: IFM: アダプターをリセットするためにシステム・リセットが実行されました。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSFIO0016M : IFM: リセットのループが回避されました - 複数回のリセットは許可されていません。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. すべてのファームウェア (アダプター・ファームウェアを含む) を最新レベルに更新します。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFIO0017M : IFM: XCC との通信でエラーが発生しました - IFM が正常にデプロイされない可能性があります。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. すべてのシステム・ファームウェア (アダプター・ファームウェアを含む) を最新レベルに更新します。

注: デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、更新の前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認します。

2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFIO0018I : IFM: 互換モードを使用するには構成が大きすぎます。**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSFIO0019J : PCIe リソースの競合 [arg1] です。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. この PCIe デバイスや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。
2. アダプターを別のシステム・スロットに移動します (使用可能な場合)。
3. Lenovo サポート・サイトを参照し、このエラーに該当する Service Bulletin、UEFI、またはアダプター・ファームウェア更新がないか確認します。

注: アダプター・ファームウェアをアップグレードするために、スロットを Gen1 に構成したり、特別なユーティリティ・ソフトウェアを使用する必要がある場合があります。Gen1/Gen2

の設定は、F1 セットアップ -> 「システム設定」 -> 「デバイスおよび I/O ポート」 -> 「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 速度選択」、または OneCLI ユーティリティを使用して構成できます。

4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。

- **FQXSFI00020J**: PCIe スロット [arg1] で PCIe 分離が発生しました。アダプターが正常に動作していない場合があります。

重大度: 通知

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 関連する PCIe デバイスに関する個別のエラーがないかをログで確認し、そのエラーを解決します。
2. Lenovo Support サイトを参照し、このエラーに該当するシステムまたはアダプターに関する Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
3. システム仕様をチェックして、PCIe デバイスが互換性のある PCIe スロットに取り付けられていること、および互換性のあるケーブルが使用されていることを確認してください。そうでない場合、このデバイスのパフォーマンスに影響する可能性があります。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFI00021J**: 物理 [arg1] 番号 [arg2] で PCIe エラー回復が発生しました。[arg3] が正常に動作していない場合があります。

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 関連する PCIe デバイスまたは NVME ディスクに関する個別のエラーがないかをログで確認し、そのエラーを解決します。
2. Lenovo サポート・サイトを参照し、このエラーに該当するシステムまたはアダプターに関する Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
3. システム仕様をチェックして、PCIe デバイスまたは NVME ディスクが互換性のある PCIe スロットか互換性のあるベイに取り付けられ、互換性のあるケーブルが使用されていることを確認してください。そうでない場合、このデバイスのパフォーマンスに影響する可能性があります。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFI00022J**: 物理 [arg3] 番号 [arg4] で PCIe リンク幅が [arg1] から [arg2] に低下しました。

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 関連する PCIe デバイスまたは NVME ディスクに関する個別のエラーがないかをログで確認し、そのエラーを解決します。

2. Lenovo サポート・サイトを参照し、このエラーに該当するシステムまたはアダプターに関する Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
3. システム仕様をチェックして、PCIe デバイスまたは NVME ディスクが互換性のある PCIe スロットか互換性のあるベイに取り付けられ、互換性のあるケーブルが使用されていることを確認してください。そうでない場合、このデバイスのパフォーマンスに影響する可能性があります。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFIO0023J: 物理 [arg3] 番号 [arg4] で PCIe リンク速度が [arg1] から [arg2] に低下しました。

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 関連する PCIe デバイスまたは NVME ディスクに関する個別のエラーがないかをログで確認し、そのエラーを解決します。
2. Lenovo サポート・サイトを参照し、このエラーに該当するシステムまたはアダプターに関する Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
3. システム仕様をチェックして、PCIe デバイスまたは NVME ディスクが互換性のある PCIe スロットか互換性のあるベイに取り付けられ、互換性のあるケーブルが使用されていることを確認してください。そうでない場合、このデバイスのパフォーマンスに影響する可能性があります。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFIO0024I: プロセッサ [arg1] で IEH によってエラーが検出されました。IEH のタイプは [arg2] です。IEH のインデックスは [arg3] です。IehErrorStatus レジスターの値は [arg4] です。追加のダウンストリーム・デバイスのエラー・データのエラー・ログをチェックしてください。

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できるシステムまたはアダプターに関する Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFIO0024M: プロセッサ [arg1] で IEH によってエラーが検出されました。IEH のタイプは [arg2] です。IEH のインデックスは [arg3] です。IehErrorStatus レジスターの値は [arg4] です。追加のダウンストリーム・デバイスのエラー・データのエラー・ログをチェックしてください。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できるシステムまたはアダプターに関する Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。

2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFIO0025I: プロセッサ [arg1] で IIO によってエラーが検出されました。IIO スタックのインデックスは [arg2] です。IIO 内部エラーのタイプは [arg3] です。追加のダウンストリーム・デバイスのエラー・データのエラー・ログをチェックしてください。

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できるシステムまたはアダプターに関する Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFIO0025M: プロセッサ [arg1] で IIO によってエラーが検出されました。IIO スタックのインデックスは [arg2] です。IIO 内部エラーのタイプは [arg3] です。追加のダウンストリーム・デバイスのエラー・データのエラー・ログをチェックしてください。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できるシステムまたはアダプターに関する Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFIO0031M: 訂正不能 PCIe エラーがバス [arg1] デバイス [arg2] 機能 [arg3] で発生しました。デバイスのベンダー ID は [arg4] で、デバイス ID は [arg5] です。物理ベイ番号は [arg6] です。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポート・サイトで、このエラーに該当するデバイス・ドライバー、ファームウェア更新、サービス情報の改訂、あるいはその他の情報がないか確認します。新規のデバイス・ドライバー、および必要なすべてのファームウェア更新をロードします。
2. このデバイスや、接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合。
 - a. アダプターおよび接続ケーブルを取り付け直します。
 - b. デバイス・ドライバーを再ロードします。
 - c. デバイスが認識されない場合は、スロットを Gen1 または Gen2 に再構成する必要がある場合があります。Gen1/Gen2 の設定は、F1 セットアップ -> 「システム設定」 -> 「デバイスおよび I/O ポート」 -> 「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 速度選択」、または OneCLI ユーティリティを使用して構成できます。

d. 同一ノード内の 2 番目のスロットでも PCIe エラーが報告されている場合は、そのアダプターでも上記の手順 a、b、c を実行してから次に進んでください。

3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFIO0032M: バス [arg1] デバイス [arg2] 機能 [arg3] で PCIe 訂正可能エラー PFA しきい値限界を超えています。デバイスのベンダー ID は [arg4] で、デバイス ID は [arg5] です。物理ベイ番号は [arg6] です。

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムをリブートします。
2. NVME ディスクのファームウェアを再フラッシュします。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFIO0033J: 物理ベイ番号 [arg3] で PCIe リンク幅が [arg1] から [arg2] に低下しました。

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 関連する PCIe NVME ディスクに関する個別のエラーがないかをログで確認し、そのエラーを解決します。
2. Lenovo サポート・サイトを参照し、このエラーに該当するシステムまたはアダプターに関する Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
3. システム仕様をチェックして、PCIe NVME ディスクが互換性のあるベイに取り付けられ、互換性のあるケーブルが使用されていることを確認してください。そうでない場合、このデバイスのパフォーマンスに影響する可能性があります。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFIO0034J: 物理ベイ番号 [arg3] で PCIe リンク速度が [arg1] から [arg2] に低下しました。

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 関連する PCIe NVME ディスクに関する個別のエラーがないかをログで確認し、そのエラーを解決します。
2. Lenovo サポート・サイトを参照し、このエラーに該当するシステムまたはアダプターに関する Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。

3. システム仕様をチェックして、PCIe NVME ディスクが互換性のあるベイに取り付けられ、互換性のあるケーブルが使用されていることを確認してください。そうでない場合、このデバイスのパフォーマンスに影響する可能性があります。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFMA0001I: DIMM [arg1] 無効がリカバリーされました。 [arg2]**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSFMA0001M: POST 時にエラーが検出されたため、DIMM [arg1] が無効になりました。 [arg2]**

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 対象の DIMM を取り付け直します (注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の FQXSFMA0011I イベントが記録されている場合があります。)
2. F1 セットアップからブートして、DIMM を有効にします (AMD の場合、セットアップで DIMM を有効にする必要はありません)。システムをリブートします。
3. UEFI ファームウェアを最新のバージョンに更新します。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFMA0002I: 訂正不能メモリー・エラー状態がクリアされました。**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSFMA0002M: DIMM [arg1] アドレス [arg2] で訂正不能メモリー・エラーが検出されました。 [arg3]**

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに該当する Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
2. 対象の DIMM 取り付け直します (注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の FQXSFMA0011I イベントが記録されている場合があります)。
3. 影響を受けた DIMM を正常と判明している DIMM とスワップし、問題が依然として観察されるかどうかを確認します。

4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFMA0003K**: メモリーの不一致が検出されました。メモリー構成が有効であることを確認してください。[arg1]

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. ブートして UEFI FI 画面を表示し、メモリー DIMM が無効かどうかを確認します。以前の訂正不能エラーまたは UEFI メモリー・テスト/トレーニング・エラーのために、メモリーが無効になっている可能性があります。
2. DIMM が正しい装着順序で取り付けられていることを確認します。
3. UEFI ファームウェアを最新のバージョンに更新します。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFMA0004N**: システム・メモリーが検出されませんでした。[arg1]

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 1 つ以上のサポートされている DIMM が正しい装着順序で取り付けられていることを確認します。
2. システムに Lightpath がある場合、点灯している DIMM コネクタ LED がないかを確認し、ある場合は、その DIMM を取り付け直します。別の方法 (Lightpath が使用できない場合など) として、XCC GUI を使用して同じことができます。
3. システム内で複数の DIMM が使用可能な場合は、スロット間で DIMM をスワップします。
4. その問題が発生する直前に DIMM をアップグレードした場合、別の構成または最小構成で UEFI を更新します。
5. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFMA0005N**: システム内にメモリーが存在しますが、構成できませんでした。メモリー構成が有効であることを確認してください。[arg1]

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 1 つ以上の DIMM がサーバーに取り付けられていることを確認します。
2. 既存のメモリー・エラーがある場合は、それを解決します。
3. メモリー障害がログに記録されておらず、DIMM コネクタのエラー LED が点灯していない場合は、Setup Utility または OneCLI ユーティリティを使用し、すべての DIMM コネクタが有効になっているかどうかを確認します。

4. 本製品のサービス情報に従って DIMM が正しい装着順序で取り付けられていることを確認して、すべての DIMM を取り付け直します。
5. CMOS メモリーをクリアします。ファームウェアの設定はすべてデフォルトに戻されることに注意してください。
6. UEFI ファームウェアを再フラッシュします。
7. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFMA0006I : [arg1] DIMM [arg2] が検出されました。DIMM シリアル番号は [arg3] です。

重大度: 通知

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. この情報イベントが XCC イベント・ログに記録されている場合、サーバーに適格でないメモリーが取り付けられています。
2. 取り付けられているメモリーは、保証の対象にならない場合があります。
3. 適格なメモリーがない場合、業界標準を超えてサポートされている速度は有効になりません。
4. 貴社担当の営業担当員または Authorized Business Partner に連絡して、適格なメモリーを発注し、適格でない DIMM を交換してください。
5. 適格なメモリーを取り付けてサーバーの電源を入れた後、この通知イベントがログに再び記録されないことを確認してください。
6. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFMA0007I : [arg1] DIMM 番号 [arg2] が交換されました。 [arg3]

重大度: 通知

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. このイベントの後に、サーバーに適格ではないメモリーが取り付けられていることを示す最近の FQXSFMA0006I イベントが続く必要があります。
2. 通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSFMA0008I : DIMM [arg1] POST メモリー・テスト障害が復旧しました。 [arg2]

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSFMA0008M : DIMM [arg1] が POST メモリー・テストに失敗しました。 [arg2]

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. この障害が発生する前に DIMM 構成を変更した場合、DIMM が正しい装着順序で取り付けられていることを確認します。
2. POST メモリー・テストに失敗した DIMM と隣接するスロットの DIMM (装着されている場合) を取り付け直します。ブートして F1 セットアップを表示し、DIMM を有効にします。システムをリブートします。
3. DIMM を障害が発生した場所と、正常と判明している別の場所をスワップし、障害が DIMM または DIMM スロットによるものかを確認します。
4. XCC / UEFI の更新プロセス中にこの問題が発生した場合:
 - a. 数秒間、電源を取り外してシステムの電源サイクルを行います。
 - b. バッテリーを数秒間取り外して CMOS 設定をクリアします。
5. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFMA0009I**: ミラー・モードの無効なメモリー構成が復旧しました。[arg1]

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSFMA0009K**: ミラー・モードに無効なメモリー構成。メモリー構成を修正してください。[arg1]

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. ブートして F1 セットアップを表示させるか、XCC web ですべての DIMM が有効になっており、機能していることを確認します。いずれかの DIMM が機能していない場合、まずそれを解決します。
2. 本製品のサービス情報に従って、DIMM コネクタがミラーリング・モードとして正しく装着されていることを確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFMA0010I**: スペアリング・モードの無効なメモリー構成が復旧しました。[arg1]

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSFMA0010K**: スペアリング・モードに無効なメモリー構成。メモリー構成を修正してください。[arg1]

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. ブートして F1 セットアップを表示させるか、XCC web ですべての DIMM が有効になっており、機能していることを確認します。いずれかの DIMM が機能していない場合、まずそれを解決します。
2. 本製品のサービス情報に従って、DIMM コネクタがスペアリング・モードとして正しく装着されていることを確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFMA0011I: メモリー装着の変化が検出されました。[arg1]**

重大度: 通知

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムで DIMM の追加または取り外しを行い、追加のエラーが検出されなかった場合は、このメッセージを無視してください。
2. システム・イベント・ログで訂正不能 DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

- **FQXSFMA0012I: DIMM [arg1] の PFA が解除されました。**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSFMA0012L: [arg1] PFA しきい値限界を、アドレス [arg3] の DIMM [arg2] で超えました。[arg4]**

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 対象の DIMM を取り付け直します。
2. Lenovo サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに該当する Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
3. DIMM を正常と判明している別の場所にスワップします。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFMA0013I: ミラーのフェイルオーバーが完了しました。DIMM [arg1] は、ミラーリングされたコピーにフェイルオーバーしました。[arg2]**

重大度: 通知

ユーザー処置:

システム・イベント・ログで訂正不能 DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

- FQXSFMA0014I:メモリーのスペア・コピーが開始されました。[arg1]

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSFMA0015I:メモリーのスペア・コピーが正常に完了しました。[arg1]

重大度: 通知

ユーザー処置:

システム・ログで関連する DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

- FQXSFMA0016M:メモリー・スペア・コピーが失敗しました。[arg1]

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. ブートして UEFI F1 画面を表示し、すべての DIMM が有効になっていることを確認します。システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFMA0023M:NVDIMM フラッシュでエラーが発生しました。NVDIMM のバックアップ/復元が正常に動作していない場合があります。[arg1]

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 対象の NDIMM、および隣接するスロットの DIMM (装着されている場合) を取り付け直します。
2. Lenovo サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに該当する Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFMA0024M:NVDIMM スーパーキャップでエラーが発生しました。NVDIMM のバックアップ/復元が正常に動作していない場合があります。[arg1]

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. サーバーの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを目視で確認します。

2. BBU コネクタに問題が見られない場合、または問題が解決しない場合は、Lenovo Support サイトを参照して、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFMA0025M: NVDIMM スーパーキャップが切断されました。接続されるまで、NVDIMM のバックアップ能力が失われます。[arg1]**

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. サーバーの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの BBU コネクタに異物がないことを目視で確認します。
2. BBU コネクタに問題が見られない場合、または問題が解決しない場合は、Lenovo Support サイトを参照して、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFMA0026G: DIMM [arg1] で複数ビット CE が発生しました。ポスト・パッケージの修復 (PPR) を試行するには、DIMM 自己修復のためにシステムを再起動する必要があります**

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. DIMM 自己修復がハード・ポスト・パッケージの修復 (PPR) を試行できるようにシステムを再起動し、イベント ID FQXSFMA0026I が記録されたことを確認します。
2. 問題が解決しない場合やイベント ID FQXSFMA0027M または FQXSFMA0028M が原因で PPR の試行が失敗した場合は、サービス・データ・ログを収集して、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFMA0026I: デバイス [arg6] のランク [arg2] サブランク [arg3] バンク [arg4] 行 [arg5] で、DIMM [arg1] の自己復旧、ポスト・パッケージ修復の試行に成功しました。[arg7]**

重大度: 通知

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 通知メッセージ。操作は不要です。
2. 注: Post Package Repair (PPR) – 不良なセルまたはアドレス行へのアクセスを DRAM デバイス内の予備の行で置き換えるメモリー自己修復プロセスです。
 - a. Soft Post Package Repair (sPPR) - 現在のブート・サイクルの行を修復します。システム電源が取り外されている場合、またはシステムがリブート (リセット) された場合、DIMM は元の状態に戻ります。
 - b. Hard Post Package Repair (hPPR) – 行を永続的に修復します。

- FQXSFMA0027I: 無効なメモリー構成 (サポートされない DIMM 装着) が回復しました。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSFMA0027K: 無効なメモリー構成 (サポートされない DIMM 装着) が検出されました。メモリー構成が有効であることを確認してください。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. このイベントは、訂正不能メモリー・エラーあるいはメモリー・テストの失敗に続いて発生した可能性があります。ログを確認し、最初にそのイベントを解決します。他のエラーあるいはアクションによって無効になっている DIMM が、このイベントの原因となっている可能性があります。
2. 本製品のサービス情報に従って、DIMM が正しい順序で装着されていることを確認します。
3. DIMM が存在しており、適切に取り付けられている場合は、点灯している DIMM コネクター・エラー LED がないかを確認し、その DIMM を取り付け直します。メモリー診断コードのログを確認します。
4. UEFI をデフォルト設定にリセットします。
5. 問題が解決しない場合は、UEFI ファームウェアを更新します。
6. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFMA0027M: デバイス [arg6] のランク [arg2] サブランク [arg3] バンク [arg4] 行 [arg5] で、DIMM [arg1] の自己復旧、ポスト・パッケージ修復が試行され、失敗しました。[arg7]

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 対象の DIMM を取り付け直します (注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の FQXSFMA0011I イベントが記録されている場合があります。)
2. ブートして F1 セットアップを表示し、DIMM を有効にします。システムをリブートします。
3. UEFI ファームウェアを最新のバージョンに更新します。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFMA0028K: メモリー容量が CPU の限度を超えました。[arg1]

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムから AC 電源を取り外します。
2. メモリー容量がプロセッサの部品番号限度を超えないようにメモリー構成を変更します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFMA0028M: デバイス [arg7] のランク [arg3] サブランク [arg4] バンク [arg5] 行 [arg6] で、DIMM [arg1] の自己復旧、ポスト・パッケージ修復が DIMM レベルのしきい値 [arg2] を超えました。 [arg8]

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 対象の DIMM 取り付け直します (注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の FQXSFMA0011I イベントが記録されている場合があります)。
2. ブートして F1 セットアップを表示し、DIMM を再び有効にします。システムをリブートします。
3. UEFI ファームウェアを最新のバージョンに更新します。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFMA0029I: DIMM [arg1] の PFA は、この DIMM に PPR を適用した後、解除されました。 [arg2]

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSFMA0030K: Intel Optane PMEM [arg1] の空き容量の割合が [arg2] % 未満ですが、まだ機能しています。

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 以下のいずれかの方法で、現在の Intel Optane PMEM DIMM ヘルス・ステータスを確認します。
 - a. LXPM 診断で PMEM テストを実行します。スベア・ブロックの「空き容量の割合」を確認します。
 - b. XCC Web GUI 上でスベア・ブロックの「残量」を確認します。

2. データをバックアップします。

- FQXSFMA0031K: Intel Optane PMEM [arg1] のスベア・ブロックが残り 1 % になりましたが、まだ機能しています。

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 以下のいずれかの方法で、現在の Intel Optane PMEM DIMM ヘルス・ステータスを確認します。
 - a. LXPM 診断で PMEM テストを実行します。スペア・ブロックの「空き容量の割合」を確認します。
 - b. XCC Web GUI 上でスペア・ブロックの「残量」を確認します。
2. データをバックアップします。
3. PMEM が保証条件を満たしているか確認してください。
 - a. PMEM が保証条件を満たしている場合は、Lenovo サポートに連絡して PMEM の交換を行います。
 - b. PMEM が保証条件を満たしていない場合は、認定 Lenovo 販売店を通じて同等の新しい PMEM を注文してください。
4. サービス・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡して、PMEM 交換をスケジュールします (注意: 別の契約書または契約条件で、特別の定めのない限り保証期間を超えた部品および/または最大使用制限に達した部品は、保証サービスの対象外です)。

- **FQXSFMA0032M: Intel Optane PMEM [arg1] には、スペア・ブロックが残っていません。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. データをバックアップします。
2. 以下のいずれかの方法で、現在の Intel Optane PMEM DIMM ヘルス・ステータスを確認します。
 - a. LXPM 診断で PMEM テストを実行します。スペア・ブロックの「空き容量の割合」を確認します。
 - b. XCC Web GUI 上でスペア・ブロックの「残量」を確認します。
3. PMEM が保証条件を満たしているか確認してください。
 - a. PMEM が保証条件を満たしている場合は、Lenovo サポートに連絡して PMEM の交換を行います。
 - b. PMEM が保証条件を満たしていない場合は、認定 Lenovo 販売店を通じて同等の新しい PMEM を注文してください。
4. サービス・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡して、PMEM 交換をスケジュールします (注意: 別の契約書または契約条件で、特別の定めのない限り保証期間を超えた部品および/または最大使用制限に達した部品は、保証サービスの対象外です)。

- **FQXSFMA0033M: Intel Optane PMEM Persistent Memory のインターリーブ・セットには [arg1] PMEMs(DIMM [arg2]) があり、[arg3] DIMM の位置が正しくありません。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. XCC サービス・データを収集します。
2. システムの電源をオフにします。
3. 次のエラー・メッセージ FQXSFMA0034M のログには、PMEM の正しい位置が示されています。
4. エラー・メッセージ FQXSFMA0034M のログにあるすべての PMEM を正しい位置に移動します。
5. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFMA0034M: Intel Optane PMEM Persistent Memory インターリーブ・セットの DIMM [arg1] (UID: [arg2]) は、順番に DIMM スロット [arg3] に移動する必要があります。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. XCC サービス・データを収集します。
2. システムの電源をオフにします。
3. このエラー・メッセージには、PMEM の正しい位置に関する詳細が示されます。
4. 適切なロケーションに PMEM を移動します。
5. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFMA0035M: Intel Optane PMEM インターリーブ・セットには [arg1] PMEM があるはずですが、[arg2] PMEM が欠落しています。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. XCC サービス・データを収集します。
2. システムの電源をオフにします。
3. 次のエラー・メッセージ FQXSFMA0036M のログには、どの PMEM が欠落しているか詳細が示されています。
4. エラー・メッセージ FQXSFMA0036M ログにある欠落しているすべての PMEM を見つけ、正しい位置に取り付けます。
5. エラーが発生する場合は、手順 1 および 4 に従って、新規のエラー・メッセージで詳細を取得します。
6. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFMA0036M: Intel Optane PMEM Persistent Memory インターリーブ・セットの DIMM [arg1] (UID: [arg2]) が欠落しています。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. XCC サービス・データを収集します。
2. システムの電源をオフにします。
3. このエラー・メッセージには、欠落している PMEM の UID が示されます。
4. Lenovo サービス・クライアントを使用するか、Lenovo サポートに連絡し、ログを解析して PMEM の正しい位置を取得します。不足している PMEM を見つけ、正しい位置に取り付けます。
5. エラーが発生する場合は、手順 1 および 4 に従って、新規のエラー・メッセージで詳細を取得します。
6. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFMA0037G: Intel Optane PMEM インターリーブ・セット (DIMM [arg1]) が別のシステム (Platform ID: [arg2]) から移行されています。これらの移行された PMEM は、このシステムではサポートも保証もされていません。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システム仕様を確認します。
2. PMEM を元のマシンまたは同じマシン・タイプのプラットフォームに戻すか、永続領域データをバックアップして名前空間を削除し、セキュリティーを無効にして、セキュリティーを消去して、取り付け対象のシステムが PMEM をサポートしている場合、PMEM ガイドに従って新しい目標を作成します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFMA0038K: すべての Intel Optane PMEM にパスキーがないため、ロックを解除自動できませんでした。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Intel PMEM ツールを使用して、OS で Intel Optane PMEM の自動ロック解除または PMEM ロック解除のパスキーをできるように設定します。
2. パスキーをプロビジョニングする方法:
 - a. オプション 1. (「システム設定」 > 「Intel Optane PMEM」 > 「セキュリティー」) で、「プラットフォーム」の範囲で「システム・セットアップ」から検出された、すべての Intel Optane PMEM のセキュリティーを有効にします。
 - b. オプション 2. OneCLI コマンド (OneCLI.exe config set IntelOptanePMEM.SecurityOperation 「セキュリティーを有効にする」) および (OneCLI.exe config set IntelOptanePMEM.SecurityPassphrase 「ユーザーのパスキー」) を通じて検出された、すべての Intel Optane PMEM でセキュリティーを有効にします。

注: セキュリティーの状態が混在している場合は、最初に (「システム設定」 > 「Intel Optane PMEM」 > 「セキュリティー」) で「単一 PMEM」の範囲を選択して、システム・セットアップの PMEM のセキュリティーを無効にします。その後、パスキーをプロビジョニングするア

クシオンを実行します。PMEM がロック解除されていない場合、システムは PMEM の永続領域を表示したりアクセスしたりしません。

- **FQXSFMA0039K: パスフレーズが無効なため、1 つ以上の Intel Optane PMEM のロックを解除自動できませんでした。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. OneCLI を使用して、どの PMEM がロック解除に失敗したかを確認します。異なるパスフレーズを使用すると、自動ロック解除障害が発生する可能性があります。
2. 「UEFI セットアップ」 ページまたは Intel PMEM OS ツールを使用して、正しいパスフレーズで関連する PMEM のロックを解除します。
3. 次回ブート時に自動ロック解除障害を回避するために、システム・セットアップ・ユーティリティのこれらの PMEM のパスフレーズを、「単一 PMEM」 (「システム設定」 > 「Intel Optane PMEMs」 > 「セキュリティー」) の範囲に変更します。

注: PMEM がロック解除されていない場合、システムは PMEM の永続領域を表示したりアクセスしたりしません。

4. それでも問題が解決しない場合、Lenovo サポートにお問い合わせください。

- **FQXSFMA0040K: 無効な Intel Optane PMEM 構成が検出されました。PMEM 構成が有効であることを確認してください。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システム仕様を確認し、正しい順序で PMEM を登録する規則に従ってください。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFMA0041K: Intel Optane PMEM 構成のニアメモリー/ファームメモリーの比率 (1: [arg1].[arg2]) が推奨範囲 (1:[arg3] - 1:[arg4]) にありません。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. https://dsc.lenovo.com/#/memory_configuration のメモリー構成ツールを使用してシステムのメモリー構成を検証します。
2. PMEM 比率がファームウェア要件を満たすように DIMM 構成を解決し、システムを再起動します。

3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFMA0042K: Intel Optane PMEM はこのシステムのプロセッサでサポートされていません。

重大度: エラー

ユーザー処置:

https://dcsc.lenovo.com/#/memory_configuration のメモリー構成ツールを使用してシステムのメモリー構成を検証します。

- FQXSFMA0046I: DIMM [arg1] は Intel Optane PMEM であり、この構成モードは現行プラットフォームでサポート対象外のため、揮発性または不揮発性の容量にアクセスできなくなります。

重大度: 通知

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムの電源をオフにします。
2. Intel Optane PMEM を再構成します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFMA0046M: DIMM [arg1] は、現在のプラットフォームでサポートされていない Intel Optane PMEM であるため、無効になっています

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムの電源をオフにします。
2. サポートされていない Intel Optane PMEM をこのシステムから削除します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFMA0047M: DIMM [arg1] で SPD CRC の検査が失敗しました。 [arg2]

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. サーバーの仮想再取り付けまたは AC サイクルを実行します。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFMA0052I: DIMM [arg2] エラーにより DIMM [arg1] が無効になりました。 [arg3]

重大度: 通知

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムの電源をオフにし、A/C 電源を取り外します。
2. イベント・メッセージで指定されたスロットに DIMM を取り付け直します。
3. A/C 電源を復元し、システムの電源をオンにします。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFMA0053I: メモリー・モジュールの組み合わせの更新のため、DIMM [arg1] が再び有効になりました。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSFMA0053M: DIMM [arg1] に障害はありませんが、CPU [arg2] におけるメモリー・モジュールの組み合わせがサポートされていないため無効になりました。

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. このイベントは、訂正不能メモリー・エラーあるいはメモリー・テストの失敗に続いて発生した可能性があります。ログを確認し、最初にそのイベントを解決します。他のエラーあるいはアクションによって無効になっている DIMM が、このイベントの原因となっている可能性があります。
2. 本製品のサービス情報に従って、DIMM が正しい順序で装着されていることを確認します。
3. DIMM が存在しており、適切に取り付けられている場合は、点灯している DIMM コネクター・エラー LED がないかを確認し、DIMM を取り付け直して、ログでメモリー診断コードを確認します。
4. UEFI をデフォルト設定にリセットします。
5. 問題が解決しない場合は、UEFI ファームウェアを更新します。
6. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFMA0065I: POST パッケージの修復を実行した後、DIMM [arg1] の複数ビット CE が検出されました。DIMM 識別子は [arg2] です。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSFPU0001N: サポートされていないプロセッサが検出されました。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポート・サイトで、このプロセッサに必要なファームウェア更新がないか確認し、あった場合は更新をインストールします。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

● **FQXSFPU0002N: 無効なプロセッサ・タイプが検出されました。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. プロセッサが、このシステムの Server Proven デバイスにリストされている有効なオプションであることを確認します。サポートされていないプロセッサが確認された場合、プロセッサを取り外すか、サポートされているプロセッサに交換します。
2. Lenovo サポート・サイトで、このプロセッサに必要なファームウェア更新がないか確認し、あった場合は更新をインストールします。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

● **FQXSFPU0003K: システム内の 1 つ以上のプロセッサ間でプロセッサの不一致が検出されました。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. このメッセージと一緒に、他のプロセッサ構成の問題を示すメッセージが発行される場合があります。最初に、それらのメッセージを解決してください。
2. 問題が解決しない場合は、取り付けられているプロセッサが一致していること (オプション部品番号が一致しているなど) を確認します。
3. 本製品のサービス情報に従って、プロセッサが正しいソケットに取り付けられていることを確認します。正しく取り付けられていない場合は、問題を修正してください。
4. Lenovo サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに該当する適用可能な Service Bulletin または UEFI ファームウェア更新がないか確認します。
5. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

● **FQXSFPU0004K: システム内の 1 つ以上のプロセッサによって報告されたコアの数の不一致が検出されました。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. これが新規に取り付けたオプションの問題である場合、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。

2. Lenovo Support サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin がないか確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFPU0005K**: 1 つ以上のプロセッサで許容される最大 UPI リンク速度の不一致が検出されました。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. これが新規に取り付けたオプションの問題である場合、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. Lenovo Support サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin がないか確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFPU0006K**: 1 つ以上のプロセッサで電源セグメントの不一致が検出されました。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. これが新規に取り付けたオプションの問題である場合、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. Lenovo Support サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin がないか確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFPU0007K**: プロセッサの内部 DDR 周波数が一致していません。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 一致する DIMM が正しい装着順序で取り付けられていることを確認します。検出された構成の問題をすべて修正します。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFPU0008K**: 1 つ以上のプロセッサでコア速度の不一致が検出されました。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致の問題をすべて修正します。
2. Lenovo サポート・サイトで、このプロセッサ・エラーに該当する適用可能な Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

● **FQXSFPU0009K**: 1 つ以上のプロセッサで外部クロック周波数の不一致が検出されました。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. プロセッサが、このシステムの Server Proven デバイスにリストされている有効なオプションであることを確認します。そうでない場合は、プロセッサを取り外して、Server Proven Web サイトにリストされているプロセッサを取り付けます。
2. 一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
3. Lenovo サポート・サイトで、このプロセッサ・エラーに該当する適用可能な Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

● **FQXSFPU0010K**: 1 つ以上のプロセッサでキャッシュ・サイズの不一致が検出されました。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
2. Lenovo サポート・サイトで、このプロセッサ・エラーに該当する適用可能な Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

● **FQXSFPU0011K**: 1 つ以上のプロセッサでキャッシュ・タイプの不一致が検出されました。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
2. Lenovo サポート・サイトで、このプロセッサ・エラーに該当する適用可能な Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。

3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFP0012K**: 1 つ以上のプロセッサでキャッシュの結合順序の不一致が検出されました。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
2. Lenovo サポート・サイトで、このプロセッサ・エラーに該当する適用可能な Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFP0013K**: 1 つ以上のプロセッサでプロセッサの型式の不一致が検出されました。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
2. Lenovo サポート・サイトで、このプロセッサ・エラーに該当する適用可能な Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFP0014N**: 1 つ以上のプロセッサでプロセッサのファミリーの不一致が検出されました。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
2. Lenovo サポート・サイトで、このプロセッサ・エラーに該当する適用可能な Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFP0015K**: 1 つ以上のプロセッサでプロセッサのステッピングの不一致が検出されました。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
2. Lenovo サポート・サイトで、このプロセッサ・エラーに該当する適用可能な Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

• **FQXSFPU0016N**: システム内のプロセッサが BIST に失敗しました。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. プロセッサまたはファームウェアを更新したばかりの場合は、Lenovo サポート・サイトで、このプロセッサ・エラーに該当する適用可能な Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

• **FQXSFPU0017G**: プロセッサ・マイクロコードの更新に失敗しました。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポート・サイトで、このプロセッサ・エラーに該当する適用可能な Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

• **FQXSFPU0018N**: CATERR(IERR) がプロセッサ [arg1] で検出されました。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin または UEFI ファームウェア更新がないか確認します。
2. システムをリブートします。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

• **FQXSFPU0019N**: プロセッサ [arg1] で訂正不能エラーが検出されました。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポート・サイトを参照し、このエラーに該当する Service Bulletin または UEFI ファームウェア更新がないか確認します。
2. システムをリブートします。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFP0020I : UEFI ファームウェアのイメージ・カプセルの署名が無効です。**

重大度: 通知

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムをリブートします。UEFI イメージを再フラッシュします。
2. エラーが解決した場合は、追加のリカバリー・アクションは必要ありません。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFP0021I : TPM 物理プレゼンス状態がクリアされました。**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSFP0022G : TPM 構成がロックされていません。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFP0023G : セキュア・ブートのイメージ検証失敗の警告。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. セキュア・ブートが有効でありセキュア・ブート・モードがユーザー・モードであるときに、ユーザーが無許可の UEFI イメージまたは OS からブートしようとする则表示されるセキュリティー警告メッセージです。お客様が無許可の UEFI イメージまたは OS をブートすることを希望しない場合は、その起動可能デバイスを取り外してください。

2. お客様が無許可の UEFI イメージまたは OS をブートすることを希望する場合、この無許可のイメージからのシステム・ブートを許可するには、2つの方法があります。セキュア・ブートを無効にする方法と、無許可のイメージを DB (Authorized Signature Database) に登録する方法です。
 - a. セキュア・ブートを無効にする: 物理プレゼンスを検出し、セキュア・ブート設定を無効に変更します (F1 セットアップ -> 「システム設定」 -> 「セキュリティー」 -> 「セキュリティー・ブート構成」 -> 「セキュリティー・ブート設定」)。
 - b. 無許可の UEFI イメージを登録します。物理プレゼンスを検出して、セキュア・ブート・ポリシーをカスタム・ポリシーに変更します (「セットアップ」 -> 「システム設定」 -> 「セキュリティー」 -> 「セキュリティー・ブート構成」 -> 「セキュリティー・ブート・ポリシー」)。次に、「セキュリティー・ブート・カスタム・ポリシー」メニューに入り、「Efi イメージの登録」ボタンを押して、ポップアップ・ボックスから無許可の UEFI イメージを選択します。
 - c. 注: 物理プレゼンスを検出する方法は2つあります。
 - 1) 物理プレゼンス・ジャンパーを ON に切り替える
 - 2) 物理プレゼンス・ポリシーが有効に設定されている場合 (F1 セットアップ -> 「システム設定」 -> 「セキュリティー」 -> 「物理プレゼンス・ポリシーの構成」)、IPMI ツールでリモート物理プレゼンスを検出できます。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFPU0023I: このラウンド・ブートで障害が発生しなかったため、セキュア・ブート・イメージ検証失敗がクリアされました。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSFPU0025I: デフォルトのシステム設定が復元されました。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSFPU0027N: MC ステータス [arg4]、MC アドレス [arg5] および MC Misc [arg6] のプロセッサ [arg1] コア [arg2] MC バンク [arg3] で、訂正不能エラーが発生しました。

重大度: 致命的

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. サーバーの仮想再取り付けまたは AC サイクルを実行します。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFPU0030N: UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポート・サイトを参照し、このエラーに該当する Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
 2. UEFI イメージを再フラッシュします。
 3. 最近行ったシステム変更 (設定やデバイスの追加) を元に戻します。システムがブートすることを確認します。次に、一度に1つずつオプションを再取り付けし、問題を特定します。
 4. 問題が解決しない場合は、お客様の UEFI 構成を保存した後、CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去し、CMOS バッテリーを再取り付けします。ブートが正常に行われたら、システム設定を復元します。
 5. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。
- **FQXSFP0031N**: POST の試行回数が F1 セットアップで構成された値に達しました。システムはデフォルトの UEFI 設定でブートします。ユーザー指定の設定は保持され、再起動前に変更しない限り、次回以降のブートで使用されます。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 元の UEFI 設定はまだ存在しています。お客さまが元の設定を引き続き使用することを希望する場合は、「設定の保存」を選択します。
 2. ユーザーが意図的にリブートをトリガーしたのではない場合は、ログに推定原因がないか確認してください。例えば、バッテリー障害イベントがある場合は、そのイベントを解決するステップを実行してください。
 3. 最近行ったシステム変更 (設定やデバイスの追加) を元に戻します。システムがブートすることを確認します。次に、一度に1つずつオプションを再取り付けし、問題を特定します。
 4. Lenovo サポート・サイトを参照し、このエラーに該当する Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。該当する場合は UEFI ファームウェアを更新します。
 5. お客様の UEFI 構成を保存した後、CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去し、CMOS バッテリーを再取り付けします。ブートが正常に行われたら、システム設定を復元します。
 6. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。
- **FQXSFP0033G**: プロセッサが無効にされました。

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポート・サイトを参照し、このエラーに該当する Service Bulletin または UEFI ファームウェア更新がないか確認します。
2. システムをリブートします。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。

4. Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFPU0034L: TPM を正しく初期化できませんでした。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムをリブートします。UEFI イメージを再フラッシュします。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFPU0035N: プロセッサ [arg1] でスリーストライク・タイムアウトが発生しました。

重大度: 致命的

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポート・サイトを参照し、このエラーに該当する Service Bulletin または UEFI ファームウェア更新がないか確認します。
2. システムをリブートします。
3. システム設定またはオペレーティング・システムに対する最近の変更を確認し、戻します。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFPU0062F: MC ステータス [arg4]、MC アドレス [arg5] および MC Misc [arg6] のプロセッサ [arg1] コア [arg2] MC バンク [arg3] で、未解決のリカバリー可能システム・エラーが発生しました。

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. サーバーの仮想再取り付けまたは AC サイクルを実行します。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFPU4033F: TPM ファームウェアのリカバリーが進行中です。システムを電源オフまたはリセットしないでください。

重大度: 警告

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

注: TPM ファームウェア・リカバリーの進行中は、システムは電源オフ信号 (FQXSFPU4034I) に応答しません。

- **FQXSFP4034I**: TPM ファームウェアのリカバリーが終了しました。システムをリブートすると有効になります。
重大度: 通知
ユーザー処置:
通知メッセージ。操作は不要です。
- **FQXSFP4035M**: TPM ファームウェアのリカバリーに失敗しました。TPM チップが破損している可能性があります。
重大度: 警告
ユーザー処置:
次の手順を実行してください。
 1. システムをリブートします。
 2. エラーが再発する場合、TPM 関連の機能は動作しません。
 3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。
- **FQXSFP4038I**: TPM ファームウェアのリカバリーに成功しました。
重大度: 通知
ユーザー処置:
通知メッセージ。操作は不要です。
- **FQXSFP4040M**: TPM セルフテストが失敗しました。
重大度: 警告
ユーザー処置:
次の手順を実行してください。
 1. システムをリブートします。
 2. エラーが再発する場合、TPM 関連の機能は動作しません。
 3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。
- **FQXSFP4041I**: TPM ファームウェア更新が進行中です。システムを電源オフまたはリセットしないでください。
重大度: 通知
ユーザー処置:
通知メッセージ。操作は不要です。
- **FQXSFP4042I**: TPM ファームウェアの更新が終了しました。システムをリブートすると有効になります。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSFPU4043G: TPM ファームウェアの更新が中止されました。システムをリブートしています…

重大度: 警告

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSFPU4044I: 現在の TPM ファームウェア・バージョンでは、TPM バージョンの切り替えがサポートされていません。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSFPU4046I: TPM ファームウェアが TPM1.2 から TPM2.0 に更新されます。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSFPU4047I: TPM ファームウェアが TPM2.0 から TPM1.2 に更新されます。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSFPU4049I: TPM ファームウェアの更新に成功しました。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSFPU4050G: TPM ファームウェアの更新に失敗しました。

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. TPM の実行により TPM をクリアし、製品ユーザー・ガイドの以下の指示に従って TPM ファームウェア更新を再試行します。

<https://thinksystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.thinksystem.common.nav.doc/portfolio.html> に移動して、製品リンクをクリックします。通常、TPM 更新情報は、「ハードウェア交換手順」の「システム・ボードの交換」セクションにあります。

2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFP4051G: 未定義の TPM_POLICY が見つかりました**

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFP4052G: TPM_POLICY がロックされていません**

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFP4053G: システム TPM_POLICY がプレーナーと一致しません。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 新しく追加された TPM カードをプレーナーから取り外すか、システムに付属されていた元の TPM カードを再度取り付けてください。
2. システムをリブートします。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFP4054G: TPM カードの論理バインドに失敗しました。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFPU4056M: TPM カードが変更されました。システム出荷時に同梱されていた元の TPM カードに取り付け直してください。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システム出荷時に付属していた元の TPM カードを再度取り付けます。
2. システムをリブートします。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFPU4059I: ユーザーが、AHCI 接続 SATA ドライブのロックの凍結をスキップするように要求しました。システム UEFI は要求を受け入れ、OS 再起動前に実行します。

重大度: 通知

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. OneCLI ツールを使用して、SystemOobCustom.SkipAhciFreezeLock を無効から有効に変更します。(OneCLI コマンド「OneCli config set SystemOobCustom.SkipAhciFreezeLock “Enabled” –imm IMM_USERID:IMM_PASSWORD@IMM_IP –override」)。
2. システムを OS で再起動します。

- FQXSFPU4060I: AHCI 接続 SATA ドライブのロックの凍結をスキップしました。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSFPU4061I: AHCI 接続 SATA ドライブのデフォルトのロック動作を復元しました。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSFPU4062I: DCI インターフェースに対する CPU デバッグが非アクティブ化されました。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSFPU4062M: DCI インターフェースに対する CPU デバッグがアクティブ化されました。

重大度: 警告

ユーザー処置:

Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFPU4080I**: ホスト始動パスワードが変更されました。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSFPU4081I**: ホスト始動パスワードがクリアされました。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSFPU4082I**: ホスト管理パスワードが変更されました。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSFPU4083I**: ホスト管理パスワードがクリアされました。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSFPU4084I**: ホスト・ブート順序が変更されました。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSFPU4085I**: ホスト WOL ブート順序が変更されました。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXSFPW0001L**: CMOS がクリアされました。

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. CMOS クリアがユーザーによって開始された場合は、このイベントは安全に無視できます。これ以上の処置は不要です。
2. システムの取り付け、移動、または保守が最近行われた場合、バッテリーが正しく取り付けられていることを確認します。
3. Lenovo サポート・サイトを参照し、このエラーに該当する Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

• **FQXSFSM0002N : 管理モジュールによってブート許可が拒否されました: システム停止。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムの AC サイクルを実行します。
2. XCC ログを確認し、PSU の取り付けがサポート・ガイドラインに従っていることを確認します。
3. XCC GUI の電源ポリシーおよびシステム構成設定を確認します。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

• **FQXSFSM0003N : 管理モジュールからのブート許可の待機がタイムアウトになりました: システム停止。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムの AC サイクルを実行します。
2. XCC ログを確認し、PSU の取り付けがサポート・ガイドラインに従っていることを確認します。
3. XCC GUI の電源ポリシーおよびシステム構成設定を確認します。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

• **FQXSFSM0004M : XCC 通信障害が発生しました。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムの AC サイクルを実行します。
2. XCC と UEFI FW が同じ互換性のあるレベルで動作することを確認します。
3. Lenovo サポート・サイトを参照し、このエラーに該当する Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
4. XCC ファームウェアを再フラッシュします。

5. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFSM0007I: XCC システム・イベント・ログ (SEL) がフルです。**

重大度: 通知

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. BMC Web インターフェースを使用して、イベント・ログをクリアします。
2. BMC 通信が使用できない場合は、F1 Setup を使用して「システム・イベント・ログ・メニュー」にアクセスし、「BMC システム・イベント・ログを消去」、「サーバーの再起動」の順に選択してサーバーを再起動します。

- **FQXSFSM0008M: ブート許可のタイムアウトが検出されました。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. XCC ログで通信エラーがないかを見直し、エラーを解決します。
2. システムの AC サイクルを実行します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFSR0001M: [arg1] GPT の破損が検出されました。DiskGUID: [arg2]**

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. POST 中にすべての外付けドライブを取り外して、このイベントが誤ってトリガーされるのを回避してください。
2. XCC イベント・ログを確認します。このイベントにフォローアップ・リカバリー・イベント・ログがある場合は、GTP 破損が正常に回復したことを意味します。このイベント・メッセージを無視し、残りの手順を実行しないでください。
3. データ・ディスクをバックアップします。
4. F1 セットアップ->システム設定->リカバリーと RAS->ディスク GPT リカバリーを押し、「自動」に設定します。
5. 設定を保存して、システムを再起動します。
6. ブートして F1 セットアップを表示します。システムは POST 中に自動的に GPT のリカバリーを試みます。
7. システムを再起動します。
8. LUN またはディスクを再フォーマットし、OS を再インストールします。
9. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFSR0002I : [arg1] GPT の破損がリカバリーされました。DiskGUID: [arg2]

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXSFSR0003G : ブート試行回数を超過しました。起動可能デバイスが見つかりません。

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムから AC 電源を取り外します。
2. システムに少なくとも 1 つのブート可能デバイスを接続します。
3. システムに AC 電源を接続します。
4. システムの電源をオンにして再試行します。
5. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFTTR0001L : 無効な日付と時刻が検出されました。

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. XCC イベント・ログを確認します。このイベントは、FQXSFPW0001L エラーの直前に発生します。このイベントまたはその他のバッテリー関連エラーをすべて解決します。
2. F1 セットアップを使用して日時を再設定します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

第 4 章 XClarity Provisioning Manager イベント

Lenovo XClarity Provisioning Manager によって以下のイベントが生成されることがあります。

それぞれのイベント・コードごとに、以下のフィールドが表示されます。

イベント ID

イベントを一意的に識別する ID。

イベント記述

イベントについて表示される、ログに記録されたメッセージの文字列です。

説明

追加情報でそのイベントが発生した理由を説明します。

重大度

状態の懸念度が示されます。イベント・ログでは、重大度が先頭文字に省略されています。以下の重大度が表示されます。

- 「**通知**」。イベントは監査目的で記録されたもので、通常はユーザー操作または正常に動作する状態の変更です。
- 「**警告**」。このイベントは、エラーほど重大ではありませんが、可能であれば、エラーになる前に状態を修正する必要があります。追加の監視や保守が必要な場合もあります。
- 「**エラー**」。このイベントは、サービスや正常な機能が損なわれる障害状態またはクリティカルな状態です。

ユーザー処置

イベントを解決するために実行すべき処置を示します。問題が解決するまで、このセクションの手順を順番に実行してください。すべての手順を実行しても問題を解決できない場合、Lenovo サポートにお問い合わせください。

重大度別に整理された LXPM イベント

以下の表はすべての LXPM イベントを重大度別 (情報、エラー、警告) に整理してリストしています。

表 4. 重大度別に整理されたイベント

| イベント ID | メッセージ・ストリング | 重大度 |
|--------------|---------------------------------------|-----|
| FQXPMCL0005I | 起動して OS をインストールします。 | 通知 |
| FQXPMCL0006I | RAID 構成を正常にエクスポートしました。 | 通知 |
| FQXPMCL0007I | RAID 構成を正常にインポートしました。 | 通知 |
| FQXPMCL0008I | UEFI 設定を正常にエクスポートしました。 | 通知 |
| FQXPMCL0009I | UEFI 設定を正常にインポートしました。 | 通知 |
| FQXPMCL0010I | BMC 設定を正常にエクスポートしました | 通知 |
| FQXPMCL0011I | BMC 設定を正常にインポートしました | 通知 |
| FQXPMEM0002I | LXPM ファームウェア・イメージが見つかりました。LXPM を開始します | 通知 |
| FQXPMEM0003I | LXPM が終了しました。制御が UEFI に戻されました。 | 通知 |

表 4. 重大度別に整理されたイベント (続き)

| イベント ID | メッセージ・ストリング | 重大度 |
|--------------|---|-----|
| FQXPMEM0004I | 診断プログラムを起動しています | 通知 |
| FQXPMEM0005I | 診断プログラムのブートに成功しました | 通知 |
| FQXPMER0002I | RAID 構成および内部ストレージをクリアしています | 通知 |
| FQXPMER0003I | RAID 構成が正常にクリアされました | 通知 |
| FQXPMER0004I | 内部ストレージ・ドライブが正常に消去されました | 通知 |
| FQXPMER0005I | すべてのシステム・ログが正常にクリアされました | 通知 |
| FQXPMER0006I | 工場出荷時の UEFI 設定が正常にロードされました | 通知 |
| FQXPMER0007I | 工場出荷時の BMC 設定が正常にロードされました | 通知 |
| FQXPMNM0002I | BMC ネットワーク・パラメーターが新規の値に設定されました。 | 通知 |
| FQXPMOS0028I | [arg1] OS がインストールされました | 通知 |
| FQXPMSR0012I | ディスク・ドライブの状態を正常に変更しました。 | 通知 |
| FQXPMSR0022I | 新規仮想ディスクを正常に作成しました。 | 通知 |
| FQXPMSR0032I | 既存の仮想ディスクを正常に削除しました。 | 通知 |
| FQXPMUP0101I | LXPM の更新を開始します | 通知 |
| FQXPMUP0102I | Windows ドライバーの更新を開始します | 通知 |
| FQXPMUP0103I | Linux ドライバーの更新を開始します | 通知 |
| FQXPMUP0104I | UEFI の更新を開始します | 通知 |
| FQXPMUP0105I | BMC の更新を開始します | 通知 |
| FQXPMUP0106I | ファームウェアの更新に成功しました | 通知 |
| FQXPMVD0003I | VPD データを正常に更新しました。 | 通知 |
| FQXPMCL0001K | Bootx64.efi が見つかりませんでした。OS をブートできませんでした。 | 警告 |
| FQXPMCL0002K | USB からの Deployment Manager の署名読み取りに失敗しました。 | 警告 |
| FQXPMCL0003K | BMC 通信が失敗しました: ドライバーのマウント障害。 | 警告 |
| FQXPMCL0004K | BMC の通信に成功しました。ボリューム名が一致しません。 | 警告 |
| FQXPMCL0005K | 現行システムのブート・モードはレガシーです。OS のクローンは UEFI モードのみをサポートします。 | 警告 |
| FQXPMCL0006K | RAID 構成をエクスポートできませんでした。 | 警告 |
| FQXPMCL0007K | RAID 構成をインポートできませんでした。 | 警告 |
| FQXPMCL0008K | UEFI 設定をエクスポートできませんでした。 | 警告 |
| FQXPMCL0009K | UEFI 設定をインポートできませんでした。 | 警告 |
| FQXPMCL0010K | BMC 設定をエクスポートできませんでした。 | 警告 |
| FQXPMCL0011K | BMC 設定をインポートできませんでした。 | 警告 |
| FQXPMNM0001G | 新規の BMC ネットワーク・パラメーターを設定できませんでした。 | 警告 |

表 4. 重大度別に整理されたイベント (続き)

| イベント ID | メッセージ・ストリング | 重大度 |
|--------------|--|-----|
| FQXPMOS0001K | Bootx64.efi が見つかりませんでした。OS をブートできませんでした。 | 警告 |
| FQXPMOS0002K | USB からの Deployment Manager の署名読み取りに失敗しました。 | 警告 |
| FQXPMOS0003K | Windows のブート・ファイルをターゲットにコピーできませんでした。 | 警告 |
| FQXPMOS0004K | BMC 通信が失敗しました: EMMC2USB のマウント障害。 | 警告 |
| FQXPMOS0005K | BMC 通信が失敗しました: ドライバーのマウント障害。 | 警告 |
| FQXPMOS0006K | BMC の通信に成功しました。ボリューム名が一致しません。 | 警告 |
| FQXPMOS0007K | ライセンス RTF ファイルの読み取りに失敗しました。 | 警告 |
| FQXPMOS0008K | イーサネット・ケーブルがコンピューターに接続され、ネットワーク設定が正しいことを確認してください。 | 警告 |
| FQXPMOS0009K | 現行システムのブート・モードはレガシーです。LXPM OS のインストールは UEFI モードのみをサポートします。 | 警告 |
| FQXPMSR0001K | サポートされない RAID アダプターが見つかりました。 | 警告 |
| FQXPMSR0011K | ディスク・ドライブの状態を変更できませんでした。 | 警告 |
| FQXPMSR0021L | 新規仮想ディスクを作成できませんでした。 | 警告 |
| FQXPMSR0031L | 既存の仮想ディスクの削除に失敗しました | 警告 |
| FQXPMUP0001K | システム構成が前提条件を満たしていません | 警告 |
| FQXPMUP0002K | 選択されたパッケージは互換性がありません | 警告 |
| FQXPMUP0003K | UEFI の最小レベルを取得できません | 警告 |
| FQXPMUP0004K | UEFI のインストール済みバージョンを取得できません | 警告 |
| FQXPMUP0005K | BMC のインストール済みバージョンを取得できません | 警告 |
| FQXPMUP0006K | LXPM のインストール済みバージョンを取得できません | 警告 |
| FQXPMUP0007K | Linux ドライバーのインストール済みバージョンを取得できません | 警告 |
| FQXPMUP0008K | Windows ドライバーのインストール済みバージョンを取得できません | 警告 |
| FQXPMVD0001H | VPD データの取得に失敗しました。 | 警告 |
| FQXPMVD0002H | VPD データの更新に失敗しました。 | 警告 |
| FQXPMVD0011K | TPM/TPM カード/TCM ポリシーの状態の取得に失敗しました | 警告 |
| FQXPMVD0012K | TPM/TPM カード/TCM ポリシーを設定できませんでした | 警告 |
| FQXPMEM0001M | LXPM ファームウェア・イメージが見つかりません。 | エラー |
| FQXPMEM0006M | 診断ファームウェア・イメージが見つかりません | エラー |
| FQXPMEM0007M | 診断イメージが起動できません。「コンソール・リダイレクト」が有効になっています。 | エラー |
| FQXPMEM0008M | 診断イメージが起動できません。イメージが破損している可能性があります | エラー |
| FQXPMER0002M | RAID 構成をクリアできませんでした | エラー |

表 4. 重大度別に整理されたイベント (続き)

| イベント ID | メッセージ・ストリング | 重大度 |
|--------------|--|-----|
| FQXPMER0003M | 内部ストレージ・ドライブを消去できませんでした | エラー |
| FQXPMER0004M | システム・ログをクリアできませんでした | エラー |
| FQXPMER0005M | 工場出荷時の UEFI 設定のロードに失敗しました | エラー |
| FQXPMER0006M | 工場出荷時の XCC 設定のロードに失敗しました | エラー |
| FQXPMSD0001M | HDD Test がハードウェアまたはソフトウェア・リセットを使用してホストに割り込まれました | エラー |
| FQXPMSD0002M | デバイスが自己診断テストを実行中に致命的エラーまたは不明なテスト・エラーが発生しました | エラー |
| FQXPMSD0003M | セルフテストが失敗したテスト要素ありで完了しました。失敗したテスト要素は不明です。 | エラー |
| FQXPMSD0004M | セルフテストがテストの電氣的要素に失敗ありで完了しました。 | エラー |
| FQXPMSD0005M | セルフテストがテストのサーボ (および/またはシーク) 要素に失敗ありで完了しました。 | エラー |
| FQXPMSD0006M | セルフテストがテストの読み取り要素に失敗ありで完了しました。 | エラー |
| FQXPMSD0007M | ハードディスク・ドライブが見つかりませんでした | エラー |
| FQXPMSD0008M | UEFI が LXPM でハードディスク・ドライブをテストするコマンドを送信する準備ができていません。 | エラー |
| FQXPMSD0009M | LXPM がハードディスク・ドライブにテスト・コマンドを送信したときに、デバイス・エラーが検出されました。 | エラー |
| FQXPMSD0010M | LXPM がハードディスク・ドライブにテスト・コマンドを送信したときに、UEFI がタイムアウトになりました。 | エラー |
| FQXPMSD0011M | LXPM がハードディスク・ドライブをテストするコマンドを送信しているときに、UEFI がそのハードディスク・ドライブをサポートしていませんでした。 | エラー |
| FQXPMUP0201M | BMC 通信が失敗しました: EMMC2USB のマウント障害。ファームウェアの更新に失敗しました | エラー |
| FQXPMUP0202M | 更新パッケージ・エラーを転送します。ファームウェアの更新に失敗しました | エラー |
| FQXPMUP0203M | BMC 通信が失敗しました: EMMC2USB のアンマウント障害。ファームウェアの更新に失敗しました | エラー |
| FQXPMUP0204M | BMC 通信に失敗しました: 更新コマンドの実行が失敗しました。ファームウェアの更新に失敗しました | エラー |
| FQXPMUP0205M | BMC 通信が失敗しました: 更新ステータスの取得に失敗しました。ファームウェアの更新に失敗しました | エラー |
| FQXPMUP0206M | 更新パッケージのレベルが古すぎます。ファームウェアの更新に失敗しました。 | エラー |
| FQXPMUP0207M | 更新パッケージが無効です。ファームウェアの更新に失敗しました。 | エラー |
| FQXPMUP0208M | リブート BMC コマンドの実行に失敗しました | エラー |

XClarity Provisioning Manager イベントのリスト

このセクションでは、Lenovo XClarity Provisioning Manager から送信されるすべてのメッセージをリストしています。

- **FQXPMCL0001K: Bootx64.efi が見つかりませんでした。OS をブートできませんでした。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、BMC ファームウェアを再フラッシュします。
3. システムをリブートし、OS のブートを再試行します。
4. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注: AC をリセットする場合は、AC 電源をオフにしてから数秒待って AC 電源をオンにしてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

5. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMCL0002K: USB からのデプロイメント・マネージャーの署名読み取りに失敗しました。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. 仮想 USB 接続が正常に動作していることを確認します。
2. LXPM の左パネルの UEFI セットアップで、BMC 設定経由で BMC を再起動します。サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
3. BMC ファームウェアを再度フラッシュします。
4. イメージのクローンを作成して、操作を再試行します。
5. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注: AC をリセットする場合は、AC 電源をオフにしてから数秒待って AC 電源をオンにしてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

6. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMCL0003K: BMC 通信が失敗しました: ドライバーのマウント障害。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. 仮想 USB 接続が正常に動作していることを確認します。

2. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
3. BMC ファームウェアを再度フラッシュします。
4. イメージのクローンを作成して、操作を再試行します。
5. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注：AC をリセットする場合は、AC 電源をオフにしてから数秒待って AC 電源をオンにしてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

6. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMCL0004K: BMC の通信に成功しました。ボリューム名が一致しません。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
2. BMC ファームウェアを再度フラッシュします。
3. イメージのクローンを作成して、操作を再試行します。
4. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注：AC をリセットする場合は、AC 電源をオフにしてから数秒待って AC 電源をオンにしてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

5. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMCL0005I: 起動して OS をインストールします。**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXPMCL0005K: 現行システムのブート・モードはレガシーです。OS のクローンは UEFI モードのみをサポートします。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. ブート・モードを UEFI モードに変更します (「UEFI セットアップ」->「ブート・マネージャー」->「ブート・モード」->「システム・ブート・モード」に移動して「UEFI モード」を選択)。
2. イメージのクローンを作成して、操作を再試行します。

- **FQXPMCL0006I: RAID 構成を正常にエクスポートしました。**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXPMCL0006K: RAID 構成をエクスポートできませんでした。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. サポートされる RAID アダプターについては、以下の Lenovo サポート・サイトを参照してください。 <http://www.lenovo.com/us/en/serverproven/index.shtml>
2. RAID アダプター、LXPM および UEFI ファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
3. RAID アダプターとディスク・ドライブの状態が正常であることを確認します。
4. ディスク・ドライブ、SAS エクスパンダー (該当する場合)、および RAID アダプターが物理的に適切に接続されていることを確認します。
5. マシンをリブートして RAID 構成のエクスポートを再試行します。
6. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMCL0007I: RAID 構成を正常にインポートしました。**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXPMCL0007K: RAID 構成をインポートできませんでした。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. サポートされる RAID アダプターについては、以下の Lenovo サポート・サイトを参照してください。 <http://www.lenovo.com/us/en/serverproven/index.shtml>
2. RAID アダプター、LXPM および UEFI ファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
3. RAID アダプターとディスク・ドライブの状態が正常であることを確認します。
4. ディスク・ドライブと RAID アダプターが物理的に正常に接続されていることを確認します。
5. プラットフォームと RAID 構成が元の構成と同じであることを確認します。
6. マシンをリブートして RAID 構成のインポートを再試行します。
7. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMCL0008I: UEFI 設定を正常にエクスポートしました。**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXPMCL0008K: UEFI 設定をエクスポートできませんでした。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. USB/ネットワーク・ドライブに適切に接続されていることを確認して UEFI 設定のエクスポートを再試行します。
2. リブートして、UEFI 設定のエクスポートを再度実行します。
3. UEFI ファームウェアを再フラッシュします。
4. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMCL0009I: UEFI 設定を正常にインポートしました。**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXPMCL0009K: UEFI 設定をインポートできませんでした。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. USB/ネットワーク・ドライブに適切に接続されていることを確認して UEFI 設定のインポートを再試行します。
2. UEFI 設定と UEFI バージョンをインポートする同じシステム・モデル・タイプが同じであることを確認します。
3. リブートして、UEFI 設定の新しいクローンのインポートを試行します。
4. UEFI ファームウェアを再フラッシュします。
5. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMCL0010I: BMC 設定を正常にエクスポートしました**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXPMCL0010K: BMC 設定をエクスポートできませんでした。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
2. AC リセットを実行します。

注：AC をリセットする場合は、AC 電源をオフにしてから数秒待って AC 電源をオンにしてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

3. BMC 設定のエクスポートを再試行します。
4. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMCL0011I: BMC 設定を正常にインポートしました。**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXPMCL0011K: BMC 設定をインポートできませんでした。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. BMC バージョンがソースとターゲットの間で同じであることを確認します。
2. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
3. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注：AC をリセットする場合は、AC 電源をオフにしてから数秒待って AC 電源をオンにしてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

4. BMC 設定のインポートを再試行します。
5. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMEM0001M: LXPM ファームウェア・イメージが見つかりません。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
2. LXPM を再フラッシュします。
3. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注：AC をリセットする場合は、AC 電源をオフにしてから数秒待って AC 電源をオンにしてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

4. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- FQXPMEM0002I: LXPM ファームウェア・イメージが見つかりました。LXPM を開始します

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXPMEM0003I: LXPM が終了しました。制御が UEFI に戻されました。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXPMEM0004I: 診断プログラムを起動しています

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXPMEM0005I: 診断プログラムのブートに成功しました

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXPMEM0006M: 診断ファームウェア・イメージが見つかりません

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
2. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注: AC をリセットする場合は、AC 電源をオフにしてから数秒待って AC 電源をオンにしてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

3. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- FQXPMEM0007M: 診断イメージが起動できません。「コンソール・リダイレクト」が有効になっています

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. UEFI セットアップで「コンソール・リダイレクトを構成する」を無効にするには、次の手順を実行します。「F1 Setup」に進む -> 「システム設定」 -> 「コンソール・リダイレクト」を選択 - 設定を「無効」に変更して保存 - 次にシステムを再起動します。
2. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注：AC をリセットする場合は、AC 電源をオフにしてから数秒待って AC 電源をオンにしてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

3. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMEM0008M: 診断イメージが起動できません。イメージが破損している可能性があります**

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
2. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注：AC をリセットする場合は、AC 電源をオフにしてから数秒待って AC 電源をオンにしてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

3. LXPM を再フラッシュします。
4. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMER0002I: RAID 構成および内部ストレージをクリアしています**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXPMER0002M: RAID 構成をクリアできませんでした**

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. システムを再起動してから、操作を再試行します。
2. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMER0003I: RAID 構成が正常にクリアされました**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXPMER0003M: 内部ストレージ・ドライブを消去できませんでした**

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. ハードディスク・ドライブ、バックプレーン、および関連するすべてのケーブルが適切に接続されていることを確認します。
2. ハードディスク・ドライブでセキュリティー機能が有効になっているかどうかを確認します。有効になっている場合は無効にして、操作を再試行します。
3. デバイス・ファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
4. システムを再起動してから、操作を再試行します。
5. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMER0004I: 内部ストレージ・ドライブが正常に消去されました**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXPMER0004M: システム・ログをクリアできませんでした**

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
2. もう一度この操作を再試行します。
3. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMER0005I: すべてのシステム・ログが正常にクリアされました**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXPMER0005M: 工場出荷時の UEFI 設定のロードに失敗しました**

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。

2. もう一度この操作を再試行します。
3. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMER0006I: 工場出荷時の UEFI 設定が正常にロードされました**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXPMER0006M: 工場出荷時の XCC 設定のロードに失敗しました**

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
2. もう一度この操作を再試行します。
3. 問題が解決しない場合は、AC 電源サイクルを行います。(AC 電源をオフにしてからオンにするまでに数秒間待ちます)
4. もう一度この操作を再試行します。
5. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMER0007I: 工場出荷時の BMC 設定が正常にロードされました**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXPMNM0001G: 新規の BMC ネットワーク・パラメーターを設定できませんでした。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. 入力パラメーターが有効であることを確認します。
2. 1 分間待機して、設定を再試行します。
3. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
4. 設定変更を再試行します。
5. UEFI セットアップを使用してパラメーターを変更します (オプション)。

- **FQXPMNM0002I: BMC ネットワーク・パラメーターが新規の値に設定されました。**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXPMS0001K: Bootx64.efi が見つかりませんでした。OS をブートできませんでした。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
2. BMC ファームウェアを再度フラッシュします。
3. システムをリブートし、OS のブートを再試行します。
4. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注: AC をリセットする場合は、AC 電源をオフにしてから数秒待って AC 電源をオンにしてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

5. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMS0002K: USB からのデプロイメント・マネージャーの署名読み取りに失敗しました。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. 仮想 USB 接続が正常に動作していることを確認します。
2. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
3. 問題が解決しない場合は、BMC ファームウェアを再フラッシュします。
4. OS デプロイメントを再試行します。
5. エラーが解決しない場合は AC リセットまたは仮想再取り付けを実行します。

注: AC をリセットする場合は、AC 電源をオフにしてから数秒待って AC 電源をオンにしてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

6. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMS0003K: Windows のブート・ファイルをターゲットにコピーできませんでした。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. 仮想 USB 接続が正常に動作していることを確認します。
2. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
3. BMC ファームウェアを再度フラッシュします。
4. OS デプロイメントを再試行します。
5. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注：AC をリセットする場合は、AC 電源をオフにしてから数秒待って AC 電源をオンにしてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

6. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMOS0004K: BMC 通信が失敗しました: EMMC2USB のマウント障害。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. 仮想 USB 接続が正常に動作していることを確認します。
2. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
3. BMC ファームウェアを再度フラッシュします。
4. OS デプロイメントを再試行します。
5. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注：AC をリセットする場合は、AC 電源をオフにしてから数秒待って AC 電源をオンにしてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

6. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMOS0005K: BMC 通信が失敗しました: ドライバーのマウント障害。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. 仮想 USB 接続が正常に動作していることを確認します。
2. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
3. BMC ファームウェアを再度フラッシュします。
4. OS デプロイメントを再試行します。
5. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注：AC をリセットする場合は、AC 電源をオフにしてから数秒待って AC 電源をオンにしてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

6. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMOS0006K: BMC の通信に成功しました。ボリューム名が一致しません。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、BMC ファームウェアを再フラッシュします。
3. OS デプロイメントを再試行します。
4. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注：AC をリセットする場合は、AC 電源をオフにしてから数秒待って AC 電源をオンにしてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

5. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMOS0007K** : ライセンス RTF ファイルの読み取りに失敗しました。

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、BMC ファームウェアを再フラッシュします。
3. 別の OS メディア (USB DVD または USB キー) を使用します。
4. OS デプロイメントを再試行します。
5. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注：AC をリセットする場合は、AC 電源をオフにしてから数秒待って AC 電源をオンにしてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

6. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMOS0008K**: イーサネット・ケーブルがコンピューターに接続され、ネットワーク設定が正しいことを確認してください。

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. SMB/CIFS および NFS 通信が正常に動作していることを確認します (イーサネット・ケーブルが接続されており、ネットワーク設定が正しいことを確認します)。
2. OS バージョンおよびフォルダー・パスが正しいことを確認します。
3. CIFS および NFS のインストールを再試行します。
4. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMOS0009K** : 現行システムのブート・モードはレガシーです。LXPM OS のインストールは UEFI モードのみをサポートします。

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. ブート・モードを UEFI モードに変更
2. OS デプロイメントを再試行します。

- **FQXPMOS0028I: [arg1] OS がインストールされました**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXPMSD0001M: HDD Test がハードウェアまたはソフトウェア・リセットを使用してホストに割り込まれました**

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. サーバーから A/C を取り外し、すべてのドライブ、バックプレーン、RAID アダプター、エキスパンダー (該当する場合)、およびケーブルを付け直します。
2. デバイス・ファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
3. テストを再試行します。
4. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMSD0002M: デバイスが自己診断テストを実行中に致命的エラーまたは不明なテスト・エラーが発生しました**

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. サーバーから A/C を取り外し、すべてのドライブ、バックプレーン、RAID アダプター、エキスパンダー (該当する場合)、およびケーブルを付け直します。
2. デバイス・ファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
3. テストを再試行します。
4. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMSD0003M: セルフテストが失敗したテスト要素ありで完了しました。失敗したテスト要素は不明です。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. サーバーから A/C を取り外し、すべてのドライブ、バックプレーン、RAID アダプター、エキスパンダー (該当する場合)、およびケーブルを付け直します。
2. デバイス・ファームウェアのレベルが最新であることを確認します。

3. テストを再試行します。
4. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMSD0004M**: セルフテストがテストの電氣的要素に失敗ありで完了しました。

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. サーバーから A/C を取り外し、すべてのドライブ、バックプレーン、RAID アダプター、エキスパンダー (該当する場合)、およびケーブルを付け直します。
2. デバイス・ファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
3. テストを再試行します。
4. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMSD0005M**: セルフテストがテストのサーボ (および/またはシーク) 要素に失敗ありで完了しました。

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. サーバーから A/C を取り外し、すべてのドライブ、バックプレーン、RAID アダプター、エキスパンダー (該当する場合)、およびケーブルを付け直します。
2. デバイス・ファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
3. テストを再試行します。
4. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMSD0006M**: セルフテストがテストの読み取り要素に失敗ありで完了しました。

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. サーバーから A/C を取り外し、すべてのドライブ、バックプレーン、RAID アダプター、エキスパンダー (該当する場合)、およびケーブルを付け直します。
2. デバイス・ファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
3. テストを再試行します。
4. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMSD0007M**: ハードディスク・ドライブが見つかりませんでした

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. サーバーから A/C を取り外し、すべてのドライブ、バックプレーン、RAID アダプター、エキスパンダー (該当する場合)、およびケーブルを付け直します。
2. デバイス・ファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
3. BMC または OneCLI のインベントリー・ログに同じエラーが存在していることを確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMSD0008M: UEFI が LXPM でハードディスク・ドライブをテストするコマンドを送信する準備ができていません。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. システムをリブートし、テストを再実行します。
2. 同じメッセージが報告された場合は、OS で最新バージョンの SMART ツールを実行します。このツールはハードディスク・ドライブの状況をチェックするオープン・ソースのツールであり、Web サイトからダウンロードできます。
3. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMSD0009M: LXPM がハードディスク・ドライブにテスト・コマンドを送信したときに、デバイス・エラーが検出されました。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. 次のいずれかを行います。
 - 影響を受けたドライブがシステムによって検出された場合は、ディスク・ドライブのファームウェアを更新し、サーバーをリブートします。
 - 影響を受けたドライブがシステムによって検出されない場合、または応答しない場合:
 - a. サーバーの電源をオフにし、A/C 電源を取り外します。
 - b. 関連する RAID コントローラー、SAS ケーブル、バックプレーン、およびドライブを取り付け直します。
 - c. システム電源を復元し、サーバーをリブートします。
2. LXPM からディスク・ドライブのテストを再実行します。詳細については、https://sysmgmt.lenovofiles.com/help/topic/lxpm_frontend/lxpm_product_page.html にある LXPM 資料を参照してください。ご使用のサーバー・モデルの LXPM バージョンをクリックし、左側のナビゲーション・ツリーから、LXPM の使用 -> 診断 -> 診断の実行、を選択します。
3. 問題が解決しない場合は、ローカル USB ストレージ・デバイスまたは共有ネットワーク・フォルダーを使用して、テスト結果を test_hdd.txt ファイルに保存します。
4. ドライブの交換については、テクニカル・サポートに連絡してください。

- **FQXPMSD0010M: LXPМ がハードディスク・ドライブにテスト・コマンドを送信したときに、UEFI がタイムアウトになりました。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. 次のいずれかを行います。
 - 影響を受けたドライブがシステムによって検出された場合は、ディスク・ドライブのファームウェアを更新し、サーバーをリブートします。
 - 影響を受けたドライブがシステムによって検出されない場合、または応答しない場合:
 - a. サーバーの電源をオフにし、A/C 電源を取り外します。
 - b. 関連する RAID コントローラー、SAS ケーブル、バックプレーン、およびドライブを取り付け直します。
 - c. システム電源を復元し、サーバーをリブートします。
2. LXPМ からディスク・ドライブのテストを実行します。詳細については、https://sysmgt.lenovofiles.com/help/topic/lxpm_frontend/lxpm_product_page.html にある LXPМ 資料を参照してください。ご使用のサーバー・モデルの LXPМ バージョンをクリックし、左側のナビゲーション・ツリーから、LXPМ の使用 -> 診断 -> 診断の実行、を選択します。
3. 問題が解決しない場合は、ローカル USB ストレージ・デバイスまたは共有ネットワーク・フォルダーを使用して、テスト結果を test_hdd.txt ファイルに保存します。
4. ドライブの交換については、テクニカル・サポートに連絡してください。

- **FQXPMSD0011M: LXPМ がハードディスク・ドライブをテストするコマンドを送信しているときに、UEFI がそのハードディスク・ドライブをサポートしていませんでした。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. ハードディスク・ドライブの仕様を参照し、そのハードディスク・ドライブが ATA のセルフテスト機能をサポートしているかどうかを確認します。
2. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMSR0001K: サポートされない RAID アダプターが見つかりました。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. サポートされる RAID アダプターについては、以下の Lenovo サポート・サイトを参照してください。 <http://www.lenovo.com/us/en/serverproven/index.shtml>
2. RAID アダプター、LXPМ および UEFI ファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
3. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMSR0011K: ディスク・ドライブの状態を変更できませんでした。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. LXPM および RAID アダプター・ファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. RAID アダプターとディスク・ドライブの状態が両方とも正常であることを確認します。
3. ディスク・ドライブ、SAS エクスパンダー (該当する場合)、および RAID アダプターが物理的に適切に接続されていることを確認します。
4. 特殊ドライブに対する操作が legal または logical になっていることを確認します。(たとえば、Unconfigured BAD を Online 状態に変更することはできません)
5. マシンを再起動し、ディスク・ドライブの状態の変更を再試行します。
6. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMSR0012I: ディスク・ドライブの状態を正常に変更しました。**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXPMSR0021L: 新規仮想ディスクを作成できませんでした。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. LXPM および RAID アダプター・ファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. RAID アダプターとディスク・ドライブの状態が両方とも正常であることを確認します。
3. ディスク・ドライブ、SAS エクスパンダー (該当する場合)、および RAID アダプターが物理的に適切に接続されていることを確認します。
4. ドライブ状況が正しいことを確認します (未構成の正常)。
5. マシンを再起動し、仮想ディスクの新規作成を再試行します。
6. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMSR0022I: 新規仮想ディスクを正常に作成しました。**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXPMSR0031L: 既存の仮想ディスクの削除に失敗しました**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. LXPM および RAID アダプター・ファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. RAID アダプターとディスク・ドライブの状態が両方とも正常であることを確認します。
3. ディスク・ドライブ、SAS エクスパンダー (該当する場合)、および RAID アダプターが物理的に適切に接続されていることを確認します。
4. マシンを再起動し、既存の仮想ディスクの削除を再試行します。
5. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMSR0032I: 既存の仮想ディスクを正常に削除しました。**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXPMUP0001K: システム構成が前提条件を満たしていません**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. ファームウェアの更新のプロンプトに従って、更新を再試行します。
2. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMUP0002K: 選択されたパッケージは互換性がありません**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. プロンプトに従って個別のファームウェア・パッケージをそれぞれ更新します。
2. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMUP0003K: UEFI の最小レベルを取得できません**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
2. BMC ファームウェアを再度フラッシュします。
3. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注: AC をリセットする場合は、AC 電源をオフにしてから数秒待って AC 電源をオンにしてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

4. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMUP0004K : UEFI のインストール済みバージョンを取得できません**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
2. BMC ファームウェアを再度フラッシュします。
3. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注: AC をリセットする場合は、AC 電源をオフにしてから数秒待って AC 電源をオンにしてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

4. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMUP0005K : BMC のインストール済みバージョンを取得できません**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
2. BMC ファームウェアを再度フラッシュします。
3. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注: AC をリセットする場合は、AC 電源をオフにしてから数秒待って AC 電源をオンにしてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

4. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMUP0006K : LXPM のインストール済みバージョンを取得できません**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
2. BMC ファームウェアを再度フラッシュします。
3. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注: AC をリセットする場合は、AC 電源をオフにしてから数秒待って AC 電源をオンにしてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

4. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMUP0007K : Linux ドライバーのインストール済みバージョンを取得できません**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
2. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注: AC をリセットする場合は、AC 電源をオフにしてから数秒待って AC 電源をオンにしてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

3. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMUP0008K : Windows ドライバーのインストール済みバージョンを取得できません**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
2. BMC ファームウェアを再度フラッシュします。
3. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注: AC をリセットする場合は、AC 電源をオフにしてから数秒待って AC 電源をオンにしてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

4. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMUP0101I : LXPM の更新を開始します**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXPMUP0102I : Windows ドライバーの更新を開始します**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXPMUP0103I : Linux ドライバーの更新を開始します**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXPMUP0104I: UEFI の更新を開始します**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXPMUP0105I: BMC の更新を開始します**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXPMUP0106I: ファームウェアの更新に成功しました**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- **FQXPMUP0201M: BMC 通信が失敗しました: EMMC2USB のマウント障害。ファームウェアの更新に失敗しました**

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. サポートされている方法および、uEFI を介した BMC 設定 または BMC Web UI の「管理コントローラーを再起動」で、BMC を再起動します。その後、システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、BMC ファームウェアを再フラッシュします。
3. エラーが解決しない場合は AC リセットまたは仮想再取り付けを実行します。

注: AC をリセットする場合は、AC 電源をオフにしてから数秒待って AC 電源をオンにしてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

4. 問題が解決しない場合は、別の Lenovo ツールを試して更新を実行します (例:XClarity Administrator、XClarity Controller または XClarity Essential OneCLI)。
5. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMUP0202M: 更新パッケージ・エラーを転送します。ファームウェアの更新に失敗しました**

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. 更新パッケージが破損していないことを確認してから、更新を再試行します。
2. USB/ネットワーク・ドライブに適切に接続されていることを確認して、更新を再試行します。
3. サポートされている方法および、uEFI を介した BMC 設定または BMC Web UI の「管理コントローラーを再起動」で、BMC を再起動します。その後、システムをリブートします。
4. 問題が解決しない場合は、BMC ファームウェアを再フラッシュします。
5. エラーが解決しない場合は AC リセットまたは仮想再取り付けを実行します。

注：AC をリセットする場合は、AC 電源をオフにしてから数秒待って AC 電源をオンにしてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

6. 問題が解決しない場合は、別の Lenovo ツールを試して更新を実行します (例:XClarity Administrator、XClarity Controller または XClarity Essential OneCLI)。
7. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

● **FQXPMUP0203M : BMC 通信が失敗しました: EMMC2USB のアンマウント障害。ファームウェアの更新に失敗しました**

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
2. BMC ファームウェアを再フラッシュします。
3. エラーが解決しない場合は AC リセットまたは仮想再取り付けを実行します。

注：AC をリセットする場合は、AC 電源をオフにしてから数秒待って AC 電源をオンにしてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

4. 問題が解決しない場合は、別の Lenovo ツールを試して更新を実行します (例:XClarity Administrator、XClarity Controller または XClarity Essential OneCLI)。
5. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

● **FQXPMUP0204M : BMC 通信に失敗しました: 更新コマンドの実行が失敗しました。ファームウェアの更新に失敗しました**

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. サポートされている方法で BMC を再起動します。
2. BMC ファームウェアを再度フラッシュします。
3. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注：AC をリセットする場合は、AC 電源をオフにしてから数秒待って AC 電源をオンにしてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

4. 問題が解決しない場合は、別の Lenovo ツールを試して更新を実行します (例:XClarity Administrator、XClarity Controller または XClarity Essential OneCLI)。
5. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMUP0205M : BMC 通信が失敗しました: 更新ステータスの取得に失敗しました。ファームウェアの更新に失敗しました**

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
2. BMC ファームウェアを再度フラッシュします。
3. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注：AC をリセットする場合は、AC 電源をオフにしてから数秒待って AC 電源をオンにしてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

4. 問題が解決しない場合は、別の Lenovo ツールを試して更新を実行します (例:XClarity Administrator、XClarity Controller または XClarity Essential OneCLI)。
5. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMUP0206M: 更新パッケージのレベルが古すぎます。ファームウェアの更新に失敗しました。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. プロンプトに従ってより新しいバージョンの更新パッケージを選択し、更新を再試行します。
2. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
3. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注：AC をリセットする場合は、AC 電源をオフにしてから数秒待って AC 電源をオンにしてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

4. 問題が解決しない場合は、別の Lenovo ツールを試して更新を実行します (例:XClarity Administrator、XClarity Controller または XClarity Essential OneCLI)。
5. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMUP0207M : 更新パッケージが無効です。ファームウェアの更新に失敗しました。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. 更新パッケージが破損していないことを確認して、更新を再試行します。
2. USB/ネットワーク・ドライブに適切に接続されていることを確認して、更新を再試行します。
3. サポートされている方法および、uEFI を介した BMC 設定 または BMC Web UI の「管理コントローラーを再起動」で、BMC を再起動します。その後、システムをリブートします。
4. BMC ファームウェアを再フラッシュします。
5. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注：AC をリセットする場合は、AC 電源をオフにしてから数秒待って AC 電源をオンにしてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

6. 問題が解決しない場合は、別の Lenovo ツールを試して更新を実行します (例:XClarity Administrator、XClarity Controller または XClarity Essential OneCLI)。
7. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMUP0208M: リブート BMC コマンドの実行に失敗しました**

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
2. BMC ファームウェアを再度フラッシュします。
3. エラーが解決しない場合は AC リセットまたは仮想再取り付けを実行します。

注：AC をリセットする場合は、AC 電源をオフにしてから数秒待って AC 電源をオンにしてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

4. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMVD0001H: VPD データの取得に失敗しました。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. 「戻る」ボタンを押して、もう一度「VPD の更新...」ボタンを押します。
2. ステップ 1 が失敗した場合は、AC リセットまたは仮想再取り付けを実行します。

注：AC をリセットする場合は、AC 電源をオフにしてから数秒待って AC 電源をオンにしてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

3. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMVD0002H: VPD データの更新に失敗しました。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. VPD 更新ページで「更新」ボタンを押します。
2. ステップ 1 が失敗した場合は、AC リセットまたは仮想再取り付けを実行します。

注: AC をリセットする場合は、AC 電源をオフにしてから数秒待って AC 電源をオンにしてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

3. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- FQXPMVD0003I: VPD データを正常に更新しました。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。操作は不要です。

- FQXPMVD0011K: TPM/TPM カード/TCM ポリシーの状態の取得に失敗しました

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. 「戻る」ボタンを押して、もう一度「VPD の更新...」ボタンを押します。
2. ステップ 1 が失敗した場合は、AC リセットまたは仮想再取り付けを実行します。

注: AC をリセットする場合は、AC 電源をオフにしてから数秒待って AC 電源をオンにしてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

3. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- FQXPMVD0012K: TPM/TPM カード/TCM ポリシーの設定に失敗しました

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. VPD 更新ページで「適用」ボタンを押します。
2. ステップ 1 失敗した場合は、システムをリブートします。
3. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

付録 A ヘルプおよび技術サポートの入手

ヘルプ、サービス、技術サポート、または Lenovo 製品に関する詳しい情報が必要な場合は、Lenovo がさまざまな形で提供しているサポートをご利用いただけます。

WWW 上の以下の Web サイトで、Lenovo システム、オプション・デバイス、サービス、およびサポートについての最新情報が提供されています。

<http://datacentersupport.lenovo.com>

注：IBM は、ThinkSystem に対する Lenovo の優先サービス・プロバイダーです

依頼する前に

連絡する前に、以下の手順を実行してお客様自身で問題の解決を試みてください。サポートを受けるために連絡が必要と判断した場合、問題を迅速に解決するためにサービス技術員が必要とする情報を収集します。

お客様自身での問題の解決

多くの問題は、Lenovo がオンライン・ヘルプまたは Lenovo 製品資料で提供するトラブルシューティング手順を実行することで、外部の支援なしに解決することができます。オンライン・ヘルプにも、お客様が実行できる診断テストについての説明が記載されています。ほとんどのシステム、オペレーティング・システムおよびプログラムの資料には、トラブルシューティングの手順とエラー・メッセージやエラー・コードに関する説明が記載されています。ソフトウェアの問題だと考えられる場合は、オペレーティング・システムまたはプログラムの資料を参照してください。

ThinkSystem 製品については、以下の場所で製品ドキュメントが見つかります。

<https://pubs.lenovo.com/>

以下の手順を実行してお客様自身で問題の解決を試みることができます。

- ケーブルがすべて接続されていることを確認します。
- 電源スイッチをチェックして、システムおよびすべてのオプション・デバイスの電源がオンになっていることを確認します。
- ご使用の Lenovo 製品用に更新されたソフトウェア、ファームウェア、およびオペレーティング・システム・デバイス・ドライバーがないかを確認します。(以下のリンクを参照してください) Lenovo 保証規定には、Lenovo 製品の所有者であるお客様の責任で、製品のソフトウェアおよびファームウェアの保守および更新を行う必要があることが明記されています(追加の保守契約によって保証されていない場合)。お客様のサービス技術員は、問題の解決策がソフトウェアのアップグレードで文書化されている場合、ソフトウェアおよびファームウェアをアップグレードすることを要求します。
 - ドライバーおよびソフトウェアのダウンロード
 - <https://datacentersupport.lenovo.com/products/servers/thinkedge/se350v2/7da9/downloads/driver-list>
 - オペレーティング・システム・サポート・センター
 - <https://datacentersupport.lenovo.com/solutions/server-os>
 - オペレーティング・システムのインストール手順
 - <https://pubs.lenovo.com/#os-installation>

- ご使用の環境で新しいハードウェアを取り付けたり、新しいソフトウェアをインストールした場合、<https://serverproven.lenovo.com> でそのハードウェアおよびソフトウェアがご使用の製品によってサポートされていることを確認してください。
- 問題の特定と解決の手順については、*ユーザー・ガイド*または*ハードウェア・メンテナンス・ガイド*の「問題判別」を参照してください。
- <http://datacentersupport.lenovo.com> にアクセスして、問題の解決に役立つ情報があるか確認してください。ご使用のサーバーで利用可能な技術ヒントを検索するには:
 1. <http://datacentersupport.lenovo.com> にアクセスしてご使用のサーバーのサポート・ページに移動します。
 2. ナビゲーション・ペインで「How To's (ハウツー)」をクリックします。
 3. ドロップダウン・メニューから「Article Type (記事タイプ)」 → 「Solution (ソリューション)」をクリックします。
 画面に表示される指示に従って、発生している問題のカテゴリを選択します。
- https://forums.lenovo.com/t5/Datacenter-Systems/ct-p/sv_eg の Lenovo Data Center フォーラムで、同様の問題が発生していないかどうかを確認してください。

サポートへの連絡に必要な情報の収集

ご使用の Lenovo 製品に保証サービスが必要である場合は、依頼する前に適切な情報を準備していただくと、サービス技術員がより効果的にお客様を支援することができます。または製品の保証について詳しくは<http://datacentersupport.lenovo.com/warrantylookup>で参照できます。

サービス技術員に提供するために、次の情報を収集します。このデータは、サービス技術員が問題の解決策を迅速に提供する上で役立ち、お客様が契約された可能性があるレベルのサービスを確実に受けられるようにします。

- ハードウェアおよびソフトウェアの保守契約番号 (該当する場合)
- マシン・タイプ番号 (Lenovo の 4 桁のマシン識別番号)。マシン・タイプ番号は ID ラベルに記載されています。詳しくは、*ユーザー・ガイド*または*システム構成ガイド*の「サーバーを識別してLenovo XClarity Controllerにアクセスする」を参照してください。
- 型式番号
- シリアル番号
- 現行のシステム UEFI およびファームウェアのレベル
- エラー・メッセージやログなど、その他関連情報

Lenovo サポートに連絡する代わりに、<https://support.lenovo.com/servicerequest> にアクセスして Electronic Service Request を送信することもできます。Electronic Service Request を送信すると、お客様の問題に関する情報をサービス技術員が迅速に入手できるようになり、問題の解決策を判別するプロセスが開始されます。Lenovo サービス技術員は、お客様が Electronic Service Request を完了および送信するとすぐに、解決策の作業を開始します。

サービス・データの収集

サーバーの問題の根本原因をはっきり特定するため、または Lenovo サポートの依頼によって、詳細な分析に使用できるサービス・データを収集する必要がある場合があります。サービス・データには、イベント・ログやハードウェア・インベントリなどの情報が含まれます。

サービス・データは以下のツールを使用して収集できます。

- **Lenovo XClarity Provisioning Manager**

Lenovo XClarity Provisioning Manager のサービス・データの収集機能を使用して、システム・サービス・データを収集します。既存のシステム・ログ・データを収集するか、新しい診断を実行して新規データを収集できます。

- **Lenovo XClarity Controller**

Lenovo XClarity Controller Web インターフェースまたは CLI を使用してサーバーのサービス・データを収集できます。ファイルは保存でき、Lenovo サポートに送信できます。

- Web インターフェースを使用したサービス・データの収集について詳しくは、<https://pubs.lenovo.com/lxcc-overview/>にあるご使用のサーバーと互換性のある XCC に関する資料の「BMC 構成のバックアップ」セクションを参照してください。
- CLI を使用したサービス・データの収集について詳しくは、<https://pubs.lenovo.com/lxcc-overview/>にあるご使用のサーバーと互換性のある XCC に関する資料のバージョンの「XCC `ffdc` コマンド」セクションを参照してください。

- **Lenovo XClarity Administrator**

一定の保守可能イベントが Lenovo XClarity Administrator および管理対象エンドポイントで発生した場合に、診断ファイルを収集し自動的に Lenovo サポートに送信するように Lenovo XClarity Administrator をセットアップできます。Call Home を使用して診断ファイルを Lenovo サポートに送信するか、SFTP を使用して別のサービス・プロバイダーに送信するかを選択できます。また、手動で診断ファイルを収集したり、問題レコードを開いたり、診断ファイルを Lenovo サポートに送信したりもできます。

Lenovo XClarity Administrator 内での自動問題通知のセットアップに関する詳細情報は http://sysmgmt.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.lxca.doc/admin_setupcallhome.html で参照できます。

- **Lenovo XClarity Essentials OneCLI**

Lenovo XClarity Essentials OneCLI には、サービス・データを収集するインベントリ・アプリケーションがあります。インバンドとアウト・オブ・バンドの両方で実行できます。サーバーのホスト・オペレーティング・システムで実行する場合、OneCLI では、ハードウェア・サービス・データに加えて、オペレーティング・システム・イベント・ログなどオペレーティング・システムに関する情報を収集できます。

サービス・データを取得するには、`getinfor` コマンドを実行できます。`getinfor` の実行についての詳細は、https://pubs.lenovo.com/lxce-onecli/onecli_r_getinfor_command を参照してください。

サポートへのお問い合わせ

サポートに問い合わせで問題に関するヘルプを入手できます。

ハードウェアの保守は、Lenovo 認定サービス・プロバイダーを通じて受けることができます。保証サービスを提供する Lenovo 認定サービス・プロバイダーを見つけるには、<https://datacentersupport.lenovo.com/serviceprovider> にアクセスし、フィルターを使用して国別で検索します。Lenovo サポートの電話番号については、<https://datacentersupport.lenovo.com/supportphonenumber> で地域のサポートの詳細を参照してください。

Lenovo